

博士論文

論文題目 中国における村上春樹の受容と「村上チルドレン」の成長

——「70 後（チーリンホウ）」「80 後（バーリンホウ）」作家群および一般読者を中心に

氏 名 徐 子怡

目次

序章	3
1. 先行研究および問題提起	3
2. 研究方法および論文構成	9
第1章 中国における「村上チルドレン」の誕生	16
1-1 中国における村上春樹の翻訳状況および「村上ブーム」の発生	16
1-2 中国における「村上チルドレン」の誕生	27
第2章 模倣的創造の村上チルドレン流行作家群—衛慧・慶山（旧名： 安妮宝贝）・郭敬明の村上受容を中心に	37
2-1 衛慧の村上受容と作風の転換	37
2-2 絶え間なき村上春樹への関心—慶山の村上受容	45
2-2-1 『蓮花』と『ノルウェイの森』における登場人物の構図	50
2-2-2 『蓮花』と『ノルウェイの森』の主題と物語構造	59
2-2-3 表紙の表象—色彩のレクイエム	62
2-3 「子どもっぽい悲傷」から見る郭敬明の村上受容	67
<小結>	74
第3章 成長中の村上チルドレン作家群—忘却魚鱗・孔亜雷・李修文の 村上受容を中心に	77
<小結>	87
第4章 書き込みサイトの読者による村上受容—「豆瓣網」の調査を中 心に	89

4-1	「豆瓣網」ユーザーとしての村上チルドレン愛読者の村上受容	89
4-1-1	豆瓣網ユーザーとしての村上チルドレン愛読者に対する村上 読書歴のアンケート調査	90
4-1-2	豆瓣網ユーザーとしての村上チルドレンによる『ノルウェイ の森』続編の創作—楊小湜の『ノルウェイの森2』	98
4-2	「豆瓣網」に見る中国における村上文学の受容	101
第5章	中国における映画『ノルウェイの森』の受容	112
5-1.	『ノルウェイの森』の映画への改編	113
5-1-1	奇跡の映画化	113
5-1-2	小説から映画への変容	116
5-2	中国上映版映画『ノルウェイの森』の再度の変容	121
終章	中国における「村上チルドレン」および「村上春樹ファッション」	130
	参考資料	138
	付録	154
	【付録1】 回答者の基本状況	154
	【付録2】 回答者の村上春樹読書の初体験	161
	【付録3】 【図4-2-1】～【図4-2-3】の読書人数内訳対照表	168
	【付録4】 【図4-2-4】の増加人数内訳対照表（6カ月間）	169
	【付録5】 【図4-2-5】の増加人数内訳対照表（4年間）	170

序章

1. 先行研究および問題提起

村上春樹（1949年～）は1960年代末にふるさとの兵庫県芦屋市を離れて東京の早稲田大学演劇科に入学し、卒業後ジャズ喫茶を経営しながら、小説創作をはじめ、1979年に『風の歌を聴け』（以下『風』と略記する）で群像新人文学賞を受賞し、小説家として文壇にデビューした。その後、第4回の野間文芸新人賞に選ばれた『羊をめぐる冒険』（以下『羊』と略記する。1982年）や、第21回の谷崎潤一郎賞を受賞した『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』（以下『世界の終わり…』と略記する。1985年）などの名作を次々と発表し、2015年までに長編13点、短編集・超短編集19点、これにエッセー・紀行集・ノンフィクション・対談集・インタビュー集などを加えるとおよそ合計80点近い作品が日本で刊行された。¹その中には1987年刊行の長編小説『ノルウェイの森』（以下『森』と略記する）のように、日本講談社販売部による2009年8月までの累計発行部数がすでに1000万部を超え、世界各地で「村上春樹現象」を起こした大ベストセラー作品もある。²現在、村上春樹は大江健三郎と並んで戦後日本文学を代表する作家として世界的に活躍し、その作品は36か国・33の言語に翻訳され、世界中で愛読されている。³

東京大学の現代中国文学研究者の藤井省三によると、村上春樹がはじめて中国に紹介されたのは1986年2月刊行の『日本文学』（吉林人民出

¹ 国立国会図書館総合目録ネットワーク、アマゾン（JP）及びウィキペディアにおける村上春樹作品リストを参考にした。

² J-CASTニュース「『ノルウェイの森』1000万部 未だ衰えぬ人気の秘密」2009年7月30日。<http://www.j-cast.com/2009/07/30046420.html?p=all>（2016年6月17日に最終閲覧）

³ 「『ノルウェイの森』とその時代」『ELLE SPECIAL』2010年12月号、301頁。

版社刊)においてである。その後 1989 年に桂林・漓江出版社(以下「桂林漓江社」と略記する)から刊行された林少華(リン・シャオホワ、りんしょうか、1952~)訳の単行本『挪威的森林(原題:ノルウェイの森)』は、最初の本格的村上作品として中国読者の視野に入ってきた。この時期はちょうど北京で起こった「天安門事件」と重なる時期であり、民主化運動に挫折を覚えた中国の若者たちは『森』に癒しを求め、やがて中国では小規模の第 1 次村上ブームが発生した。その後、1992 年以來絶好調だった中国経済の成長率がやや鈍くなった 1998 年に第 2 次、そして『森』出版 20 周年を迎えた 2007 年に第 3 次の村上ブームが発生した。⁴藤井省三がまとめた中国の村上受容史を代表するこのような 3 回の村上ブーム、および 2009 年刊行の長編『1Q84』の中国での翻訳・刊行による第 4 次村上ブームの詳細については後述する。

ちなみに、1989 年以來村上作品の翻訳は主に桂林漓江社から刊行されており、1998 年同社再版の『森』ははじめての著作権取得の旨を明記した中国語版の村上作品であった。その 2 年後の 2000 年末に、上海・訳文出版社(以下「上海訳文社」と略記する)が新たに著作権を取得したため、桂林漓江社による中国語版村上作品の出版が終了した。2000 年以降、中国では主に上海訳文社の一社が簡体字版村上作品の翻訳を出版していたが、2009 年 1 月に上海杉達学院大学日本文学科教授施小燁(シー・シアオウェイ、ししょうい、1957~)訳の『走ることについて語るときに僕の語ること』(以下『走る…』と略記する)の刊行をきっかけに新経典文化株式会社(以下「新経典社」と略記する)は村上作品の翻訳・出版事業に参入し始める。新経典社は主に 2007 年以降に日本で刊行した村上の新作、またはまだ中国で翻訳・刊行されていない旧作の出版に精力的に

⁴ 「第 1 次村上ブーム」と「第 2 次村上ブーム」については、藤井省三著『村上春樹のなかの中国』(朝日新聞社、2007 年 7 月)の 4-4 「血の日曜日」事件と第一次村上ブーム」と 4-5 「経済成長踊り場の法則」と第二次村上ブーム」を参考にした。「第 3 次村上ブーム」については、藤井省三論文『中国的《挪威的森林》』(張明敏訳、『聯合文学』314 期、2010 年 12 月 56-57 頁)で詳しく分析している。

取り組んでおり、2009年以降は上海訳文社と並行して、中国における簡体字版村上作品翻訳・出版の二本柱として活躍している。本論では、このような中国における村上作品の翻訳・出版史を大きく三つの期間に分けて、1989年～2000年を「桂林漓江社時代」⁵、2001年～2008年を「上海訳文社時代」⁶、そして2009年以降を「上海訳文社・新経典社時代」⁷と呼ぶことにしたい。

こうした村上ブームのなかで、中国の文芸界や評論界においては村上春樹に対する様々な批評や研究が徐々に盛んになってきた。それは中国で最初の本格的な村上春樹論とされる日本文学者李徳純（リー・トーチン、りとくじゅん、1926～）による1989年桂林漓江社版『森』の序文「物欲世界的異化」⁸に始まるが、「中国期刊全文数据库 CNKI」（以下「CNKI」と略記する）で「村上春樹」をキーワードとして入力し中国村上作品翻訳・出版の「桂林漓江社時代」（1989年～2000年）の約11年間を検索すると、96篇の文章がヒットし、そのうち村上春樹文学と直接関係する論文は中国社会科学院研究生院の梁青林による修士論文「当代日本大衆文化管窺—關於“村上春樹現象”的考察」（2000年）を含む30本ほどであった。⁹これに対して、「上海訳文社時代」（2001年～2009年）を含み2016

⁵ 「桂林漓江社時代」に出版した村上作品は『ノルウェイの森』（初版1989.7）、『好風長吟（原題：風の歌を聴け）』（初版1992.8）、『世界尽頭与冷酷仙境（原題：『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』）』（初版1992.8）、『跳！跳！跳！/青春的舞步/舞！舞！舞！（原題：ダンス・ダンス・ダンス）』（初版1991.6）、『象的失踪（原題：象の消滅）』（初版1996.5）、『尋羊冒険記（原題：羊をめぐる冒険）』（初版1997.5）がある。

⁶ 「上海訳文社時代」に上海訳文社が漓江時代に刊行された作品に対する再訳・再版を含み、合計31点の村上作品を「村上春樹文集」、「村上春樹全集」または「同系列随筆」として刊行した。

⁷ 新経典社は主に2007年以降に日本で刊行した村上の新作、またはまだ中国で翻訳・刊行されていない旧作の出版に精力的に取り組んでいる。2015年までに新経典社が合計15点の村上作品を「新経典文庫・村上春樹作品」として翻訳・刊行した。なかには、話題作の『1Q84』も含まれている。

⁸ 李徳純「訳本序 物欲世界的異化」（林少華訳『挪威的森林』桂林・漓江出版社、1989年7月第1版、1990年4月同第2次印刷）1-7頁。

⁹ 「中国期刊全文数据库 CNKI」による2016年4月15日零時までの検索結果である。

年現在まで続いている「上海訳文社・新経典社時代」の15年間ではヒット件数は3,968本に急増し、そのうち村上研究の修士論文は186本、博士論文は5本¹⁰を数える。¹¹さらに、村上研究書の出版と翻訳も盛んになっている。筆者の統計によると、2001年から2015年までの15年間に出版された村上研究に関する専門書、論文集およびエッセーなどは24点があり、そのうちの8点は外国語からの訳書である。¹²

このように発展を続ける中国の村上研究は、主にポストモダニズム、

¹⁰ (発表時間順)『从“日本”的历史文脉中阅读村上春树』張昕宇・上海外国語大学(2007)、『村上春樹小説芸術研究』尚一鷗・東北師範大学(2009)、『后現代語境中的村上春樹』楊炳菁・吉林大学(2009)、『時空匣子--村上春樹小説時空芸術研究』張敏生・上海外国語大学(2011)、『村上春樹与美国现代文学』李曉娜・吉林大学(2013年)。

¹¹ 「中国期刊全文数据库CNKI」による2016年4月15日零時までの検索結果である。

¹² (出版年代順)2001年:『遇見100%的村上春樹』(稻草人編、当代世界出版社);2005年:『村上春樹和他的作品』(林少華著、寧夏人民出版社)、『相約挪威的森林--村上春樹的世界』(雷世文編、華夏出版社)、『嗨,村上春樹』(蘇靜・江江編、朝華出版社);2006年:『村上春樹与後虛無年代』(岑朗天、新星出版社)、『落花之美』(林少華著、中国工人出版社)、『傾聽村上春樹--村上春樹的芸術世界(原題“Haruki Murakami and the Music of Words”)』(Jay Rubin著/馮濤訳、上海譯文出版社);2007年:『村上春樹論--精読<海边的卡夫卡>(原題『村上春樹論--『海边的卡夫卡』を精読する)』(小森陽一著/秦剛訳、新星出版社);2008年:『村上春樹--轉換中的迷失(原題『村上春樹--「喪失」の物語から「轉換」の物語へ)』(黒古一夫著/秦剛・王海藍訳、中国廣播電視出版社);2009年:『当心村上春樹(原題『村上春樹にご用心)』(内田樹著/楊偉・蔣葳訳、重慶出版社)、『後現代語境中的村上春樹』(楊炳菁著、中央編譯出版社);2010年:『為了靈魂的自由--村上春樹的文学世界』(林少華著、中国友誼出版社)、『並非自由的強盜。村上春樹:〈襲撃面包店〉及其統篇的哲学解讀』(楊永良著、山東人民出版社);2011年:『高牆与鷄蛋--林少華精銳美文集』(林少華著、紅旗出版社);2012年『不時髦的村上春樹』(王光波著、西苑出版社)、『并非偶然的尋羊冒險:村上春樹《尋羊冒險記》的哲学解讀(楊永良著、山東人民出版社)、『村上春樹《1Q84》縱橫談(原題『村上春樹『1Q84』をどう読むか)』(河出書房新社輯部編/侯為・魏大海訳、山東文藝出版社)、『并非可逆的“世界尽头”:村上春樹《世界尽头与冷酷仙境》的哲学解讀』(楊永良著、山東人民出版社);2013年:『村上春樹小説芸術研究』(尚一鷗著、商務印書館)、『永遠的少年:村上春樹与《海边的卡夫卡》』(楊照著、新星出版社)、『村上春樹.猫(原題『村上春樹とネコの話)』(鈴村和成著/李天宇訳、北京聯合出版公司)、『村上春樹的文学迷宮(原題『村上春樹 全小説ガイドブック)』(洋泉社編/武岳訳、北京聯合出版公司);2015年:『翻譯家村上春樹』(田建國著、上海譯文出版社)、『村上春樹批判(原題『村上春樹批判)』(黒古一夫著/林嘯軒訳、光明日報出版社)。

精神分析、あるいは文体や物語論などの方面から村上作品の芸術性を論じている。楊炳菁の『後現代語境中的村上春樹』（2009年）および楊永良『並非自由的強盜—村上春樹：〈襲撃面包店〉及其統篇的哲学解讀』（2010年）は、その代表格と言えよう。前者は物語分析を中心に村上作品のポストモダニズム性を証明し、後者は村上の短編「パン屋襲撃」（1981年）および続編の「パン屋再襲撃」（1985年）における隠喩の意味とサルトルの「実存主義」理論との関係を論じたうえで作品分析を行ったものである。比較文学の方面では、「都市文学」における邱華棟と村上春樹との比較論文である林磊・朱朝暉「試論邱華棟与村上春樹作品的芸術特色」（『韶関学院学報社会科学版』2002年8月号）や、李蘇晋の「『挪威的森林』与『紅玫瑰与白玫瑰』両性模式比較」（『洛陽師範学院学報』2006年第1期）、また丁琪「消費喧嘩中脆弱の“失語者”—从《挪威的森林》中的直子到《上海宝贝》中的天天—」（『内蒙古大学学報人文社会科学版』2004年9月号。以下「消費喧嘩…」と略記する）など、村上春樹と中国の作家との比較文学研究も散見されるが、そのほかは専ら村上が如何にしてアメリカ文学から影響を受けているかという問題についての議論である。

本論のテーマである1986年の村上中国紹介以後の中国における村上文学受容に関しては、張競『海を越える日本文学』（2010年）、王海藍『村上春樹と中国』（2012年）のほか、林少華のエッセーシリーズおよび彼の個人ブログがある程度論述しているが、それは学術研究の分野における大きな反応を喚起するには至らなかった。いっぽう、現代日本文学専攻の黄忠順は「中国時尚文学与杜拉斯、村上春樹、日本動漫」（『河北学刊』2005年5月号。以下「中国時尚文学…」と略記する）で、村上文学の特徴は「欧米消費主義の文化的価値観と生活様式の充滿した」「東洋の審美的「親和力」をも具えている欧米化文学」¹³と指摘し、更に現在の欧

¹³ 原文：「充滿的是西方的消費主義的文化價值觀和生活方式」、「不失東方审美“亲和力”的西化文学」。黄忠順「中国時尚文学…」、196頁。

米→日本→中国という流行大衆文学の国際的な流れから、「明治維新後に現れた全面欧化の日本文学が、中国文学の欧米受容に対し重要な仲介役となり、20世紀はじめの30年間、中国文学言説の近代化に深い影響を与えた」¹⁴という歴史的転換と村上受容の比較研究の必要性も提起している。

だが、このような研究の多くは村上ブームの現状をまとめ、あるいは『森』の人気の理由を探る断片的な村上受容研究に止まっている。1980年代から現在に至るまでの中国社会の歴史的転換に伴う中国文学の変貌という視点から、現代中国文壇で活躍している「70後（チー・リン・ホウ、70年代生まれ）」・「80後（パー・リン・ホウ、80年代生まれ）」¹⁵作家群を中心とする村上春樹の「模倣者」たちの出現に対する考察、そしてこの「模倣者」たちが如何にして村上文学を受容し、変容させたのかという、いわゆる中国の「村上チルドレン」研究は未開拓である。

唯一この問題に着目したのが前述した中国文学研究者の藤井省三であり、同著『村上春樹のなかの中国』（以下『村上…中国』と略記する）は1986年紹介以来の村上受容史を整理するとともに、1989年および1998年に起きた二度の村上ブームにも言及し、更に独立した一節を設けて現代中国の人気若手作家慶山（チン・シャン、けいざん、1974～。旧名：安妮宝贝）と衛慧（ウェイ・ホイ、えいけい、1973～）の村上春樹受容を分析することで、初めて中国の「村上チルドレン」に光を当てたのである。

本論では、上述した中国における村上受容の先行研究を踏まえつつ、読者の中から作家が生まれるという文化の流通・再生産の過程を考慮し

¹⁴ 原文「明治維新后一度呈现全盘西化的日本文学，曾充当了中国文学接受欧美影响的重要中介，深刻地影响了世纪前三十年的中国文学话语的现代转型」黄忠順「中国时尚文学…」196頁。日本語訳は藤井省三『村上春樹のなかの中国』185頁からの引用である。

¹⁵ 中国の文学・文化用語である。もともと70年代、あるいは80年代生まれの人たちを指す言葉だが、現在多くはこの年代に生まれた若手作家群に対して使われている。詳細は後述する。

て、「村上チルドレン」の範囲をこれまでの「村上春樹の模倣作家たち」から書き込みサイトの村上読者にまで広げたい。すなわち、中国で90年代以降に登場した既成作家としての「村上チルドレン既成作家グループ」および「村上チルドレン新進作家グループ」のみにとどまらず、書き込みサイトの村上読者ユーザーを代表とする村上読者たちをも研究の視野に入れた上で、中国における村上チルドレンによる村上受容の様相を考察するのである。また近年の中国では、作品を宣伝する際に「中国の村上春樹（原文：中国的村上春樹）」、「最も青春的な村上春樹（原文：最青春的村上春樹）」といった村上関連のレッテル貼りをする傾向があるように、村上は中国（中国語圏）においてすでに文学の領域を超えており、あたかも一種のブランド効果、換言すれば村上春樹ファッションとして扱われている。このような様々な村上受容現象において、中国の村上チルドレン間、そして村上チルドレンと村上ファッションとの間の関連性を探り、村上チルドレンの現状を分析する。これにより、現代中国における「村上チルドレン」の文化史的意義およびその独自性を明らかにし、現代中国文学における新世代である「70後」「80後」の研究の一助としたい。

2. 研究方法および論文構成

以上のテーマを研究するために、本論は中国の「70後」・「80後」作家群に属する村上チルドレン予備軍として、衛慧、慶山、郭敬明（クオ・チンミン、かくけいめい、1983～）、忘却魚鱗（ぼうきやくぎょりん、1983～）、孔垂雷（こう・あれい、1975～）、李修文（り・しゅうぶん、1975～）の6名、および彼らの代表作に注目すると同時に、中国の人気書き込みサイト「豆瓣網」を中心に、村上春樹および村上チルドレン作家の読者について論じ、また豆瓣ユーザーとしての村上チルドレン読者に対

してネットインタビューを実施する。

ちなみに、「豆瓣網」の沿革については第4章「書き込みサイトの読者による村上受容—「豆瓣網」の調査を中心に」で詳しく紹介するが、一言でまとめれば、「豆瓣網」とは現代中国の若者たちの間で非常に流行している、読書・音楽・映画・ブログなど幅広いジャンルにわたって網羅的なサービスを提供する文化交流ネットワークのことである。そのうち「豆瓣読書」・「豆瓣電影」・「豆瓣音楽」の三つのサブサイトは「豆瓣網」で最も人気のある三大批評ブロックとされる。本論の「豆瓣網」をめぐる調査および書評とユーザーコメントは、主に「豆瓣読書」と「豆瓣電影」を参照したものであるが、混乱を避けるために統一して「豆瓣網」という名称を使用する。

2013年9月までの統計によると、「豆瓣網」の登録ユーザー数はすでに7500万人を超えている。この膨大なユーザー群から生まれた書評や映画批評には上質なものが多く、一部の資料には学術論文に劣らないほどの参考価値があると考えられる。また、「豆瓣網」の匿名性¹⁶、即時性、また書き込みの自由性によって、学術論文の登場を待つよりも早く、内容豊富で活発な批評を確認することができるのもメリットの一つである。現在、主にインターネットにより高度に情報化された社会に生きる我々は、もはや紙媒体の資料だけではなく、ネット上で公開されているデジタル資料をも研究対象とせざるを得ない時代を迎えつつある。しかしいっぽうでは、たとえばネット上の資料を再検索した際に、作者自身による加筆修正やネット側による予告なしの削除が行われる等のリスクも存在している。したがって、本論ではインターネット上の資料を使用する際に、まず当該資料のURLおよびページを最終確認した時刻を明記する。また、資料保存の面においては、引用するネット上の資料や書き込みサイトの読者ユーザーに対するインタビューの記録などをすべてスクリーンカットして、画像として保存する。

¹⁶ 書き込み者はユーザー名を利用して発言すること。

具体的な研究方法としては、まず、前述した研究対象を、それぞれの村上受容の特徴によって、三つのグループに分ける。すなわち、中国ではすでに著名になり、その作品が日本でも翻訳・刊行されたことのある既成作家で「70 後」の代表である衛慧と慶山、および「80 後」の代表である郭敬明を「第 1 グループ」（以下〔1 組〕と略記する）の「模倣的創造の村上チルドレン流行作家」に分類する。次に〔1 組〕より約 10 年遅れて中国文壇に登場してきた若手作家の忘却魚鱗、孔垂雷、李修文の三人を「第 2 グループ」（以下〔2 組〕と略記する）の「成長中の村上チルドレン作家」に分類する。最後に、前述した「豆瓣網」における読者ユーザーの中でも特に村上文学に注目し、且つ批評意欲旺盛なユーザーたちを、中国に広く存在する村上読者の代表として、「第 3 グループ」（以下〔3 組〕と略記する）の「豆瓣網ユーザーとしての村上チルドレン愛読者」に分類する。続いて、「豆瓣網」掲載の批評を参考にしながら、詳細なテキスト分析を行い、三つのグループに分けた研究対象それぞれの村上受容の特徴を検証する。これと同時に、「豆瓣網」で公開されている各種のデータを活用しつつ、中国人読者の村上作品をめぐる読書傾向を分析し、中国の村上チルドレンの全般的な状況を考察する。最後に、村上文学に登場する特定のモチーフや周縁の事象を強調する社会現象を考察し、「中国における村上チルドレン・村上ファッションの相関図」を作成する。そしてこれらの考察に村上作品から改編された映画の中国における独自の受容実態を重ね合わせて、中国における村上春樹の受容を俯瞰したい。

なお管見の限り、現在「豆瓣網」を研究対象にする、あるいは「豆瓣網」を通じて論文調査が行われるケースは、ほとんどが図書館学や経営学、また情報処理工学など¹⁷の分野に集中しており、文学・文化研究に適

¹⁷ 具体的に言えば図書分類・管理に関する方法（「从豆瓣网看图书馆学科信息服务的改进」『図書館雑誌』2009 年 8 月、「以豆瓣网和中国国家图书馆为案例的网上书目推荐系统研究」『図書館学研究』2008 年 8 月）や、電子商取引を有効に利用したビジネスモデル間の比較（「豆瓣网发展模式浅析」『赤峰

用された例はまだ見うけられない。その意味で、本論の「豆瓣網」を通じての村上読者に対する調査が、現代中国文学研究の新領域を切り開く方法となることを目指したい。

論文構成に関して述べると、まず第 1 章「中国における「村上チルドレン」の誕生」では、1986 年の村上春樹中国初登場時から 2015 年の本論執筆時にかけての中国における村上作品の翻訳・出版状況を、当時の時代背景、特に 2 回の大きな版元変更注目しつつ、年代順に整理する。また、藤井省三がまとめた前述の 1989 年、1998 年、2007 年の 3 回にわたる中国の村上ブームののちにも、更に第 4 次村上ブームが発生しているが、そのきっかけは 2010 年に新経典社が 100 万米ドルという中国出版史上最高額とされる著作権料で『1Q84』の著作権を取得し、初版 120 万部を刊行して、再び中国読者の村上春樹に対する関心呼び起こしたことであった。このような四半世紀を越す中国の村上受容史および現代中国文学史の時空における、「70 後」・「80 後」現象の出現および「村上チルドレン」誕生の経緯を考察する。

第 2 章「模倣的創造の村上チルドレン流行作家群—衛慧・慶山（旧名：安妮宝贝）・郭敬明の村上受容を中心に」では、前述した〔1 組〕の研究対象を中心に、第一に衛慧による村上春樹『森』のテーマである「青春物語」と「成長物語」の段階的な受容を考察する。その際には長編小説の『上海ベイビー』（1999 年）から休筆前の最後の作品と言われる長編小説の『狗爸爸』（2007 年）に至るまでの作風転換に注目した。第二に慶山による村上作品に対する模倣的創造の実践を考察する。その際には、短編集『さよなら、ビビアン』（2000 年）から人気大作『蓮花』（2006 年）および、30 万字におよぶ新作『春宴』（2011 年）に至るまでの作品を研

学院学报・自然科学版』2011 年 3 月、「“豆瓣网” 盈利潜力及未来盈利策略探讨」『现代商贸工业』2012 年 9 月）、Web2.0 としての「豆瓣網」の構造およびをめぐる文化研究（「Web2.0 时代新媒体广告价值及在图书宣传领域的应用分析--以豆瓣网为例」『出版发行研究』2011 年 9 月、『Web2.0 时代豆瓣网的网络文化研究』南京師範大学、2012 年 3 月）などに関する研究ノート・論文である。「CNKI」による 2015 年 10 月 9 日までの検索結果である。

究対象とする。第三に郭敬明が中国に広く存在する「限定的読者」から強く支持されつつ、文学と商業の両面において成功していく過程を考察したい。その際には、彼が村上から継承した「人類共通の悲しみ」を、限定した登場人物による限定された「子どもっぽい悲しみ」へ転換した点に注目したい。

第3章「成長中の村上チルドレン作家群—忘却魚鱗・孔亜雷・李修文の村上春樹受容を中心に」では、〔1組〕より約10年遅れて中国文壇に登場した〔2組〕の作家三人を取り上げる。すなわち第一に「最も青春的な村上春樹」と称される忘却魚鱗の、物語の構成から登場人物の設定、会話に至るまでが『森』および『風』に酷似した作品『關於彼岸的一切』（2009年）を取り上げたい。第二に「中国の村上春樹」と称される孔亜雷の『不失者』（2008年）に『世界の終わり…』、『ねじまき鳥クロニクル』、『羊』などの村上春樹の名作に対する「オマージュ」を取り上げたい。第三に李修文の、日本を舞台に中国人によって演じられる中国版の『森』と言われる『滴涙痣』（2002年）を考察したい。これにより村上作品の創作手法や文学要素に対するやや直接的な模倣からまだ脱却しておらず、独自の作風が定まっていない〔2組〕における村上受容の特徴を分析する。いっぽう、何らかの形で自作品と村上春樹との関係性を強調して読者の興味を引くという〔2組〕のもうひとつの共通点を踏まえ、2004年に起きた『挪威没有森林（ノルウェイに森はない）』による、『森』の「続編」の偽訳事件も取り上げたい。

第4章「書き込みサイトの読者による村上受容—「豆瓣網」の調査を中心に」では、〔3組〕の研究対象に対して、前述した中国の人気書き込みサイト「豆瓣網」を中心にネットインタビューを実施する。このインタビューで回収した比較的完成度の高い回答を用いて、「回答者の基本状況」および「村上読書初体験」という二つの問題点について分析を行い、中国の村上受容の状況を考察する。また「豆瓣網」ユーザーである熱心な読者が作家を目指す実例として、豆瓣網専属ネットライターの楊小渥

による『ノルウェイの森 2』¹⁸の創作の経緯を紹介する。更に、1989年から2015年までに中国で翻訳・刊行された村上作品を、「長編」、「短編集・超短編集」および「エッセー・その他」の三つのジャンルに分類し、「豆瓣網」で公開された各種のデータを活用しつつ、「書き込みサイト豆瓣網」における村上文学の読書人数グラフ」を作成する。そして、「豆瓣網」の読者批評を参考にしながら、その成因を解明しつつ、「豆瓣網」を中心とする中国における村上作品の読書状況を可視化したい。

最後に第5章「中国における映画『ノルウェイの森』の受容」では、文学以外の領域における中国の村上受容として、映画を取り上げたい。2011年9月に中国で劇場公開された映画『森』は、日本で上映されたオリジナルバージョンより30%近くもカットされていた。本章ではこの映画が小説→映画→中国劇場版映画という二重の改編を受けた点に注目し、同作に対する中国独自の受容を考察する。

終章「中国における村上チルドレンおよび村上春樹ファッション」では、まず中国・南京市にある「挪威的森林（ノルウェイの森）」という名の高級マンション、広東省深圳市にある「村上春樹」という名のパン屋、また歌手朴樹の「且聽風吟（風の歌を聴け）」や台湾ロックバンド五月天の「神的孩子都在跳舞（神の子どもたちはみな踊る）」といった作品などの社会現象に注目して、中国語圏で村上春樹がすでに文学の領域を越え、一種のファッションとして受容されるように至っている点を考察する。

次に5章まで試みてきた考察と合わせて、1986年2月に村上春樹文学が最初に中国で紹介されて以来の、中国の「70後」「80後」を中心とする「村上チルドレン」による村上受容を総合的に検討し、現代中国における村上チルドレン、村上ファッション、並びに村上読者などの各グループ間の関係を、「中国における村上チルドレン・村上ファッション相関図」にまとめて提示する。このようにして、中国における村上春樹受容

¹⁸ 村上春樹長編『ノルウェイの森』の続編として自ら創作したネット小説のことである。

の問題を改めて考察した上で、本研究の成果に対して総合的なまとめを行い、合わせて今後の課題を考えたい。

第1章 中国における「村上チルドレン」の誕生

1-1 中国における村上春樹の翻訳状況および「村上ブーム」の発生

序章で述べたように、村上春樹が最初に中国に紹介されたのは1986年2月の中国誌『日本文学』によってであった。この頃はちょうど改革開放政策の実施に伴った社会主義市場経済体制の導入によって、文化出版業および中国の読書市場が大きな変化が起きていた時期である。

孫軍悦のまとめによれば、社会主義市場経済体制が導入される前の社会主義中国において、出版社は国から提供された材料と経費によって書籍を出版するだけの単純な「生産者」であり、発行や販売などの経營業務は新華書店に任せられていた。ところで、1984年になると、改革の実施と共に、かつては補助金に依存し、納税義務のなかった出版社は、補助金が減額されるいっぽうで、納税義務も要求される「生産・経営者」へと転じた。運営の負担が増えると同時に、1985年前後のインフレの影響によって生産コストが高騰し、出版社の経営は苦しい状況に陥った。このような市場化による出版業の不振のなかで、かつては民衆に歓迎された文化大革命を告発する「傷痕文学」や、政治運動を反省する「反思文学」、そして80年代半ばから現れた「先鋒小説」「尋根文学」は、社会の発展と共に読者の日常生活からかけ離れ、だんだん周縁化されていく。これと対照的に人気を集めたのは、80年代の初めに台湾、香港、欧米、日本から流入した推理、恋愛をテーマとした大衆に親しみやすい「通俗文学」であった。当時の「通俗文学」は「商品として消費される文学の卑俗さ、低級さを代表する猥褻な、暴力的な」色が濃く、政府から厳し

く規制されるが、窮地に追い込まれた地方の出版社にとって、却って活路を見出すための大切な転換先であった。¹

このような背景のもとに、主に現代日本文学の中国語訳および中国人研究者による評論を掲載する『日本文学』は、第16期に宮沢賢治特集と共に、村上文学の翻訳者として知られる台湾の頼明珠（ライ・ミンチュー、らいめいじゅ、1947～）によって台湾誌『新書月刊』1985年8月号で組まれた「村上春樹的世界、頼明珠選訳」小特集を半年遅れでそっくりそのまま転載した。その小特集の内容とは、頼明珠訳による川本三郎の1980年代初期の評論「都市の感受性」および村上春樹の「街のまぼろし」「1980年におけるスーパー・マーケット的生活」「鏡の中の夕焼け」の短編三作である。記事の末尾に付された約800字の「編者附記」は、村上春樹の経歴を紹介したうえで、彼の文学的特色や、アメリカ文学からの影響などについても簡単に言及している。しかし、内容から見れば、村上春樹に対して深い関心を寄せる台湾誌と比べて、『日本文学』の反応はむしろためらいがちである。たとえば、村上文学紹介文の冒頭には次のような記述が置かれている。

「読み始めにはでたらめ極まると見えるこれらの作品には、大量の風俗描写が盛り込まれ、深い哲理が含まれている。彼は高度に発達した現代都市の現実からむしろ空虚と寂寞とを感じている。彼は家から出ることなく天下の事を知る、いわゆる情報化社会の中から、それがむしろ人間性の貧窮であり、感情的色彩の衰退であることを悟ったのだ。彼の作品は現代資本主義国家の都市生活の中の比較的隠蔽されている側面を描き出した。」²

¹孫軍悦「世界は、あなたたちのものわたしたちのものー『ノルウェイの森』から見た中国大陸の文学生産体制の転換ー」『日本学研究叢書2』国立台湾大学出版中心、2013年4月、66～70頁を参考にした。

²原文「那初看起来荒诞不经的作品中掺杂着大量的风俗描写，蕴含着深刻的哲理。他从高度发达的当代城市生活中感受到的却是空虚和寂寞；他从足不出户而知天下事的所谓信息化社会中，领悟到的却是人性的贫乏，感情色彩的消

藤井省三の分析によれば、1980年代以降の鄧小平時代を迎えた中国は、改革・開放政策と共に、1984年のオリンピックロサンゼルス大会への初参加や1986年のアジア大会初参加を通じて、すでに資本主義世界へ歩を進めていたとはいえ、1983年の「精神汚染追放」キャンペーンや1987年の「反対資産階級自由化」キャンペーンが展開されるなど、まだ保守的な政治体制を保持していた。そのいっぽうで、1977年12月の全国統一入試の再開と共に中国の青年知識層が増加し、彼らは西側資本主義諸国に対する憧れを覚え始めた。このような80年代の中国にあって、雑誌の編集者が村上春樹を紹介する際に、村上作品における「現代資本主義国家の都市生活」における「空虚」で「寂寞」とした「人間性の貧窮」と「感情的色彩の衰退」とを描き出す「深い哲理」を強調するのは、経済改革は必要だが歪んだ資本主義イデオロギーは拒否すべきという共産党の政策を尊重する姿勢を示そうとするものでもある。³つまり、80年代後半、中国の文化界は慎重に、しかし興味は抑え難く、村上を受容し始めたと言えよう。

いっぽう、このような慎重な村上受容のもうひとつの理由は、上述した政府による「精神汚染」批判の対象になりかねない村上作品中の性描写であろう。『日本文学』の編集者が村上作品の特色を紹介した際に、真っ先に「大量の風俗描写」に言及したのもそのためだと考えられる。案の定、1989年漓江版『挪威的森林』が刊行されたときに『『森』添削事件』が起きたが、これについては後述する。

『日本文学』の紹介から約2年後の1988年12月に中国社会科学院が編集刊行した『世界文学』第6期、および上海訳文社が版元の『外国文芸』第6期には、ほぼ同時期に村上春樹の短編が掲載されている。前者

退。他的作品揭示了现代资本主义国家城市生活中较为隐蔽的一个侧面。」『日本文学』第16期1986年2月、190頁。日本語訳は藤井省三『村上…中国』146頁からの引用である。

³ 藤井省三『村上…中国』、146～147頁を参考にした。

は水洛訳の「窮伯母的故事（原題：貧乏な叔母さんの話）」⁴と黄鳳英訳の「大象失踪（原題：象の消滅）」⁵の2作であり、後者は「象的失踪（原題：象の消滅）」一作のみであった。

初めて本格的な単行本として中国で紹介された村上作品は、更にその半年後の1989年7月に、林少華の翻訳によって桂林漓江社から刊行された『森』である。『森』は、『世界の終わり…』に続いて、1987年に書き下ろされた長編小説であり、男性主人公であるワタナベトオルはハンブルク空港に到着した飛行機の中で、流れてくるビートルズの名曲「ノルウェイの森」のBGMを耳にしたことから、昔の恋人直子を思い出す。同作は学生時代の主人公やその周りの人々の思春期の葛藤や人間関係、恋愛、喪失感などを巧みに描いており、日本では発売されて間もなくベストセラーとなった。

ところが、村上春樹のこの人気作品が中国で刊行された際に、「漓江版『森』添削事件」が発生した。『森』訳者の林少華自身のエッセー「『挪威的森林』“生日”紀事」は以下のような事情を記している。

「今から見れば、おそらくそれほどひどく「わいせつ」とは言えないが、二十数年前だったら、受け入れるには心の準備が必要である（中略）当時において比較的 안전한方法は、思い切りカットすることだったが、（私）は却って残すことにして、ただ「性交」と直訳される部分および性器に関連する言葉だけを、それに近い婉曲な文学的表現に入れ替える方法にした。それにしても、ニュース出版界はもともと精神上的舶来品に特に敏感だったため、出版社内で何度話しあっても許可のサインが出なかった。最後に訳稿は国家ニュース出版機関のある官僚の机上に届い

⁴ 初出は『文學界』1985年8月号である。のちに短編集『パン屋再襲撃』（文藝春秋、1986年）および『村上春樹全作品 1979～1989③短編集Ⅰ』（講談社、1990年）にも収録されている。

⁵ 初出は『新潮』1980年12月号である。のちに書き換えも含め、短編集『中国行きのスロウ・ボート』（中央公論社、1983年）および『村上春樹全作品 1979～1989⑧短編集Ⅲ』（講談社、1991年）にも収録されている。

た。話によるとこの官僚はじっくり全文を読んだ後に、思わず「いい本だ！」との評価を下したそうだ。こうして、「わいせつ」と見なされた部分約 1600 字が削除された後、『森』中国語版は当時外国文学の出版に尽力していた漓江出版社により、1989 年 7 月に刊行された（中略）初版 3 万部。なかの章ごとに編集部により章題が付けられていた一たとえば「月夜の裸女」、「同性愛の禍」、「得がたい享楽」など」⁶

この中国語訳版には日本文学研究者の李徳純による序文が掲げられており、その中で李は『森』に正統的日本文学という高い評価を与えている。しかも当時中国の検閲側が性的描写に保守的な態度を取っていたにもかかわらず、版元が『森』に原作にはない露骨な章立名を付し、更に表紙には黒い背景に着物を腰まで脱ぎかけて撫で肩の白い背中を見せる女性の絵を使用するなどの改編を加えている点は興味深い。専門家の序文による高尚な「正統的日本文学」という評価と、センセーショナルな章立名や官能的表紙の付加という一見矛盾した改編ぶりからは、「純文学」派と「通俗文学」派との異なる読者層を共に対象として全面的に売り出そうとする版元側の意向がうかがえよう。

前述したように、漓江添削版『森』が中国で刊行された 1989 年 7 月は、ちょうど北京での天安門事件勃発の翌月に当たっていた。この時期、中国の民衆は民主化の失敗に伴う価値観の喪失、自我崩壊、空虚感などの

⁶ 原文「如今看来，恐怕并没“黄”到多么了不起的地步，而在二十几年前，接受起来还是需要作心理调整的（中略）当时较为保险的做法是一切了之，而我决定予以保留，而仅仅将直译为“性交”以及近乎生理器官名称的若干字眼代之以含蓄些的文学语言。尽管如此，新闻出版界本来就对精神上的舶来品分外敏感，以致出版社讨论几次都无人敢签字放行。最后译稿清样摆在了国家新闻出版总署一位官员的办公桌上。据说这位官员认真看了全稿，看罢道一声“好书”！这样，在删除约 1600 字典型涉“黄”部分之后，《挪》中译本于 1989 年 7 月当时在外国文学出版方面颇有建树的漓江出版社出版（中略）首印 3 万册。里面章别目录由编辑部加了标题，如“月夜裸女”，“同性恋之祸”，“难得的享受”之类」林少華『高墙与鷄蛋—林少華精銳美文集』（以下『高墙与鷄蛋』と略記する）紅旗出版社、2011 年 1 月、87～88 頁。以下は特に説明がない限り、翻訳文は筆者によるものとなる。

挫折を体験したが、共産党の厳しい言論統制の下にあってはそれらを口にすることは困難であった。藤井によれば、このような閉塞した時代背景の中で刊行された『森』は、正統的モダニズムやポルノ小説として読まれただけでなく、民主化の挫折に対する癒しという第三の読書法も現れ、「大きな疲労を覚え深い挫折を味わった各地の青年たち」⁷に支持され始めたという。

これをきっかけに、桂林漓江社は1990年に『森』の第二刷3万5千部を増刷し、初版の3万部と合わせて、刊行1年での発行累計部数は6万5千部に達した。このような『森』の好調な売れ行きに乗じて、林少華は続けて1991年3月に『青春的舞歩（原題：ダンス・ダンス・ダンス）』（以下『ダンス』と略記する）を、1992年8月に『世界尽頭与冷酷仙境（原題：世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド）』および『好風長吟（原題：風の歌を聴け）』を翻訳した。『ダンス』は南京譯林出版社刊行であるが、残りの二冊はいずれも桂林漓江社による刊行である。そのうち中国で最初に刊行された『風』は増頁されて、「中国行きのスロウ・ボート」（以下「中国行き…」と略記する）、「象の消滅」（以下「象」と略記する）、「100%の女の子に出会う」（以下「100%の女の子」と略記する）など22篇を収録した短編集として編集された。

これと同時期に、他の出版社が村上訳の出版に参入したため、林訳のほかに、鐘宏傑・馬述禎共訳『挪威的森林：告別処女世界（原題：ノルウェイの森）』（北方文芸出版社、1990年）、張孔群訳『舞吧，舞吧，舞吧（原題：ダンス・ダンス・ダンス）』（百花文芸出版社、1991年）、馮建新・洪虹共訳『跳！跳！跳！（原題：ダンス・ダンス・ダンス）』（漓江出版社、1991年）のように、同じ作品が別の訳者により翻訳され刊行されるケースが増加した。このような村上作品の翻訳ブームが盛んにな

⁷ 藤井省三「中国の村上チルドレンと村上春樹小説の「家族の不在」—衛慧・安妮・ベイビーにおける「小資」文学の展開をめぐって」（以下は『…家族の不在…』と略記する）青土社『ユリイカ』2008年3月臨時増刊号、168頁。

る中、最も売れたのは、漓江添削版の『森』であり、同書は1993年までに4回増刷され、累計発行部数は10万部に達したという。⁸このようにして、80年代末から90年代初期の中国では、小規模ながらも第1次村上ブームが起こったのである。

天安門事件後の1992年から、鄧小平は再び改革・開放路線へと傾き始めた。この時期のGNP成長率は、1992年の14.2%にまで急増した後、伸びがだんだん減って、1999年の成長率は92年の半分の7.1%にまで落ちた。いっぽう、全国一人あたりのGNPは1978年の379元から99年には6,546元にまで増加し、更に上海・北京のような大都市ではそれぞれ30,802元と19,803元にまで達した。とりわけ上海の経済発展は著しく、90代末には既に60年代末の日本経済の水準に近づいていたという。⁹

このような経済成長に伴う変化の中で、桂林漓江社は『森』を改版し、表紙を従来に着物姿の美女から、ソファーに仰向けになった男性と女性のヌード二体を抽象的に描いた線描画、いわゆる「線描画版」に変えると同時に、章題をすべて外して、1996年7月に5巻セットの『村上春樹精品集』中の一冊として1万5千部を刊行した。「線描画版」の林少華著「新版後記」によると、この時期の桂林漓江社はまだ正式に版權を取得しておらず、「…わが国が世界版權条約加入後に本書をなおも公明正大に読者の手に届けるためずいぶん粘り強く努力」¹⁰していた。

続けて1998年9月に、桂林漓江社は「線描画版」に替え、女性の顔写真と日本庭園を逆三角形になるよう組み合わせ、その下には富士山を配するデザインの表紙に変えた第二版の『森』を刊行した。表紙の変化のほか、まえがき、専門家による批評、作家インタビューおよび村上春樹年譜という付録も新たに加えられたこの「逆三角形版」『森』は、刊行後

⁸ 林少華『高牆与鷄蛋』、88頁。

⁹ 藤井省三『村上…中国』、164頁。

¹⁰ 原文「…为在我国正式加入世界版权公约之后这部书仍能光明正大地送到读者手中而付出了可谓相当执拗的努力。」林少華著「新版後記」『挪威的森林』漓江出版社、1996年7月。日本語訳は藤井省三『村上…中国』164頁からの引用である。

急速に売り上げを伸ばし、初版 2 万 1 千部に続き、毎回 2 万部単位で 2000 年 9 月までに 10 回も増刷され、発行累計部数は 2 年間で 20 万部に達したという。¹¹また、「逆三角形版」ははじめて著作権取得が明記された『森』であり、中国における村上作品の出版は 2001 年 WTO 加盟を目前にようやく海賊版の状況から脱却した。こうして、「中国でも高度経済成長期がやや鈍るいっぽうで、上海・北京の市民が中進国並みの暮らしを謳歌し始めた 1998 年に「村上春樹現象」が生じた」。¹²これが藤井省三の指摘する第 2 次村上ブームである。

2000 年に入ると、中国の村上出版史にとって大きな転換期が到来した。村上ブーム再来のなかで、2000 年 11 月に著作権契約が切れた桂林漓江社にかわり、上海訳文社が村上作品十数点の著作権を一気に購入することによって、新たな中国語簡体字版の著作権を取得したのであった。出版社の変更とともに、村上作品の出版戦略も変わっていく。『森』を例として取り上げると、前掲孫軍悦の考察によれば、上海訳文社は『森』再販の際に、「桂林漓江社時代」の『森』との差異化を図るために、訳者の林少華氏に新たな序文を依頼すると同時に、以前の版本では削除された性描写を補い、「ピュアでロマンチックな雰囲気醸し出す表紙」を持つ「全訳本」として売り出した。漓江版では削除されていた「性的描写」が、「高尚な純文学」風にデザインされた表紙の上海訳文社版では「逆に不可欠な部分となった」という孫氏の指摘は興味深い。¹³

実は、前述した 1989 年漓江版『森』刊行の際の「純文学」「通俗文学」両派の読者を取り込もうとする版元の編集方針から窺えるように、如何に対立する正統文学と通俗文学のバランスを取りながら市場化される読書市場でいかに多くの読者を獲得するか、という点は当時からすでに大きな課題となっていた。この問題を解決したきっかけは、1993 年に誕生

¹¹ 林少華『高墙与雞蛋』、88 頁。

¹² 藤井省三『村上…中国』、165 頁。

¹³ 孫軍悦「世界は、あなたたちのものわたしたちのものー『ノルウェイの森』から見た中国大陸の文学生産体制の転換ー」81 頁。

した「格調の高いベストセラーブランド」を目指す春風文芸出版社の編集者安波舜が手掛けた「布老虎」叢書であった。安波舜が提出した「ベストセラー」はまさに社会主義イデオロギーを保障する「社会的効果」と社会主義市場経済体制のなかで対応できる「経済的効果」の両方を持ち合わせた新しい文学生産方法であり、その主張は「布老虎」の特徴である「きれいさっぱりとした性、正常普通の俗、安全安心の情熱（原文：干干净净的性，正正常常的俗，安安全全的激情）」から窺える。¹⁴このようにして、1989年『森』の出版の際に削除された1600字ほどの性的描写は、2001年の版元変更をきっかけに「安全な」環境において、復活した。

いっぽう、このような「性的描写」に対する許容度の高まりと「高尚」性志向の出現は、高度経済成長による中国社会の変化を強く反映しているからである。

90年代末における中国青年の恋愛観に関する調査によれば、自由恋愛により結婚する人たちの比率は1966年前の32.8%から1987-1996年の56.8%にまで上昇した。それと同時に、結婚前の性行為に対して、硬く拒絶する人たちの比率は1992年の55.7%から1998年の35.12%にまで減少した。しかも、そのなかで北京・上海・広州のような大都市に在住する高学歴者（大学以上の教育を受けた人たち）であればあるほど、結婚前の性行為に対して寛容な態度を持つ傾向が見られる。¹⁵これに対して、実際に結婚前の性行為があった17歳～24歳の中国青少年の比率は、1997年の9.4%から2001年の2倍弱の16.9%にまで上り、2011年になると更に10年前の2倍強の32.51%に上った。¹⁶このような自由恋愛や性行為

¹⁴ 邵燕君『傾斜的文学场：当代文学生産机制的市場化轉型』江苏人民出版社，2003年、140頁。孫軍悦「世界は、あなたたちのものわたしたちのものー『ノルウェイの森』から見た中国大陸の文学生産体制の転換ー」76-78頁を参考にした。

¹⁵ 羅渝川・張進輔「从20世纪的最后10年看我国青年婚恋观的变迁」、『陕西师范大学学报（哲学社会科学版）』2001年12月、165～167頁。

¹⁶ 程静「当前青少年婚前性行为现状及影响因素实证研究」『中国青年研究』

に対する許容度が高まる社会的雰囲気の中、文学作品における性的描写に対する規制が緩和され、むしろ逆に社会から積極的に受容されるようになってきている。後述する衛慧や木子美作品のように、語り手に自らの性体験やドラッグ体験を大胆に語らせるベストセラー「美女作家」の登場も、このような社会的変化と緊密な関係があると考えられる。

ちなみに、この「高尚な純文学」に変身した『森』は現在中国で刊行された全ての版本の中、もっとも読まれているバージョンである。その後、上海訳文社はこの「全訳本」『森』の刊行を皮切りに、2005年9月までの4年足らずのうちに31点¹⁷の林少華訳村上作品を『村上春樹文集』、『同系列エッセー』また単行本として続々と刊行した。『村上春樹文集』および『同系列エッセー』シリーズは当時中国で刊行されていた村上作品の長編、短編集およびエッセーの28点を網羅し、『森』の「全訳本」および『海辺的カフカ（原題：海辺のカフカ）』（以下『海』と略記する、2003年）、『天黒以後（原題：アフターダーク）』（2005年）の単行本とともに、中国の村上読者に未曾有の村上読書体験の機会を提供した。

2006年7月、上海訳文社は短編集『東京奇譚集』刊行をきっかけに、『村上春樹全集』を企画した。『全集』は、『東京奇譚集』をはじめ今までに刊行された村上作品を続々と改版すると同時に、旧『文集』に入れられなかった『森』、『海』および『アフターダーク』をも収録し、2011年6月と2012年6月にそれぞれ新たに翻訳・刊行された村上春樹によるノンフィクション作品である『地下（原題：アンダーグラウンド）』（以下『地下』と略記する）と『在約定的場所 地下2（原題：約束された場所—underground 2）』（以下『地下2』と略記する）も加えた合計22点を収めている。『全集』出版と並行して、2007年に『森』誕生20周年の記念出版としてハードカバー版『森』2点および紀行集『雨天炎天』

2015年5月、54頁。

¹⁷ 筆者の統計によると、『村上春樹文集』16点、『同系列随筆』12点、単行本の『海辺のカフカ』、『アフターダーク』、及び『ノルウェイの森』全訳本3点を合わせて31点になる。

も刊行された。藤井省三は CNKI における 2007 年の『森』キーワードの検索結果数が 2002 年～2006 年に比して増加傾向にあることについて、おそらく『森』出版 20 周年に関するメディアの宣伝によって、第 3 次の村上ブームが到来したのでであろうと述べている。¹⁸

ところが、2009 年に発行され、日本では一か月の販売部数が Book1, Book2 二巻合わせて 200 万部を超えた人気作『1Q84』の中国における翻訳・刊行が、中国の村上出版史に再び大きな転換期をもたらすことになる。中国の出版大手 10 社が名乗りを上げた簡体字版版權争奪戦の結果、出版販売企画会社の新経典社が 100 万米ドルで版權を取得し、南海出版社を通して BOOK1、BOOK2 をそれぞれ 2010 年の 5 月と 6 月に、そして BOOK3 を 2011 年 1 月に刊行したのである。マスコミ各社の報道によると、今回中国出版史上最高額と言われる版權料を支払った新経典社は、『1Q84』の初版は 120 万部を刊行したという。¹⁹版元変更と同時に、訳者も林少華から施小煒に変わった。²⁰施小煒は 2009 年に同社が刊行した『当我谈跑步时、我谈些什麼（原題：走ることについて語るときに僕の語ること）』で中国における村上文学の翻訳者としてデビューし、Book3 の刊行までに、南海出版社の『新経典文庫』に収められた計 4 点の村上作品を翻訳している。2015 年 10 月にまで「新経典文庫・村上作品」シリーズの村上作品数は既に 16 点に登り、なかでは施小煒訳の村上最新長篇小説『没有色彩的多崎作和他的巡礼之年（原題：色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年）』も含まれている。

『1Q84』は、日本での発売当初から、中国でも大きな話題になっていた。中国語版『1Q84』の発売当時には「豆瓣網」が発売記念サロンを開

¹⁸ 藤井省三著、張明敏訳『中国的挪威的森林』『聯合文学』314 期、2010 年 12 月号、57 頁。

¹⁹ 「村上春樹《1Q84》中文简体字版在京首发」『Sina 文化・読書』2010 年 5 月 25 日 <http://book.sina.com.cn/news/c/2010-05-25/2304269344.shtml> (2016 年 6 月 17 日に最終閲覧)

²⁰ 藤井省三「中国における村上春樹受容の第二の転換期」『新潮』2011 年 3 月号、205 頁。

いたのをはじめとして、中国の大手ネット書店「当当網」では予約販売開始と同時に先着順で『1Q84 搶読本』²¹100万冊をプレゼントし、ファッション誌では芸能人を使って『1Q84』中のシーンを再現した写真を撮るなど、マスコミによる宣伝が盛んに行われた。また中国で2回の村上ブームを起こした『森』と比べても桁違いの初版刊行部数からも、『1Q84』の登場は中国に第4次村上ブームを起こしたと筆者は指摘したい。

いっぽう、上海訳文社もこれに負けずに、2011年に前述の『地下』・『地下2』、そして紀行記の『遠方的鼓声（原題：遠い太鼓）』および『辺境 近境（原題：辺境・近境）』を林少華による翻訳で、以前刊行したエッセー6冊と共に新しい『村上春樹エッセー系列』に組み入れて刊行した。

こうして、1989年から2015年までの20年あまりの間に、初期の一社による著作権なき出版から、同じく著作権なき複数出版社による同一作の異種翻訳の重複出版を経て、大金で著作権を取得し出版するという現在のよ様な状況に至るまで、中国は4回の村上ブームを経験し、56点、およそ100種類以上の版本の村上作品を刊行してきた。このように多彩な村上読書世界に浸っている中国の読者たちの間から、特に村上春樹を愛読し、さらには村上春樹を目指して小説を創作しようとする人々—すなわち村上チルドレンが登場してきたのである。

1-2 中国における「村上チルドレン」の誕生

「村上チルドレン」という言葉は2002年11月にアメリカ週刊誌『タイム（TIME）』に初めて出現した単語である。原文は「Murakami's Children」で、「村上春樹の模倣者たち」という意味である。²²この言葉は誕生して以来、いまだ完全には定着しておらず、現在文学界では「春樹チルドレン」と並行して使われているほか、経済界では元通商産業省

²¹ 予告編のような宣伝冊子。

²² “PopMaster”, Velisarios Kattoulas/Tokyo. Time, November, 25, 2002, PP. 70~71

官僚の村上世彰による「村上ファンド」事件以後、その後継者に対して使用されることもある。²³

序章で述べたように、本論では、読者からチルドレン作家が生まれるというなりゆきを考慮し、文学においてもともと「村上春樹を模倣する作家たち」と定義されていた村上チルドレンの定義を「特に村上文学に関心があり、更に批評の意欲のある読者」²⁴にまで拡大し、より広範囲にわたって村上チルドレンによる村上受容という問題について考察したい。そこで、具体例の分析に入る前に、まず中国における村上チルドレンの誕生と密接に関係する、90年代末期から中国文壇に出現した「70後・80後現象」およびそれと共に現れた村上チルドレン予備軍の「小資」と「布波族」の登場について述べたい。

「70後」・「80後」というのは中国で20世紀末に登場した言葉で、もとはその年代に生まれた人たちを指す用語であった。それが現在のように専ら70年代生まれ、あるいは80年代生まれの若手作家を指す文学専門用語へと変化したきっかけは、上海文芸出版社主催の隔月刊文芸誌『小説界』1996年第3期の特集「70年代以降」である。当時『小説界』副編集長だった魏心宏は、主流が不在であり、大きな進展も見えない1990年代以降の中国文壇に新人を送り出すとき、この新しい作家グループの作風の特徴をまとめる共通のうまい言葉が見つからず、とりあえず以前の作家グループと区別をつけるために、出生年代という共通点によって「70後」と称した、と述べている。²⁵

しかし、すでに広く受け入れられている、出生年代によって境界線を引くこの言葉は、偶然とはいえ、まさに70後作家群の特徴を浮き彫りに

²³ 例えば、高橋篤史「村上チルドレン“マネーゲーム”の前途」『週刊東洋経済』2006年6月17日号、112頁。

²⁴ ただし、この「批評の意欲のある読者」のなかでは、のちに文学批評、または学術研究にまで発展する文学批評家や村上研究者は本論で使用する「村上チルドレン」の対象外とする。

²⁵ 魏心宏『為什麼叫她們“七十年代後”（代後記）』、『七十年代以後小説選一紙戒指』上海文芸出版社、2001。

している。「文革」末期に生まれ、鄧小平時代の改革・開放期の中で成長した70後作家群は、新中国の高度経済成長により、精神的・物質的に豊かになっていく生活面での著しい変化を自ら体験しているため、その意識形態や創作手段にも、社会の影響を受けたことによる変化が見受けられる。

なかでも、最も代表的な特徴と言え、おそらく「美女作家」の出現と「ネットワーク文学（ネット文学）」²⁶の隆盛であろう。前者のきっかけは吉林省作家協会主催の半月刊文芸誌『作家』の1998年7月号における特集「70年代出生的女作家小説専号」で、ここでは衛慧、棉棉（めん・めん、1970～）、周潔茹（しゅう・けつじょ、1976～）など7名の女性作家の作品それぞれに有名批評家による書評および作家自身の創作談が付せられて掲載されたが、その際各作家の写真二、三枚が雑誌の扉にずらりと並べられ、読者に視覚的興味を引き起こして話題となった。それ以来、『小説界』がそれまで維持してきた「70後」作家群の男女のバランスは一気に崩れ、美女作家が群をなして登場したのである。彼女たちは自分の容貌をマスメディアで強調すると同時に、自身の奔放な性体験やドラッグ体験など、普通はタブーとされるような話題を、憚ることなくさらけ出しながら小説化し、その方法は「身体で書く（原文：身体写作）」とも呼ばれている。

²⁷後者を後押ししていたのは、90年代以降の中国におけるインターネット

²⁶ 欧陽友権「网络文学研究的前沿问题」は「ネットワーク文学」には3つの意味があると述べている。一つは広義的の「ネットワーク文学」として、ネットで流通している文学のすべてを指す。例えば、紙版雑誌の発行とともに発行されるデジタル版がある。二つ目はネットで発表したオリジナル文学のことである。このジャンルは現在の「ネットワーク文学」の主流であり、ネットから誕生したとはいえ、のちに出版社によって紙版の出版物として刊行される可能性もある。例えば安妮寶貝の『さよならビビアン（原題：告别薇安）』。三つ目はネットの特徴を利用して創作され、ネットに依存する文学である。例えば複数の作者によって、リレーという形で完成する「接龍小説（リレー小説）」などがある。本論で言及する「ネットワーク文学」は二番目のジャンルを指している。
<http://www.eduww.com/xsxk8010/ShowArticle.asp?ArticleID=7087>。（2015年4月16日に最終閲覧）

²⁷ 邵燕君『“美女作家”現象研究—从“70後”到“80後”』広西師範大学出版社、2005年、7頁。

トの普及に伴って、ネットで文学作品を創作し発表する人たちのために立ち上げられたネット文学サイトの増加である。たとえば1991年に王笑飛が立ち上げた「海外中文詩歌通信網」をはじめ、1994年2月に方舟子たちによって創立された中国最初のネット文学雑誌『新語絲』、同年に元「海外中文詩歌通信網」メンバーの女性作者たちによって創立された女性ネット文学雑誌「花招」などを経て、2016年現在勢いのある「榕樹下」²⁸、「小説閲読網」²⁹などは、いずれも中国社会科学院インターネット研究センターおよび中国文学ネット主催の2008 網絡文学發展サミット³⁰で発表された「最も影響力のある文学サイト」トップ10にランクインするまでに発展しており、中国の網絡文学はすでに一つの成熟した文学ジャンルと言えよう。

1998年3月に台湾のBBS³¹で発表された、当時台湾成功大学水利工学博士課程在学中だった蔡智恒（さい・ちこう、1969～）によるネット小説『第一次的親密接触』は、網絡文学ブームを本格的に引き起こしたきっかけと見られている。この小説は、インターネットを通じて生まれた男女二人の感動的なラブストーリーで、ネットユーザーには馴染みのある顔文字が使われており、台湾版『タイタニック』と称されるほど人気を博した、正真正銘のネット小説である。その翌年の11月に中国知識出版社は同小説を書籍出版し、中国の網絡文学の創作に新たな刺激を与えた。現在の中国で網絡文学の代表的な作家と言え、安妮寶貝、李尋歡、邢育森、寧財神などの名前があげられる。

ところで、「70後」の出現とほぼ同時期に、中国社会には「プチブル（原文：小資）」や「ブルジョア・ボヘミアン（原文：布波族）」と呼ばれる人々が登場した。藤井省三によれば、上述のような、「文革」末期に生まれ、鄧小平時代、あるいはポスト鄧時代に成長してきた人たちの中

²⁸ 「华语文学原创网站-榕樹下」<http://www.rongshuxia.com/guest.html>

²⁹ 「小説閲読網」<http://yanqing.readnovel.com/>

³⁰ 「2008 網絡文学發展サミット」ホームページ <http://www.literature.org.cn/pingxuan/>

³¹ 英語 Bulletin Board System の略称で、電子掲示板のことを指す。

でも、特に改革開放により先進都市になりつつある上海・北京などの大都市に在住する学歴エリートが中産階級を形成し始め、また民営マンション、カフェ、バー、私的旅行など人民共和国において初めての都市文化が出現したこともあって、「小資」や「布波族」と呼ばれる人々が登場したという。³²

「小資」とは「小資産階級」の略称であり、その判断の基準としては、高学歴でホワイトカラーまたは自由職、経済的な余裕があり、独身者が多く、ブランドに特別の愛着を持ち、スターバックスの常連客で、張愛玲（チャン・アイリーン、ちょうあいいい、1920～1995）と村上春樹を読み、旅行好きである等といった条件が挙げられる。「布波族」とはブルジョワ（布爾喬亞 Bourgeois）の「布」とボヘミアン（波西米亞 Bohemians）の「波」を組み合わせで作られた言葉である。「小資」の一種ではあるが、「小資」と比べて自由で反逆的で、自分の考えを持つ消費的コマーシャリズムの担い手であり、また冷静でより洗練されていると認識されている。³³彼らは北京・上海のような中国の大都市で多様なライフスタイルを享受しながら、村上文学を都市生活のガイドブックとして熱心に受容し、正に前述した藤井省三が提示した中国で起きた第2次村上ブームの担い手となっている。そして、彼らの出現は次に登場する中国村上チルドレン作家のために土台を築いたと言えよう。

「70後」に続いては、同じくその出生年代によって称される80後作家群が、21世紀初頭の中国文壇に華やかに登場した。「80後」作家群は1979年の中国政府による一人っ子政策実施後に生まれており、「ワガママ」「利己的」「世間知らず」などと世間から厳しく批判されながらも、主に青春、反逆、恋愛といった思春期の少年少女たちに共通する悩みを、この世代独自のリアリズムあるいはファンタジーの形式で小説化している。

³² 藤井省三「家族の不在…」、174頁。

³³ 藤井省三「家族の不在…」、174頁。

前世代とは異なる個性的な「80 後」の登場は中国文壇に「80 後現象」と言われるまでの反応を引き起こした。「80 後」作家が大きく注目され始めたきっかけとなったのは、1999 年に文芸誌『萌芽』が北京大学、復旦大学、南京大学を含む中国名門大学 7 校と共同開催した第一回「新概念作文コンテスト（原文：新概念作文大賽）」において、韓寒（かん・かん 1982～）が一等賞を受賞し、翌年彼の人気デビュー作『上海ビート（原題：三重門）』（2000 年、作家出版社）が刊行されたことであると広く認識されている。

「新概念作文大賽」とは上海作家協会発行の文芸誌『萌芽』が主催する全国範囲で影響力を持つ青少年向けの作文コンテストのことである。1997 年末から中国全土で中学校の国語教育に対する注目度が高まった中で、主に青少年向けの『萌芽』誌が 1998 年に『教育怎么办（教育はどうか）』というコラムを設け、国語教育の諸問題について意見を発表した。同年『萌芽』誌は北京大学、復旦大学、華東師範大学、南京大学、南開大学、山東大学、厦門大学の 7 校の中国名門大学と共同で「新概念作文大賽」を開催し、従来学校で教えられてきた、いわゆる「八股文」に対抗すると同時に、参加者に平等な機会の中で、より自由な形式で、自由な内容を書くことを奨励した。最初の二回は、一部の受賞者を試験免除で名門大学の中文系または関連するほかの人文系に推薦したが、三回目からは国家教育部が文系受験生の大学入試免除を取り消したため、受賞者に対する大学進学の特典が中止された。それでも「新概念作文大賽」の及ぼした社会的影響力は徐々に広がり、昨年度（2015 年）の 11 月に第 18 回目のコンテストが無事終了した。主に 30 歳以下の青少年を対象とする³⁴「新概念作文大賽」は現在中国文壇で活躍している多くの「80 後」作家を誕生させたと言っても過言ではない。

³⁴ 「新概念作文大賽」の参加者は A・B・C の三つのグループに分けられている。それぞれの対象者を、A グループは高 3 および高 2 の学生（専門学校生も含む）、B グループは高 1 および中学校の学生（専門学校生も含む）、C グループは中学生以外で 30 歳以下の青年として設定されている。

それ以降、同年に北京の文芸誌『詩参考』で組まれた特集「80年代出生的少年詩人力作展」をきっかけに、詩壇でも80後ブームが始まり、2003年1月には文芸誌『芙蓉』が「我們，80年代出生」という特集を組んで春樹（しゅん・じゅ、1983～）、蔣方舟（しょう・ほうしゅ、1989～）、李傻傻（り・せせ、1981～）らの作品を掲載するなど、80後に関する文芸サイト、あるいは文芸特集が続々と現れた。しかし、当時の80後現象はまだ社会全体にまでは広がっておらず、文芸サロンのような限られた範囲内で流行していた。2004年2月、『タイム』アジア版の表紙に春樹の写真が掲載され、また同紙掲載の“The New Radicals”というタイトルの文章のなかで、同じく80年代生まれの作家韓寒、ハッカーの満舟およびロックミュージシャンの李揚と共に中国の「80後」として紹介されたことをきっかけに、「80後」現象は広く注目され始めたのである。³⁵だが、その構成メンバーを見ればわかるように、当時の『タイム』は「80後」を文学現象に限らない一つの文化現象として紹介していた。にもかかわらず、中国側は専ら作家にのみ注目し、現在のように「80後」を作家に限定して使うに至った。

学者の江氷は「80後」を「命名前」と「命名後」の二段階に分けるべきだと指摘し、前者は文芸誌『萌芽』およびインターネットを媒体にした組織化されていない自発的な創作であり、後者はメディアに促されて文学へ移行したことから生じた「80後」の局面であると述べた。³⁶

このような経緯で、「80後」作家の代表として、韓寒、郭敬明、張悦然（ちょう・えつぜん、1982～）、春樹たちが活躍し始め、デビュー後直ちに同年代や、より若い世代である「90後」読者たちの共感を呼び、人気を博した。しかしいっぽう、学术界や評論界では「80後」の勃興について、「マスコミの宣伝による実態のないゲーム」³⁷、「80後」は市場に

³⁵ “The New Radicals”, Hannah Beech/Beijing, Time, February 2, 2004, pp. 32~38

³⁶ 江氷「試論 80後文学命名的意義」『文芸評論』2004年6月号、40-41頁。

³⁷ 原文「由市场炒作的一场梦幻游戏」丁麗潔「“80後”：終結還是繼續」『文

はデビューしたが、文壇にはまだデビューしていない」³⁸などのような疑いや批判の声が多かった。これに対して、「80 後」たちも負けずに様々なメディアを通して反発し続けている。その中で最も注目すべき事件は、インターネット上で起きた評論家白燁と「80 後」代表作家の韓寒をめぐる「韓白之争」と呼ばれる激しい論争である。この論争の発端は、文芸批評家の白燁（1952～）が 2005 年 3 月に発表した「“80 後” 的現状与未来」を自身のブログにアップロードしたことだった。この評論で白燁は 2006 年 2 月 24 日に「80 後」の文学活動について、「“80 後” はどちらかと言えば一つの文化現象であって、いまだ文学創作の特徴あるいは文学流派の傾向を備えてはいない」³⁹、「近年の書籍出版は市場化され続けており、とりわけ長編作品は（中略）以前は長編を出すのは著名作家だけであり、まず雑誌に連載してから出版社によって刊行された。当時長編小説の出版は、一般の無名作家には無縁なことであった」⁴⁰と述べている。このような発言は、表面的には「80 後」を批判も賛美もせず客観的に評価しているようであるが、実際には従来 of 文学的価値観によって、「80 後」の文学性を否定するものだった。これに対して韓寒は翌月 2 日に自分のブログで「文壇是個屁 誰都別装逼（文壇は屁だ 誰もかっこうつけるな）」というブログ文を發表し、激しく反論した。文章の中で乱暴な言葉が頻出したため、白燁は韓寒が使っている下品な言葉はまさに「80 後」の素質低下の証拠であると述べ、韓寒がこれに対して「有些人，话糙理不糙；有些人，话不糙人糙（ある人は、言葉は乱暴だけど道理は

学報』、2006 年 8 月 31 日。

³⁸ 原文「“80 后” 走上了市场，但没有走上文坛」白燁「“80 后” 的現状与未来」中国当代文学研究会議事録『当代文学研究資料与信息』2005 年 3 月、13 頁。

³⁹ 原文「“80 后” 更多是一种文化现象，还不具备一种文学写作的特点或文学流派的倾向」。白燁「“80 後” 的現状与未来」12 頁。

⁴⁰ 原文「这几年图书出版不断市场化，尤其是长篇作品（中略）以前出长篇都是名家的事，先在杂志上连载然后由出版社出书。那个时候出版长篇小说作品，和一般的不知名作者是没什么关系的。」白燁「“80 后” 的現状与未来」、14 頁。

乱暴ではなく、ある人は、言葉は乱暴ではないけど人間性が乱暴)」というブログ文で反論し、論争が一層エスカレートした。その後、作家の陸天明、監督の陸川、ミュージシャンの高曉松の参入によって論争は更に拡大し、一か月以上続いた末、3月末頃に主な論争者たちそれぞれのブログ停止をもって終止した。⁴¹

評論家であると同時に作家協会のメンバーでもある白燁が保守的な立場から「80後」を批判したのに対して、「80後」側からその保守性そのものに対する根源的批判が返された。そもそも、多くの「80後」は従来の作家デビューの過程によらず、「新概念作文大賽」やネット文学のような新しいルートを通して作家デビューしているのである。彼らは最初から保守的「規範」から逸脱している人々であり、その作品の内容からいっても自由、反逆、個人主義の追求が彼らの特徴である。しかしいっぽう、2007年の後半に、郭敬明、張悦然、蔣峰ら80後の代表的作家たちが作家協会に加入したことを考えると、一部の保守主義者から批判を受けているとはいえ、「80後」作家たちはすでにいわゆる正統派文学体制に承認され始めていると言えよう。

このように鄧小平時代以降に生まれ、改革・開放の進むポスト鄧時代の中で成長してきた「70後」「80後」は、毛沢東時代に確立された「単位」社会という社会主義中国的「大家族」制度の崩壊に伴ってその孤独感を増したと同時に、従来の集団主義から個人の内面を重視するようになり、精神的自由を求めると同時に、物質面に対しても高い要求を持つようになってきている。そして前述した「小資」や「布波族」のような都市文化を謳歌する若者たちは、物質的に豊かになっていく消費社会の中で育ち、その精神が形成されたため、外来文化を積極的に吸収し、また物質面に対する要求も旧世代と比べて当然高いものである。このよう

⁴¹ 「韓白之争」の経緯について、楊冠穹論文「「八〇後」と現代中国出版市場の変容～韓寒を中心に」『東京大学中国語中国文学研究室紀要』第17号77～81頁、及び「百度百科—韓白之争」を参考にした。

<http://baike.baidu.com/view/254689.htm> (2016年4月13日に最終閲覧)

な新世代にとって、村上作品はあたかもバイブルのような存在であり、彼らがそこに描かれた青春の喪失感や挫折感に共感すると同時に、小説中から日本の若者達の恋愛や都市生活の方法を学ぶようになったのであろう。その中から、やがて村上チルドレン作家が登場してくるのである。

第 2 章 模倣的創造の村上チルドレン流行作家群—衛

慧・慶山（旧名：安妮寶貝）・郭敬明の村上受容を中心
に

2-1 衛慧の村上受容と作風の転換

「70 後」美女作家の代表である衛慧は、1995 年に上海復旦大学中文科を卒業した後、記者、編集者、ラジオアナウンサーなどさまざまな職業を経ながら、文学創作活動を続けた。最初に発表した作品はおそらく 1995 年 4 月の『芙蓉』に掲載された『夢無痕』であろう。¹ちょうどその翌年の 1996 年から「70 後」が文壇に登場したため、衛慧は 1999 年まで短編・中編小説を次々に『小説界』、『上海文学』、『鐘山』などの国内文芸誌に発表した。1999 年から「美女文学」を中心とする「70 後」文学の主要メディアは文芸誌から書籍出版界へと移行し始めたため、2000 年までの一年間のうちに、衛慧はそれぞれ『蝴蝶的尖叫』（1999 年）、『衛慧みたいにクレイジー（原題：像衛慧那樣瘋狂）』（1999 年）、『水中的処女』（2000 年）、『欲望手槍』（2000 年）という 4 冊の短編集、および長編小説『上海ベイビー（原題：上海寶貝）』²（以下『ベイビー』と略記する）の、計 5 点の作品を刊行した。そのうち大胆な性描写によって注目され、中国でベストセラーになってからまもなくして、当局から発禁処分を受けた衛慧の半自伝的小説『ベイビー』は、30 カ国以上に翻訳出版され、日

¹ 衛慧『水中的処女』花山文芸出版社、2000 年、253 頁。

² 衛慧『上海寶貝』春風文芸出版社、1999 年。日本語訳『上海ベイビー』桑島道夫訳、文春文庫、2001 年。

本語版訳者の桑島道夫によると「「発禁」という話題性も手伝って、日本語版も 27 万 2000 部まで発行部数を積み上げている（2005 年 8 月 20 日現在、18 刷）」³ほど国際的に人気を博していることから、衛慧は国内外で一躍注目を浴びる作家となった。ちなみに、同書は 2009 年 8 月に第 21 刷にまで増刷されており、日本における『ベイビー』の人気の高さが窺がえよう。

『ベイビー』の女性主人公で作家志望のココは、大学卒業後、カフェでアルバイトをするうちに、性的に不能で社会適応力の無い高等遊民である男性主人公天天と出会い、恋に落ちる。そのいっぽうで、友人のパーティーで知り合ったセクシーなドイツ人エリート商社マンであるマークとの肉体関係に溺れる。精神的愛と肉体的欲望の間でさまようココが、物語の最後に天天の薬物中毒死とマークの帰国によって恋の破局に直面し、大都市の上海で、「そうだ。私は誰？私は誰？」と自分に問い続けるところで、物語は終わる。

序章の先行研究で言及した研究者丁琪による論文では、『ベイビー』の天天と『森』の直子との類似性に注目すると同時に、『森』と『ベイビー』は単なる恋愛物語ではなく、両作品は「周縁青年」・「新新人類」が物質主義の世界において物質と精神の分裂によって味わう苦痛、また新しい価値の座標軸を探し求めるときの迷いという深層部のテーマを共有しており、直子と天天は理想的な世界を想像力と期待を持って追い求める「失われた世代」の代弁者であると述べ、更に両作における登場人物間の三角関係を提示している。⁴これを受けて藤井省三はその『ベイビー』にあるココ、天天、マークという三角関係は「『森』のワタナベと直子・緑の関係をほぼ踏襲しつつ男女の性を転倒させて成り立っている」⁵のものである

³ 桑島道夫「「新人類」作家の登場—「身体で書く」女性作家、衛慧、棉棉、そして木子美」、尾崎文昭編『「規範」からの離脱』山川出版社、2006年、180頁。

⁴ 丁琪「消費喧嘩…」『内蒙古大学学报人文社会科学版』2004年9月号、91-93頁。

⁵ 藤井省三『村上…中国』181頁。

ると指摘している。

ところで、『ベイビー』と『森』は登場人物の設定以外に、「青春」というテーマにおいても共通している。筑波大学教授・文芸評論家の黒古一夫は『森』の青春というテーマについて、「出色の〈青春小説〉」⁶であり、「〈失恋〉がひきおこした青春の残酷さと優しさ、そして混乱を描き出しているのも、そのような精神の在り様がいかに青春にふさわしいものであり、そんな世界を描くことが自分なりの青春への決着のつけ方……」⁷と評価した。この評価はそのまま『ベイビー』にも当てはまるだろう。つまり、『ベイビー』は『森』の持つ青春物語というテーマを継承しており、ワタナベに相当するココは、天天の死とマークの帰国により失恋を経験するが、その恋愛から失恋への過程で経験した青春の残酷さと美しさ、その過程によりひきおこされた混乱や葛藤の多くがココの青春における精神のあり様を象徴しているのであって、それは同時にココの青春への決着のつけ方でもあると理解できよう。

いっぽう、村上春樹自身が作品全集の付録である『自作を語る』の中で述べているように、『森』は「100パーセントの恋愛小説」であると同時に成長小説でもある。⁸『森』の冒頭、ドイツ・ハンブルク空港に到着した飛行機内で、ビートルズの名曲「ノルウェイの森」をふと耳にした37歳のワタナベは、18年前のことを思い出す。このような「回顧」の形式をとることによって、昔のワタナベが直子の「私を忘れないで」⁹という願いに自信満々で「いつまでも忘れないさ」「君のことを忘れられるわけがないよ」¹⁰と答えていたにもかかわらず、現在では「…僕の頭の中に直子の顔が浮かんでくるまでには少し時間がかかる。そして年月がたつ

⁶ 黒古一夫『村上春樹—「喪失」の物語から「転換」の物語へ』 勉誠出版、2007、113頁。

⁷ 黒古一夫『村上春樹—「喪失」の物語から「転換」の物語へ』、112頁。

⁸ 村上春樹「〈自作を語る〉100パーセント・リアリズムへの挑戦」(『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』 講談社、1991年、付録) IX頁。

⁹ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』 16頁。

¹⁰ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』 17頁。

につれてそれに要する時間はだんだん長くなっていく¹¹という避けられない現実と直面しており、それを痛感した時の悲しみや、「そう考えると僕はたまたま悲しい。何故なら直子は僕のことを愛してさえないなかったからだ」¹²という過去に対する反省を通して、今を生きる「僕」の成長が示されているのである。これは村上春樹による成長の定義である「人々が孤独に戦い、傷つき、失われ、そしてにもかかわらず生き延びていく」¹³ことにも呼応している。

これに対して『ベイビー』の最終章では、天天の祖母から「あなた、誰？」と聞かれたココが、「そうだ、私は誰？……私は誰？」¹⁴と自問し、限りない虚無感と喪失感の中で自分を見失ってしまう場面が描かれ、それは『森』の結末でワタナベが緑に「あなた、今どこにいるの？」¹⁵と聞かれ、電話の向こうで「僕は今どこにいるのだ？（中略）いったいここはどこなんだ？」¹⁶と自問し、「どこでもない場所のまん中」¹⁷で彷徨いつづける場面に酷似している。ただし、『ベイビー』は『森』のように「回顧」の形をとることによって主人公の成長を示すのではなく、現在進行形の物語形式を選んでおり、これにより読者に更に強烈な臨場感を与えるいっぽうで、主人公であるココが肉体的にも精神的にも成長しないまま物語が終わっている。

こうした意味で、『ベイビー』は『森』の諸要素を積極的に吸収し、登場人物たちの三角関係を継承するいっぽうで、その性別を転倒させながら、大胆な性描写やドラッグ体験などといった「美女作家」としての特徴を前面に押し出した、『森』に対する模倣的創造の作品と理解できる。

『ベイビー』の成功は衛慧の「美女作家」としての地位を確立させたが、

¹¹ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』 10 頁。

¹² 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』 18 頁。

¹³ 村上春樹「自作を語る」、X 頁。

¹⁴ 原文「你是谁？（中略）是啊，我是谁？我是谁？」衛慧『上海宝贝』 264 頁。桑島道夫訳『上海ベイビー』 386 頁。

¹⁵ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』 419 頁。

¹⁶ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』 419 頁。

¹⁷ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』 419 頁。419 頁。

発行後まもなく受けた発禁処分は衛慧を精神的に大きく動揺させた。これについて、作家本人が2007年のインタビューで「(2000年)私は四面楚歌に直面し、作家としてのアイデンティティを失ってしまった。そして2001年にニューヨークに着くと、翌日が世界貿易センタービルの爆破でそうした安全や安定を失った感覚は私に深刻な影響を与え、まるで東洋にも西洋にも、私衛慧の居場所はないかのようだった」¹⁸と語っている。人生の激変から生まれた不安と困惑を打ち消すためなのか、衛慧は同インタビューで自分が渡米してから座禅と瞑想を始めたことを明言している。そして、このような生活と精神の両面における変化が『ベイビー』以降の作品に大きく影響を与えたものと思われる。

2004年刊行の長編小説『ブッダと結婚(原題:我的禅)』¹⁹は国際的女性作家のココと、彼女をめぐる二人の男性、日本人Mujuとアメリカ人ニックを中心に、上海とニューヨークを舞台として展開する、国際都市における恋愛物語である。この作品は『森』の三角形関係を髣髴とさせながらも、性に関する描写も少なくないため、『ベイビー』の続編とも言われるが、内実ひそかな変化が表れてもいる。中国の文学研究者周仲謀・王志娟は、その変化について次のように指摘している。

「“性の顫動音”はやや少なくなったようであり、作品全体の風格スタイルもかなり含蓄のあるものになった。禅宗思想は小説の中でそれほど深く表現されていないが(中略)衛慧は作品の中で、作中人物に精神のよりどころを見つけさせることで、読者に新たな生きる姿勢を提示し、作者の人生に対する思考および現実生活に対する理解を提示してもおり、

18 原文:「(2000年)我面临四面楚歌,失去了作家的身份感。而2001年到了纽约,第二天就是世贸大厦的被炸,那种不安全感与不稳定感严重地影响了我,似乎无论是东方还是在西方,都没有我卫慧的立脚之地。」「中国網—卫慧圆满地说再见」2007年8月13日。

http://www.china.com.cn/book/txt/2007-08/13/content_8674883_5.htm
(2016年6月17日に最終閲覧)

19 衛慧『我的禅』上海文艺出版社、2004年。日本語訳『ブッダと結婚』泉京鹿訳、講談社、2005年。

以前の作品と比べると、ある程度それらを超越したという意義がある」²⁰

さらなる大きな作風転換が示されたのは2007年刊行の長編小説『狗爸爸』（作家出版社）においてである。この作品では、上海で恋人の哲と優雅な生活を送っていた洋服店女性経営者の魏が、ある日突然姿を消した哲を探し出すために、交通事故で亡くなった父親の霊魂が憑依した犬「露風禅」と共に旅に出る。道中で魏は「露風禅」となった父と共に様々な困難を乗り越えながら、善良、正直、勇敢、信念、容赦という五つの人生の真諦を習得した末、ようやく哲との再会を果たす。物語の最後に二人は結婚し、更に新たな命まで授かるというハッピーエンドとなっている。

衛慧の以前の作品と比較して、『狗爸爸』の特徴について、中国の研究者は以下のように指摘している。

「衛慧の作品を総合的に見れば、（中略）『ベイビー』のココ、『艾夏』の艾夏、『衛慧みたいにクレイジー』の「私」、そして『ブッダと結婚』の美女作家などは皆こうであり、最初途方に暮れて作品に登場し、結末に至って、物語が語り終わっても、主人公のほとんどはやはり途方に暮れている。この意味で、衛慧作品の登場人物は成人へと成長するプロセスを欠いており、人物像は単純で活気が足りない。（中略）『狗爸爸』は衛慧作品のこれまでの人物設定とは異なっており、青年という形象を作品の焦点としていることは変わっていないものの、作品中の「私」とボーイフレンドの哲は明らかに責任感のある若者である。貧しい大学生への援助や山奥の学校への寄付によって、哲と「私」は自分の生活を楽しむと同時に社会に対する責任も担っている。責任を負うと同時に我々が

²⁰ 原文「“性的颤音”似乎少了一些，整部作品的行文风格也内敛了许多。虽然禅宗思想在小说中的表现还不是那么深入，甚至不够贴切自然，但卫慧毕竟在作品中给小说人物寻找到了一个精神皈依的处所，为读者展现了一种新的生活态度，展现了作者对人生思考和对现实生活的理解，较之以往的作品是有一定超越意义的。」周仲謀・王志娟「比較文学視域中的衛慧小説創作」恩施職業技術学院学報（総合版）2008年第4期、60頁。

享受するのはもはや社会の「排除」ではなくなり、このため衛慧の以前の作中人物のような孤独感はなくなったのである。」²¹

更に『狗爸爸』の魏は「露風禅」と共に修行を行い、人生の真諦を習得することによって、大人へと成長し、その成果を胸に、妻そして母になるというように設定されている。

衛慧自身の説明によると、『狗爸爸』は「人類が社会、物質、科学の進歩に対する追求から心、精神への探索へと進化する時代を暗喩する「ファンタジー」小説であり（中略）セックスは出てこない」²²。このような変化はおそらく衛慧自身の人生体験と密接に関係していると考えられる。

『狗爸爸』刊行後まもない2007年5月に、衛慧は上海で階段から落ちて重傷を負い、25日間にわたり意識不明の危篤状態に陥った。意識不明状態から回復した衛慧は、メディアに対して、『狗爸爸』後はしばらく絶筆するつもりであり、「結婚して子供を産むべき頃合いになった」と述べた。²³衛慧のこのような「結婚生子」への思いはおそらく『狗爸爸』の創作時期にはすでにあつたと考えられる。よって、作品を通して青春時代の自

²¹ 原文「综观卫慧的作品，（中略）《上海宝贝》中的倪可、《艾夏》中的艾夏、《像卫慧那样疯狂》中的“我”、《我的禅》中的美女作家等都是这样，开始带着迷惘出现在作品，到了结尾，当叙事过程完成后，主人公大多还是迷惘的。从这个意义上看，卫慧小说中的人物缺少一个长大成人的过程，形象本身较为呆板和简单。（中略）《狗爸爸》改写了卫慧以往作品塑造人物的方式，尽管依旧以青年形象作为作品关注的中心，但作品中的“我”和男友哲则显然是有责任心的一群。对于贫困大学生的帮助和山区学校的资助使哲和“我”在享受生活的时候承担起了自己对社会的责任。在承担责任的同时我们享受到的不再是社会的“排斥”，因而也就没有了卫慧以往作品中人物的孤独感。」王瑜「長大成人與失落家園的找回——由新作『狗爸爸』論衛慧創作轉型」『當代文壇』2008年第4期、94頁。

²² 原文「指喻人类由追求社会、物质、科技层面的进步演进到注重心灵、精神层面探索的时代、属“fantasy”小说（中略）没有性。」「新浪新闻中心——“美女作家”卫慧上海坠楼摔折脊椎 昏迷25天后想结婚生子」2007年5月19日。<http://news.sina.com.cn/o/2007-05-19/102811851513s.shtml>（2016年6月17日に最終閲覧）

²³ 原文「现在是时候结婚生子了」「美女作家卫慧上海坠楼摔折脊椎 昏迷25天后想结婚生子」前掲「“美女作家”卫慧上海坠楼摔折脊椎 昏迷25天后想结婚生子」。<http://news.sina.com.cn/o/2007-05-19/102811851513s.shtml>（2016年6月17日に最終閲覧）

分に別れを告げ、魏の成長によって自分の成長をも暗示し、これから新しい人生に向かって歩んでいこうという決心を読者に告白したと理解できよう。この点について、『狗爸爸』の最後の「私は大きく背伸びをして、鏡に向かって微笑みを浮かべた。家だ、これこそ私の幸せな家なのだ」²⁴という言葉から、将来の自分の結婚生活に対する衛慧の憧憬が窺えよう。

そのいっぽうで、衛慧は転落事故から回復した後、事故後に生と死の境目にいる時、三毛（1943～1991）と張愛玲の幽霊に話しかけられたと自分自身のブログに書きこんでいる。

「病院にいる間に、私は（中略）三毛、そして（中略）張愛玲の幽霊たちと出会い、会話をしており、彼女たちはまるでセイレーンのような調子で私にこう語りかけた。死ぬのは容易、生きるのは容易ではない、愛も容易ではない。私は彼女たちに対して、そしてそれ以上に自分に対してこう言った。死は容易だ、生は容易だ、愛も容易だ。こうして私は帰ってきた。」²⁵

このような興味深い発言は、再生した衛慧が、中国文学史上での三毛と張愛玲のような地位を目指すべく、再出発の決意を表したものと考えられよう。

このようにして、一世を風靡した「美女作家」衛慧は、その人生における成長と共に作風を変化させ、初期の作品に見られるような、人生の目標も不明確なままに大都市で彷徨い、様々な経験を経た後に更なる深

²⁴原文「我伸了一个长长的懒腰，对着镜子浮上一个微笑。家，这就是我的甜蜜的家。」衛慧『狗爸爸』213頁。

²⁵原文「在医院期间，我与（中略）三毛，还有（中略）张爱玲的鬼魂们相遇并对话，她们以海妖般的语调对我说：死是容易的，生不容易，爱不容易。我对她们更是对自己说：死容易，生容易，爱也容易。于是我回来了。」衛慧公式ブログ <http://blog.sina.com.cn/u/48866b02010008uo>（2015年4月16日に最終閲覧）

い喪失感に陥っていくクレイジーな主人公という設定—ある意味社会から孤立しているデタッチメントな人々という設定—から、『狗爸爸』の創作においては大きく変化し、社会へのコミットメントを呈示し始めている。また『狗爸爸』における、人生に起こりうる様々な困難を潜り抜けて生き延びるというプロットの設定も、前述した村上春樹の定義になる「成長」というテーマに通じるものがあるだろう。そうして、衛慧は1999年にデビューして以来、刺激的な作品『ベイビー』と穏やかな作品『狗爸爸』により、7年かけて『森』の「青春」と「成長」の二大テーマの受容を完成させたと理解できる。しかし、『狗爸爸』は、村上春樹『ねじまき鳥クロニクル』と同じく突然失踪した妻を捜すために様々な冒険を経験したり、短編「かえるくん、東京を救う」と同じく人間の言葉を話す動物の指示によって任務を果たしたりする設定が登場する。このことから、作風の転換そのものも含め、衛慧は模倣的創造を通じて、なおも村上チルドレンの系譜にあると言えよう。

2-2 絶え間なき村上春樹への関心—慶山の村上受容

次に、衛慧と共に「70後」を代表するもう一人の有力な村上チルドレン作家の慶山における村上春樹受容について検討してみたい。

慶山の本名は励婕、中国浙江省の古い港町である寧波で生まれ育ち、地元の大学を卒業後、大手銀行の地元支店で勤務のかたわら、1998年に短編小説「さよなら、ビビアン（原題：告別薇安）」（以下『ビビアン』と略記する）でネット小説家としてデビューした。当時使用したペンネームは「安妮宝贝（アンニー・パオペイ、Annie Baby）」であった。

前述したように、「ネット文学」は一部の「70後」作家たちにとって重要な活躍の場であった。1990年代以降の中国では、インターネットの普及と共に、ネットでオリジナル作品を発表するライターたちのために立ち上げられたネット文学サイトが急増した。慶山がネットデビューし

た 1990 年代末は正に中国におけるネット文学の隆盛期でもあった。

中国文学研究者の尾崎文昭の指摘によると、「紙媒体で 1980 年からの 20 年間でおよそ 2 万篇の小説が発表されたのに対し、インターネットでは 98 年からの 2 年間で 5 万篇にのぼる小説が発表されたという」²⁶。そして、その中でもヒット作は改めて書籍化され、あるいはドラマ・映画化された。2000 年に、慶山の初の短編集『ビビアン』²⁷が中国社会科学出版社より単行本の書籍として刊行され、中国で累計 50 万部を突破しベストセラーとなったのも、まさにその代表的な例である。

2000 年以降、慶山はエッセー集『八月未央』（2001 年）と長編小説『彼岸花』（2001 年）の出版を経て、創作に専念するため仕事を辞め、北京に転居した。転居後の慶山はエッセー集『清醒紀』（2004 年）、『素年錦時』（2007 年）、長編小説『蓮花』（2006 年）、『春宴』（2011 年）等の人気作品を続々と刊行した。その後も 2013 年 1 月にエッセー集『眠空』および半エッセー半インタビューの手法を取り入れた新たな文学形式による、蔵書家の韋力との共著作品『古書之美』の 2 冊を同時に上梓したほか、同年 8 月にもエッセー選集『且以永日』、そして 2014 年 6 月に最新のエッセー写真集『得未曾有』（北京十月文芸出版社）を刊行するなど、慶山による小説、エッセー集、個人編集ムック誌などの作品数は、現在までに 16 点に上り、中国国内では村上春樹と比肩するほどの読者数を有した人気作家に成長している。²⁸そのうち特に人気のある作品は海外でも翻訳され、日本、韓国、アメリカなどで広く読まれている。

慶山の作品は、大都市在住の若い男女の恋愛や精神的葛藤、虚無感な

²⁶ 尾崎文昭「「改革と開放」政策のもたらしもの——一九九〇年代の文化とメディアの状況」、尾崎文昭編『「規範」からの離脱——中国同時代作家たちの探求』山川出版社、2006 年 2 月、17—18 頁。

²⁷ 安妮宝贝『告别薇安』中国社会科学出版社、2000 年。日本語訳『さよなら、ビビアン』泉京鹿訳、小学館、2007 年。

²⁸ 中国における慶山（旧名：安妮宝贝）と村上春樹の読書状況の比較について、拙稿「中国の村上春樹読者は如何に「村上チルドレン」を読むのか——「豆瓣網」における中国の村上読者に対する安妮宝贝の読書調査」（『東京大学中国語中国文学研究室紀要』第 16 号、2013 年）で詳しく分析している。

どを主題としており、同じく現代中国の大都市に住む若者たちに強く支持されている。彼女の作品にみられる代名詞や句読点の多用、また甘美で退廃的な文体に関しては、よくフランスの女性作家マルグリット・デュラス（1914～1996）の影響が指摘されている。いっぽう、前掲慶山の短編集『ビビアン』に収録された短編群には、衛慧の初期短編群にも見られるようなローマ字表記による登場人物名や商品名の多用²⁹、また大都市にあって孤独で空虚な人生を送る登場人物の設定が見られるが、これに対して藤井省三は「たとえば『さよならビビアン（告別薇安）』に収められた短編群は、その文体といい、上海の「小資」として豊かだが孤独で物憂い暮らしを送る登場人物たちといい、登場人物名を漢字ではなくローマ字で表記するなど、村上春樹の影響が色濃い」と指摘している。³⁰

ほかにも、たとえば安妮寶貝の2004年刊行のエッセー集『清醒紀』と村上春樹の長編『森』および『国境の南、太陽の西』とを比較してみると、その影響関係は更に明確になる。たとえば以下のA、B二例の如きには、その相似性が表れている。

A 「死は、生の一つの対立面ではない。生との間の関係は、まるで互いに一枚の鏡に映っている影のようだ。差異がない。互いに包み合う。

しかも常に互いを眺め対峙する。」³¹（慶山『清醒紀』）

À 「死は生の対極としてではなく、その一部として存在している。」³²（村上春樹『ノルウェイの森』）

²⁹ 例えば「Dew」「John」「Vivian」や、「Kavin Kern 的鋼琴」（Kavin Kern のピアノ）107 頁、「加 Soda 的 Chivas regal Scotch」（Soda 入りの Chivas regal Scotch）137 頁といった曲名や輸入酒名が挙げられる。

³⁰ 藤井省三『村上…中国』182 頁。

³¹ 原文「死，不会是生的一个对立面。它与生之间的关系，仿佛是彼此映照在一面镜子中的影像。没有差异。彼此包括。并且时时刻刻在互相观望和对峙。」安妮寶貝『清醒紀』北京十月文艺出版社、2008 年 5 月、34 頁。

³² 『村上春樹全作品 1979～1989』⑥ノルウェイの森』40 頁。

B 「女の一人の男に対する態度は、川を隔てて花火を観るかのように、心は鼓動しても、痛くも痒くもなく、ただ目が眩むばかり。そうでなければ自らの感覚でようやくそれと分かり、血肉が絡み合い、切っても切れずどうしようもない。彼女には最初からその中間の状態というものがない。」³³（慶山『清醒紀』）

B 「私には中間というものが存在しないのよ。私の中には中間的なものは存在しないし、中間的なものが存在しないところには、中間もまた存在しないの。だからあなたには私を全部取るか、それとも私を取らないか、そのどちらかしかないの」³⁴（村上春樹『国境の南、太陽の西』）

このような慶山作品の村上作品との相似性は、前掲『ビビアン』における単語の一致などといった初歩的、技巧的なレベルから、『清醒紀』のフレーズ単位の人生観的レベルへと進展していた。とはいえ、この時点ではまだ村上文学に対する模倣の段階に留まっていたと言えよう。ところが、2006年刊行の長編作品『蓮花』には、登場人物の設定から物語の構造、テーマ、更には装丁のイメージに至るまで、村上の『森』に対する全面的受容とも言うべき様相が現われている。しかも『蓮花』はそれに留まらず、更に変容の度合いを強めて独自の創造に至っており、まさに『森』に対する模倣的創造の手法の集大成であると言えよう。なお、慶山の『蓮花』は最も成熟した「村上チルドレン」文学であると考えられるため、以下では『蓮花』と『森』との類似点および相違点の比較を通して、『蓮花』の『森』に対する模倣的創造について詳細な分析を行いたい。

『蓮花』の物語は、ビジネスでは成功したものの、精神的には非常に空

33 原文「女人对一个男人的态度，要么如同隔岸观烟花，心里惊动，无关痛痒，满日照耀。要么就是冷暖自知，血肉纠缠，不依不饶。她从来都没有中间状态。」慶山『清醒紀』87頁。

34 『村上春樹全作品 1990-2000②国境の南 太陽の西』講談社、2003年1月、195頁

虚かつ孤独である中産階級の男性主人公紀善生（以下「善生」と略記する）が、自分の大切な旧友であり、チベットの奥地にある墨脱^{メド}の小学校で教員をしている女性の蘇内河（以下「内河」と略記する）を訪ねていくところから始まる。彼はラサで、重い病にかかりチベットで余命を過ごそうと決心した女性、慶昭と出会う。人生に虚しさを感じながら生きている二人は共に墨脱へ行くことになり、慶昭は墨脱への険しい山道を登りながら善生が語る内河の話を聞くうちに、次第に内河に会いたいという思いが募っていく。しかし苦しい旅を経て、ようやく墨脱に着いてみると内河はいなかった。実は彼女は二年前、帰宅する生徒を送った帰りで土石流に遭遇して殉職していたのである。善生の本当の目的は内河に会うことではなく、内河の遺品を引き取りに行くことだった。二人がラサに戻り別れた後、慶昭は自分の病気が奇跡的に治っていることを知り、新しい人生へと踏み出すことを決意する。そのいっぽうで、現世への未練がなくなった善生は自殺することが暗示されて、物語は終わる。

『中国民族経済村庄調査叢書—墨脱村調査』（2012）によると、物語の舞台である墨脱はチベットの山奥に実在し、平均海拔は約 1200 メートル、チベット仏教では蓮花が隠れている聖地とされているという。土地面積約 3.4 万 km²のうち、南部の約 2.4 万 km²は現在インドの実効支配区域であり、2003 年の人口統計調査によると中国側には約一万人の居住者がいる。独特な地理状況および複雑な天候のため、2010 年 12 月に竣工した隣接の波密^{ボウオ}³⁵県とつながる、総額約 9.5 億人民元（約 15 兆円）を費した全長 117.278 km の墨脱公路は、中国全国でも最後に開通した「通県公路」、すなわち県と県とをつなぐ国道になったという。³⁶

慶山が 2006 年 3 月 16 日に自分の公式ブログで発表したブログ文「『蓮花』と墨脱」には、「4 年前に墨脱の写真を見たのはどの地理雑誌だった

³⁵「墨脱」（メド）を含むチベット地名の日本語表記は『世界地図帳』（昭文社、2013 年 2 版）を参照にした。

³⁶王麗平編『中国民族経済村庄調査叢書—墨脱村調査』中国経済出版社、2012 年 3 月、6 頁。

のか、ずっと思い出そうとしている（中略）2年待った後、旅立つことに決心した」³⁷と記されている。更に、『蓮花』の序にある言葉「2004年と2005年の10月に贈る」³⁸を見ると、作者本人は2004年に墨脱へ行き、現地から戻った後、そこで受けた感動と震撼を胸に『蓮花』を創作したようである。

2-2-1 『蓮花』と『ノルウェイの森』における登場人物の構図

● 登場人物の位置

『森』には主人公としてワタナベトオル、直子、緑の三人が登場するが、これと同じく『蓮花』には主人公として善生、内河、慶昭の三人が登場する。また、両作品では共に男性主人公一人に対して女性主人公二人が配置されて物語が展開する。

『森』の男性主人公ワタナベは故郷を出て東京の大学に入り、卒業後、外国出張の多いエリートサラリーマンになったと思われる。³⁹それに対して、『蓮花』の善生も故郷を出て北京の大学に入り、卒業後は大企業に勤めるなどビジネスで成功した中産階級エリートに設定されている。

直子はワタナベの親友キズキの恋人であるが、キズキとの関係は精神的なもので、二人は肉体関係を一度も持ったことがなかった。直子はキズキが理由不明の自殺をした後、東京の大学に入学したワタナベと交際

³⁷原文「一直在想四年之前，看到墨脱照片的地理杂志是哪一本（中略）等待了两年的时间，然后决定出发。」「《蓮花》和墨脱」2006年3月4日、安妮宝贝公式ブログ http://blog.sina.com.cn/s/blog_45456f8001000332.html（2016年6月17日に最終閲覧）

³⁸ 原文「给二〇〇四年和二〇〇五年的十月」安妮宝贝『蓮花』作家出版社、2006年3月、7頁。

³⁹小説ではワタナベが何の職業に就いたのか、明らかにされていないが、同作冒頭部に、ワタナベがボーイング747に乗ってハンブルク空港に到着した後、「やれやれ、またドイツか…」と呟く場面がある。この場面は、彼が仕事などの理由でドイツなど外国によく行くような、経済的に裕福なエリートサラリーマン等であるという印象を与えている。

し始め、やがてセックスするに至り、それ以来ワタナベと親友以上恋人未満の関係になる。それに対して『蓮花』では、中学・高校時代の内河は奔放な性格や気まぐれな行動により不良少女と思われて誰にも相手にされず、善生だけが彼女の良き理解者であり友人であった。二人は互いの独特な雰囲気にかかれ、唯一心を開き合う関係になる。直子と内河という〈女性主人公A〉が男性主人公にとって特別な存在になった契機は両作品でそれぞれ異なるが、直子も内河も周囲から孤立している人間で、彼女たちを救うことができるのは両作品中の男性主人公だけであったという点は共通する。

『蓮花』において〈女性主人公B〉にあたる慶昭は、善生に好感を抱くが、善生にとって彼女は内河の代理たりえない存在である。この関係は『森』の緑がワタナベのガールフレンドとなるものの、ワタナベの心の中では直子が忘れられない存在であるのと同様である。両作品の主人公たちの位置関係を図解するなら、以下のように示すことができるだろう。

『森』：ワタナベ←直子 |←緑

『蓮花』： 善生←内河 |←慶昭

つまり、両作品中の〈女性主人公B〉である緑と慶昭は常に〈女性主人公A〉の直子と内河を隔てて男性主人公を思慕するという立場にいる。しかも、一対の男女の中間に位置する直子と内河は、〈女性主人公B〉たちとは無形の壁で隔てられており、両作品中の二人の女性主人公同士は終始会うことがない。

登場人物の性格のみに注目すれば、内河は善生に対する積極的な態度や、自立した生活などの面においては、率直で個性的な緑と共通する点が多いのに対して、ラサの粗末な小旅館で周りの人とほとんどコミュニケーションを取らない日々を送っていた慶昭にこそ、直子の影が色濃く

差している。これは慶山が交差的に人格を設定したためであろうが、全体から見れば、内河＝直子＝【死】／慶昭＝緑＝【生】というプロット上の人物設定は、『森』中の「直子は死に、緑は残っているのだ。直子は白い灰になり、緑は生身の人間として残っているのだ」⁴⁰という言葉とも呼応するところがある。

● 不安と他界

『森』では、キズキが理由も明かさずに突然自殺することによって、彼の親友であるワタナベと恋人である直子の心を乱している。高校時代にキズキが自殺した後、ワタナベと直子はそれぞれ別の大学に入学し、毎週デートをするようになる。デートというより、ただ「彼女が先に立ち、僕がその少しうしろを歩いた」⁴¹だけであったが、これをワタナベは「まるで魂を癒すための宗教儀式みたいに」⁴²と語っている。二人は直子の誕生日に、不安定な存在を確認しあうためにセックスをするが、その後直子はワタナベの前から姿を消して精神療養所の阿美寮に入り、ワタナベと手紙のやりとりを始める。ワタナベは二度阿美寮に赴いて直子に会うが、結局直子は自殺してしまい、ワタナベに大きな精神的打撃を与える。

このような『森』の物語展開と類似する設定は『蓮花』にも見られる。善生と内河の心を乱す引き金となったのは、内河と美術教師との駆け落ち事件である。父親は不明、母親も不在のまま育った内河にはファーザー・コンプレックスの傾向があり、彼女は高校時代に既婚の美術教師と不倫をはじめ、ついには駆け落ちしてしまう。結局、三ヶ月後に二人の関係は破綻し、美術教師は自分の家庭に戻っていったが、内河はこの美術教師に執着して彼にまとりつくようになる。すると美術教師は精神的に失調して内河に暴力を振るうようになった。その後、内河は直子と

⁴⁰ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』 394 頁。

⁴¹ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』 41 頁。

⁴² 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』 42 頁。

同様に精神的にダメージを受け、地元にある精神療養所の青岡病院に入院する。退院後の内河は各地をさまよい、最後には墨脱で小学校の先生となり、土石流に遭遇して殉職する。

このように直子と内河が迎える死には、直子は自殺、内河は事故死という違いはあるものの、辺鄙で危険な墨脱行きは内河にとって自殺の代理行為であったとみなすことができるだろう。内河は自ら現世を捨て、当時は徒歩でしか入れなかった山奥にある神秘の地である墨脱へ行き、そこで余命を送ろうとしたと考えられる。

いっぽう、善生も内河と美術教師の駆け落ち事件に大きなショックを受ける。そればかりか彼は、内河にとって唯一の信頼できる人間として、妊娠してしまった彼女の中絶手術に立ち会うことになる。そのため、童貞の彼は「恋の相手の女の子の柔らかな両手にまだ触れようとさえしたこともないのに、情欲の真相と対面せざるを得なくなり」⁴³「いきなり成熟した男性となることを強いられた」⁴⁴。この事件は、善生がそれ以降精神的にも肉体的にも女性に対する関心を失ってしまうほどに、彼の心に強い衝撃を与えたのである。

『森』ではキズキを失ったことにより、ワタナベと直子の間の従来のバランスが崩れてしまう。これに対して、『蓮花』で善生と内河の「エデンの園」が崩壊するきっかけとなったのは、美術教師の出現である。このキズキとは真逆に設定された人物は、ファーザー・コンプレックスを抱える内河にとっての父親の代理的存在であると同時に、2001年頃父の死によって精神的に大きく動揺したという慶山自身の父親に対する複雑な心境の反映とも考えられるだろう。⁴⁵

⁴³ 原文「还没有试图握过一个与之恋爱的女孩子柔软双手，就被迫面对情欲的真相。」安妮宝贝『蓮花』80頁。

⁴⁴ 原文「被迫在瞬间被提拔成一个成熟男子。」安妮宝贝『蓮花』81頁。

⁴⁵ 私生活における慶山と父親の関係が2002年刊行のエッセー集『薔薇島嶼』から伺える。慶山の亡き父親に対する長年の反抗が二人にもたらした苦痛、及び最後の和解が内河と美術教師の葛藤を連想させる。

● ワタナベと善生の脱出論

『森』では、ワタナベが直子とセックスした日以降、直子の姿が彼の視界から消えてしまう。ワタナベは直子に何度も手紙を出す、返事は貰えず、「僕の心の中の空洞はまた少し大きくなったように感じられた」⁴⁶。ワタナベはこの抑えられない喪失感をもたらした不安により、「体はひどく飢えて乾いていて、女と寝ることを求めている」⁴⁷。しかし彼はほかの女性と「寝ながらずっと直子のことを考えていた」⁴⁸というように、自分の不安を解消したくてもできない状態が続く。直子が自殺した後も、ワタナベは緑からの告白に心が揺れるものの、直子の死という闇の中から抜け出せない。だが、阿美寮で直子と同室で親友だったレイコさんがワタナベを励まし、また緑からの影響もあって、ワタナベは次第に闇から抜け出し回復してゆく。つまりワタナベは、闇の内部から彼を押し出すレイコさんの力と外部から彼を引き寄せる緑の力とによって闇の中から救われたと言えよう。こうして、過去の闇からの脱出に成功したワタナベは、18年後の飛行機の中で聞いたビートルズの名曲「ノルウェイの森」を契機に、18年前のことを思い出し、自ら失われた自分の青春時代の証人として、過去の歳月を弔うことになる。これに対して、善生の場合はどうだったのだろうか。

前述のように、善生は母子家庭で育ち、あまりにも若いうちに内河の早熟で衝撃的な行動を目にしたために、ワタナベのように心が深く傷つけられた。善生は女性嫌悪の状態から脱出するために、勤務先の社長の娘である荷年と結婚する。しかし善生は「一途に早く結婚したいと考えていた。そうしたら、感情的には何も気にかけることもなく、仕事に専念できるからだ。彼は愛情を信じていなかった」⁴⁹。つまり、善生にとっ

⁴⁶ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』64頁。

⁴⁷ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』65頁。

⁴⁸ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』65頁。

⁴⁹ 原文「一直希望自己早婚。这样就不会有感情的负累牵挂，可一心一意去做事业。他不相信爱情。」安妮宝贝『莲花』114頁。

て荷年は不安から抜け出すための存在にすぎない。結婚後の善生は自分の思惑通り仕事に専念し、休暇さえ取らなかった。しかし、不安から脱出しようとするほど虚しさがつつのようになり、ついには自分も荷年も騙せなくなり、荷年と離婚するに至る。

その後善生は仕事を辞め、故郷に戻って内河と再会し、自分の彼女に対する愛を告白するがそれを断られたことで更に深い挫折感を味わうことになる。内河が墨脱に行った後、善生は再び結婚生活を送ろうと試みるが、やはり相手を愛することができず結婚生活は破綻する。こうした生活を経て、どんなに努力しても不安から抜け出せないと悟った善生は、墨脱まで内河に会いに行くことを決心する。しかし、墨脱への旅を終えた後も、善生は闇から脱出できないまま、かえって無限の喪失感に閉じ込められ、別れの言葉さえ残さずに慶昭の前から姿を消す。

それに対して、慶昭はワタナベに力を与える緑と同様の立場に置かれながら、ワタナベの役割をも担っている。慶昭は墨脱への旅で経験した肉体的な試練を外部の力とし、これに善生と共に内河について考えることによってもたらされた内部の力を合わせて、病に対する不安を克服し、新たな人生を獲得するのである。墨脱から戻った後、慶昭は聞き手から語り手に変わり、善生と共に経験したことを回想として語り始める。こうして彼女は善生や内河、および自分の青春を弔う役目を果たすのであり、緑とワタナベの二人の要素を合わせ持つのである。

以上の物語の構造は、主人公たちの死と生とを境界線にして、さらに以下のように図解できるだろう。

『森』: $\boxed{\text{死}}$ 直子 - $\boxed{\text{生}}$ ワタナベ^{引カ} → 緑

『蓮花』: $\boxed{\text{死}}$ 内河^{引カ} ← (善生) - $\boxed{\text{生}}$ 慶昭⁵⁰

⁵⁰本図に関しては、『東方学』百二十七輯に投稿した際に、論文査読委員より貴重なご教示を頂いた。感謝を申し上げたい。

前掲の慶山による「交差的な人格設定」と合わせて考えると、『蓮花』の二人の女性主人公には、それぞれ『森』の二人の人物像が投影されており、これは『蓮花』が『森』を変容させて独自に展開していった結果と言えよう。

● 直子と内河の非在論

『蓮花』は『森』と同様、男性主人公の回想を物語の軸としているが、それについては次節で述べることとし、ここでは回想の中に現れる〈女性主人公A〉たちの居場所に注目したい。

『森』の中で、ワタナベと直子に関係する重要な場所は阿美寮である。小説によると、阿美寮は京都の山奥にある、「ずっと自由な療養のための施設」⁵¹である。日本の批評家佐藤幹夫の分析によると、阿美寮は現実社会とは別の時間が流れている不思議な異空間であり、直子はこの異界とも言える場所で外界と遮断された生活を送っている。⁵²これに対して、『蓮花』の内河が滞在するヤルツァンポ大峡谷の山間の窪地にある墨脱も、同作の舞台となった時点では前述の通り、まだ電気も通っておらず通信がきわめて不自由な上、自動車も通ることができず、徒歩でしか到達できない辺鄙な場所であった。しかも両作の〈女性主人公A〉とも、このような外界から切断されている神秘的な場所で最後の時を過ごすのである。

また、佐藤幹夫は直子の非在説を提示しているが、内河も実は既に死亡した非在者であり、両作品が共に現実には存在していない女性主人公を描いている可能性がある点は興味深い。たとえば『森』においては、阿美寮での夜、直子がワタナベの前で自分の裸体を見せた時に、ワタナベには現実と非現実の区別がつかなくなっていた。ワタナベは阿美寮か

⁵¹ 『村上春樹全作品 1979～1989©ノルウェイの森』 66 頁。

⁵² 佐藤幹夫『村上春樹の隣には三島由紀夫がいつもいる』PHP新書、2006年3月、213頁。

ら帰った時、緑に「幽霊でも見てきたような顔をしているわよ」⁵³といわれるが、この台詞は、彼女の目には彼が冥界から戻ってきたかのように見えたとも解釈できよう。その後、緑の父の病院を訪ねたときも、阿美寮でのことを思い起こすと、現実の出来事だったのかどうか、ワタナベ自身にも分からなくなってしまう。つまり、ワタナベにはその日の直子が生身の人間であるのか幽霊であるのかが判断できなかったのである。阿美寮のような不思議な場所にいる直子を、佐藤幹夫は「既に死者である、非在としての直子」であると指摘している。

直子が本当に「非在」なのかどうか、作者である村上春樹は小説中で明確に述べてはいない。非現実的な直子はワタナベの「夢」であるとも考えることができよう。これについても『蓮花』の中にも類似する設定が見られる。

『蓮花』は「序」から「終」まで全8章に分けられており、内河に対する善生の回想と、善生と慶昭の墨脱への旅とが交互に展開する。善生の内河に対する回想が最初に現れるのは第一章の終わりであるが、ここでは現実と非現実とが融合した夢のような場面が出現する。回想の内容は、中学の林間学校の深夜、内河が善生を外に呼び出し、一緒に海や森を彷徨するというものである。それは次のように始まる。

「おいで。おいで。善生。私と一緒においで。彼は暗闇の中で目を覚まし、彼女が木戸の外に立って、懐中電灯で彼のベッドのくっついている壁をそっと叩く音を聞いた。」⁵⁴

内河が善生を呼び出すこの場面は、善生の夢であるかのように描かれている。そして、内河の声に誘われて外に出た善生が見た内河の様子は次のように描写されている。

⁵³ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』244頁。

⁵⁴ 原文「来。来。善生。跟我来。他在黑暗中睁开眼睛，听到她站在木门之外，用手电筒轻轻拍打他的床所紧贴的墙壁。」安妮宝贝『蓮花』35頁。

「白いワンピースを着て、裸足だった。黒いおさげとあらわなすねが仄かな光の下で微かに青く光っていた。」⁵⁵

このような内河の様子は「幽霊」を彷彿させる。その後、善生は内河の後について海に行き、森に入り、最後に密林を通過して川沿いに歩いて行く。そこで、「数え切れない蛍が光を帯びながら空中を飛び、樹木や草むらの中に生息していた。彼女の髪とスカートに、光る蛍がとまっていた。稲妻がいつそう激しく空をかすめていった。冷たく強い雨の雫が彼の唇に降り始めた。彼はこの暗黒で神秘的な全くの新世界を見ていると、心臓が胸から飛び出すほど激しく鼓動した。こんな痛みは我慢できない。彼はあたふたと川の流れの中に入った。水面に映る月光が揺らいでいる。まるでつき砕かれた水銀のようだ。周囲の寂然とした連山の黒い影は、はいつくばって熟睡している野獣のようだ。この時、彼は、彼女が黙って白いワンピースを脱ぎ、まるで魚のように、パシッと水の中に飛び込むのを見た。」⁵⁶

ここに至っては、現実と非現実が融合し、善生は自分の居場所が把握できない状態に陥っていると言えよう。蛍、稲妻、雨、月光、山影など、さまざまな自然現象が一度に同じ空間に現れ、善生にとって「暗黒で神秘的な全くの新世界」となったのである。更に、内河が善生の前でワンピースを脱ぎ、魚のように川に飛び込む場面も、直子がワタナベの前で全裸の体を見せる場面を連想させる。

⁵⁵ 原文「穿白色裙子，光脚。黑色发辮和赤裸着的小腿在昏暝微光中隱隱發藍。」安妮寶貝『蓮花』36頁。

⁵⁶ 原文「无数的萤火虫在半空中带着光亮飞行，栖息在树枝和草丛之中。她的头发和裙子上有发亮的萤火虫停在上面。闪电更加频繁地掠过天空。清凉有力的雨点开始落在他的嘴唇上。他看着这个黑暗神秘的全新世界，心剧烈跳动，几近从胸腔跃出。这样疼痛难忍。他跌跌撞撞地走入河流之中。水面上的月光抖动着。被捣碎的水银。周围寂然的山峦黑影，是匍匐而沉睡的野兽。就在此刻，他看到她沉默地脱下身上的白色裙子，像一条鱼，扑通一声，俯身跃入水里。」安妮寶貝『蓮花』38頁。

このように、善生は内河を回想する時にワタナベと同様に〈女性主人公A〉が現実の存在であるかどうかをほとんど識別できなくなっている。つまり、『蓮花』の内河は直子と同じように「非在」であるとも考えられよう。

2-2-2 『蓮花』と『ノルウェイの森』の主題と物語構造

● 「回想」の形式

前節の冒頭で述べたように、『蓮花』と『森』では、男性主人公の回想が物語の主軸として重要な役割を果たしている。回想という形式によって時空は過去に遡り、既に存在しない人物の性格や心の動きを読者の前に生き生きと再現させるのである。

『森』は、ワタナベがドイツ到着の飛行機の中でビートルズの名曲「ノルウェイの森」を耳にして突然激しい混乱に襲われ、一八年前のことを思い出すところから、物語が始まる。この時点で直子は既にこの世に存在しない人間である。語り手のワタナベはそれを最初から知っているが、読者には直子の死を知らせぬまま物語を語っていく。ここには二重の「目」が存在していることを佐藤幹夫は指摘している。⁵⁷つまり、「過去をふりかえるワタナベ」と「現在をいきるワタナベ」によって、死者への回想が現在のこととして語られていくという構造である。⁵⁸こうして、『森』の唯一の語り手であるワタナベはこの二重の「目」をもちながら、失った人々と過去の青春とを吊っている。

『森』と同様に『蓮花』における善生の回想も、物語の主軸であると同時に二重の「目」の働きをしている。善生は記憶の中にいる内河を訪ねて行くため、墨脱への旅に出る。そこで慶昭に出会い、彼女は彼の旅

⁵⁷ 前掲阿美寮の異世界性及び直子の不在性に関しては多くの評者が指摘しているが、管見の限り、佐藤氏の分析が最も明瞭と思われる。

⁵⁸ 佐藤幹夫『村上春樹の隣には三島由紀夫がいつもいる』207頁。

の道連れになる。この時点で、慶昭の生きている現実には内河は既に存在していない。しかし、善生は最初のうちは、内河が既に死者であることを慶昭に伝えず、読者にも知らせない。真相は墨脱に到着した時に明らかになり、慶昭と読者は初めて内河が善生の回想の中でのみ生きている人物で、既に死者となっていたことを知るのである。善生は内河の死を慶昭に知らせぬまま、危険な墨脱まで彼女に会いに行くと語る。この善生もワタナベと同じく、「過去をふりかえる自分」と「現在を生きる自分」の間を徘徊しながら、既に死者になっている人間を生者であるかのように語るのである。

ただし『蓮花』の語り手は善生一人ではない。墨脱の旅が終わって、新しい人生を得た慶昭は、もう一人の語り手となり、善生の回想を回想する。つまり慶昭は二重の回想を読者に対して展開する第二の語り手になるのである。語りの構造上、これは『森』のワタナベが一貫して回想の主体であり、唯一の語り手であるのとは大きく異なる点である。『蓮花』では冒頭から、内河に対する善生の回想で物語が始まる。善生は回想の主体であり、語り手でもあった。しかし、物語のエピローグで、善生と慶昭が墨脱から戻った後、善生は物語の舞台から消え、スポットライトは慶昭に移る。物語の時間は更に数年後に移り、安定した生活を送る慶昭は自宅を訪れた「私」に、自分の手帳および内河との往復書簡を挟んだ善生の本を渡す。「私」が手帳を開いて読んでみると、その文章は『蓮花』の冒頭部のラサでの出会いの場面と呼応する慶昭と善生の別れの場面である。つまり、『蓮花』は実は慶昭の回想だったのである。ここにおいて、この物語は実は「私」が読む慶昭の回想の中で善生の回想が展開されるという三重の入れ子構造になっていたことが明らかになる。したがって、『蓮花』も『森』と同様に回想により展開される物語であるが、ただ『森』と異なるのは、『蓮花』は二重の回想者および三重の語り手による回想の物語であり、作品中の死者と生者との対照において、『森』よりも更に深い奥行を具えている点である。これは『蓮花』独自の構造で

あり、慶山が単に村上春樹を模倣していたのではなく、模倣を通じて創造を行っていたことを有力に物語るものである。

● 「探求」のテーマ

物語のテーマについて言えば、「探求」は両小説にとって不可欠のキーワードである。

『森』の中で、直子はワタナベにとって恋人でもあり親友でもある身近な存在である。ワタナベと彼女はデートをし、歓談し、更にセックスするような深い関係にある。そのいっぽう、ワタナベにとって直子の心理状態は常に謎に包まれており、根本的には理解不可能な、掴みどころがない遥か遠い存在でもあった。たとえば、直子が突然姿を消した理由、阿美寮に入院した理由、阿美寮の夜ワタナベに自分の裸体を見せた理由、更には自殺した理由などは全てワタナベにとって謎に包まれていた。キズキの死が彼女にダメージを与えたことは理解できても、彼女を自殺に追い込んだ真の理由はワタナベには理解できなかった。彼は直子の心を理解するより推測することのほうが多かったように思われる。物語第一章の章末には、「そう考えると僕はたまらなく哀しい。何故なら直子は僕のことを愛してさえいなかったからだ」⁵⁹というワタナベの言葉があり、この一句からも、直子が自分のことを愛したかどうかさえ分からないほど、18年後になっても彼はいまだに直子の心を理解していないと言えよう。

直子と一緒にいればいるほど、神秘性に包まれた彼女の真実を知りたいという気持ちがワタナベの心をきつく縛る。そのため、彼は一途に直子の内面世界を探求し続けるのであった。直子との手紙のやりとり、レイコさんとの相談、そして、阿美寮での直子との面会などは、ワタナベが直子のことを愛しているからというより、直子という謎を解き明かすための探求とも言えるだろう。つまり『森』の隠れたテーマである「謎

⁵⁹『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』18頁。

解き」こそが、ワタナベと直子の絆であるともいえるのではないだろうか。

同様に、『蓮花』の中にも「探求」のテーマを見出すことができる。内河と善生は周囲から浮いた人間であり、同じ雰囲気をもつ二人は良きパートナーとなった。しかし、ワタナベにおける直子と同様、内河は善生にとって親友でありながら、神秘的な存在でもあった。美術教師と駆け落ちをし、精神病院に入院、フランスのパリで電撃的に結婚し、そして離婚し、墨脱に入って教師になった内河は、善生にとって理解しがたい行動を次々と起こす女性だった。彼は内河の奔放さを羨むいっぽうで、彼女を理解したい気持ちが強まっていく。ワタナベと同様、〈女性主人公 A〉に対する善生の探求心は、母の反対を押し切って内河を追う原動力となった。彼はついには、内河がもはやこの世にいないと分かっているが彼女の終焉の地の墨脱を目指す。これは内河が曾て生きそして死んだ場所に行くことで、未知なる彼女の精神を探求するためだったのではないだろうか。

つまり、〈女性主人公 A〉に対する愛情というより、謎に包まれた彼女の精神を探求するためにこそ、善生もワタナベと同様に内河の生と死を追求していくのである。このように、物語の隠れたテーマにおいても、『蓮花』は『森』に類似していると言えよう。

2-2-3 表紙の表象—色彩のレクイエム

日本の文藝批評家の加藤典洋は次のような指摘をしている。村上は最初から、『森』を二巻本として構想していた。装丁は著者自身によるものであり、赤と緑のクリスマス・カラーで大いにそのベストセラー化に寄与したといわれたが、その意味はおそらく違うところにある。赤と緑は同書の内部をなしている白とともに、この小説の三原色である。このうち、赤と緑は補色であり、この二色をあわせると黒になる。つまり、こ

の本は一冊に合わせると黒い本、鎮魂の書になり、それを二つに分光すると、色鮮やかな赤と緑になる。⁶⁰

この大胆な仮説が成立するのであれば、『森』の扉に書いてある「多くの祭りのために」^{フェト}という言葉の意味もより明確になるだろう。著者は小説のカバーに赤と緑の色を使い、またこの色と同様にごくありふれて見える男女の恋愛の物語をわれわれに示した。しかし、恋愛物語の背後には、小説の真の意味、すなわち鎮魂の物語が隠れているのではないか。

このような装丁を通してのメッセージは、『蓮花』のカバーからも読み取れる。『森』の上下二巻に対して、『蓮花』は一巻のみである。帯の部分を除き、装丁は全体的に非常に簡潔なイメージを与えるものである。白いカバーの真中のやや上に赤紫で「蓮花」と題名が印刷されており、使用されている色は白と赤紫のみである。題名が「蓮花」であるにもかかわらず、蓮花の写真や蓮花と関連するピンク系の色などの暖かみのある要素は、この本のカバーに一切現われていない。このようなデザインから浮かび上がるのは、中国の墓石のイメージではあるまいか。そして、小説のカバーにある赤い「蓮花」の二文字は、まさに墓の持ち主の名前を連想させる。

慶山は小説の序三で蓮花についてこう書いている。「蓮花はある誕生、ケガレを払い、暗闇を走る一筋の光を代表する。幻像を超えた新しい世界の誕生。」⁶¹また墨脱のチベット語の意味「蓮が隠れている場所」を考えれば、小説の題名「蓮花」は内河を指しているとも考えられる。すなわち、内河は自分の永眠する場所である墨脱の蓮花に化身し、永生を得たと解釈できよう。そして、善生と慶昭、また読者にとっては、『蓮花』を読むことは内河に対するレクイエムを捧げることになるのである。

興味深いことに、両作のこのような影響関係に気づいた批評家、または読者を筆者は寡聞にして知らない。その原因は、おそらく両作がそれ

⁶⁰ 加藤典洋『村上春樹 イエローページ 2』幻冬舎、2006年10月、59頁。

⁶¹ 原文「蓮花代表一种诞生，清除尘垢，在黑暗中趋向光。一个超脱幻象的新世界的诞生。」安妮宝贝『蓮花』3頁。

ぞれ強調している主旨の違いにあると思われる。村上春樹自身が小説の帯で読者に直接語りかけているように、『森』は「100パーセントの恋愛小説」である。これに対して、『蓮花』の帯には「寓意に関わる。魂の歴史に関わる。人が歩いた道に関わる。」⁶²と記されている。つまり『蓮花』のテーマは恋愛というより、魂の旅を通して得られた精神的な収穫であると理解できよう。この点について、前述の中国書き込みサイト「豆瓣網」には『蓮花』に対して読者からの下記のようなコメントがある。「物を以て喜ばず、己を以て悲しまず、けれども自分の思いを堅持し且つ実現させるべく努力することは、『蓮花』を読んだ後の最大の収穫である」⁶³。

『蓮花』は慶山の村上受容過程において「80後」とは異なる、リアリズム的に人間の精神的深層を探索する「70後」作家の創作特徴を持ち合わせながら創作された、改革開放以来急速に豊かになりつつある中国社会を省察する物語である。これと同時に、現在中国の読書市場に現れている様々な村上春樹と関わる作品の中で、最も成熟した一作であるとも言えよう。

『蓮花』刊行から6年後の2011年、慶山自身が編集長となって発行した話題の文藝誌『大方』創刊号では、日本の新潮社刊行の季刊誌『考える人』2010年夏号と同じく、老舗ホテルの階段の下に立っている村上春樹の写真が表紙に用いられている。しかも同誌は全誌面の半分近いスペースを割いて、『考える人』掲載の「村上春樹ロングインタビュー」の中国語訳を掲載したのである。⁶⁴ここから慶山による新たな村上受容が展開して行く。

ちなみに、後述するように、中国には、村上文学と直接的な関係を持

⁶² 原文「有关寓意。有关心灵的历史。有关人所走上的路途。」

⁶³ 原文「不以物喜，不以己悲，但坚持自己所想且努力实现则是读完《莲花》之后最大的收获。」「豆瓣網」書評「蓮花……高中写的……」2009年7月29日 mar42。http://book.douban.com/review/2176626/（2016年6月17日に最終閲覧）

⁶⁴ 『大方』の表紙には新潮社から版權を取得済みであると明記されている。

たないが、ただ作品中に登場する特定のモチーフや周縁の事象を強調する社会現象が存在している。本論では、このような村上春樹本人、あるいは村上文学に関連付けて、一種のファッションとして扱われている現象を「村上ファッション」と呼びたい。管見の限り、「村上ファッション」の表象は大きく三つに分けられるだろう。すなわち、第一に、特定の商品のブランドイメージを高めるために村上作品のタイトルを借用するという、曲名や店舗名、また不動産のネーミングなどに見られる表面的受容がある。第二に、村上本人、あるいは村上作品に関連づけられた創作・編集活動があり、たとえば村上作品によく登場する料理や音楽に焦点を絞った『村上春樹美食厨房』（2004年）やCDアルバムの『村上春樹的巡礼之年』（2013年）、また作家インタビューの掲載といった、文学・文化的受容である。第三に、本章で言及したような、特定の村上作品に対する模倣的創造の受容から、更に創造の度合いを深め、すでに村上文学の世界の自己流アレンジと呼べるような文学創作活動、例えば後述する郭敬明による村上文学の受容がある。従って、上述の慶山が自ら編集長となって創刊した『大方』における村上インタビューの掲載および『考える人』と同一の表紙写真の採用は、慶山が自作『蓮花』の模倣的創造の完成によって脱村上チルドレンを果たし、より広義の文化発信をめざす村上ファッションの実践者へと展開したことの表れであると言えよう。

そのいっぽうで、2011年3月刊行の慶山最新の長篇作『春宴』においては、再び村上作品に対する明らかな模倣的創造が見られる。

『春宴』は二人の対照的な女性を主人公とし、それぞれの物語を通じて、人と現世との関係や、恋愛による葛藤や喪失感などを描いた作品である。『春宴』の章題の付け方や作品の構成におけるパラレルワールドへの挑戦などからは、『1Q84』の影響が強く感じられる。周知のように、『1Q84』では、村上作品で多用されるパラレルワールド式の物語構造により、「青豆」の章と「天吾」の章が交互に登場する。これに対して、『春宴』でも最初と最後の章を除く第二章から第一章までは、それぞ

れ主人公の名前である「慶長」と「信得」を章題に含む章が交互に配される。しかも、各章題の命名も『1Q84』の「登場人物名＋章題」（たとえば、「天吾 本物の血が流れる実物の革命」第一〇章）の形式を継承したかのように、「信得 見えない存在(信得 看不見的存在)第一〇章」というように記されている。更に、両作品とも扉に詩を掲げている。

『春宴』の初期構想について、慶山は次のように述べていた。

「最初、私の『春宴』の構成に対する構想は、おそらくより大がかりなものでした。小説のアウトラインを三つに定め、そのほかにもう一つ「私」の物語がありました。しかし後になってそれをカットし、「慶長」と「信得」の二つだけを残したのは、二つだけでも内容が十分多く、文字数も多いので、そのまま書き続けると小説があまりにも大部になってしまうからです」。⁶⁵

慶山自身の説明から判断して、『春宴』は構想時点から正に『1Q84』の「青豆」「天吾」「牛河」という物語の構成を意識していた可能性が高いと考えられる。また、『春宴』を構想、あるいは執筆していた時期は、ちょうど前述した雑誌『大方』創刊号の編集・刊行作業を行う時期とぶつかっている。編集長を務めた慶山は、おそらく「村上春樹ロングインタビュー」掲載の関係で、『1Q84』を熟読していたことだろう。したがって慶山が『1Q84』の影響を受け、膨大且つ複雑な総合小説を目指して新作『春宴』を構想した可能性は十分に考えられる。ちなみに、『春宴』と『1Q84』の構成上の類似について、ネット上では「春宴抄襲村上春樹的『1Q84』（『春宴』は村上春樹の『1Q84』に対する盗作）」という衝撃的な議題をめぐって、ネットユーザーたちによる議論が行われたこともあ

65 原文「起先，我对《春宴》的结构框定也许更为庞大。小说提纲定的是三条线，还有一条“我”的故事。但后来砍掉它，只剩下庆长和信得两条线，因为两条线本身的内容写得足够多，字数很多，再写下去这个小说就太厚。」「重訪安妮寶貝」『城市畫報』2011年8月第15期、55頁。

る。

慶山は2014年6月にペンネームの変更を正式に発表した。「慶」は「歡喜」と「祝福」の意を含む文字で、「山」は作者自身が登山体験を通じて「山」の意味を悟ったことに因んだ一字であるという。今回の改名について彼女は次のように語っている。「安妮は永遠に私の一部であり、私の全ての創作は安妮宝贝という基礎の上に建てられている。(中略)一本の木に新たな枝が伸び、一人の旅人が新しい辺境へ向かうのと同じである。新しい発生の全てが、昔の基礎の上に確立されるのであり、自分の過去から離れることではない」⁶⁶。このような彼女自身の言葉からは、作家としての成長と共に、新たな自分を発見し構築していこうとする積極的な姿勢が読み取れよう。慶山として再出発を果たした安妮宝贝が、今後如何にして新たな村上受容を展開するのかは興味深い問題である。

2-3 「子どもっぽい悲傷」から見る郭敬明の村上受容

村上チルドレン作家は「70後」だけに限らず、「80後」にも幅広く存在している。この節ではかつて「中国の村上春樹」と称されることもあった⁶⁷郭敬明をその代表として、彼の村上受容の特徴について考察したい。

郭敬明は四川省自貢市で生まれ、国有企業の職員の父と銀行員の母の元で育てられ、幼少時から読書に興味を示すようになり、小説やエッセー、雑誌、新聞など様々なジャンルの読み物を読み漁っていた。中学2年生時に共青团⁶⁸瀋陽市委員会主催・都市青年報刊社出版の中学生向けの

66 原文「安妮永远是我的一部分，我所有的写作都是建立在安妮宝贝这个基础上的。(中略)如同一棵树长出新的枝干，一个旅人走到新的边界。所有新的发生，建立于原先的基础，而不是离开自己的过去。」「鳳凰読書—安妮宝贝永远是我的一部分」2014年6月23日

http://book.ifeng.com/gundong/detail_2014_06/23/36958576_0.shtml

(2016年6月17日に最終閲覧)

67 「上海富裕層の「快樂的生活」」『COURRIER JAPAN』2011年9月第82期、121頁。

68 中国共産主義青年団の略称であり、中国共産党指導のもとで14歳から28

雑誌『青春十六七』（1992年創刊）で処女詩作「孤独」を発表したのをきっかけにして執筆活動を始め、高校に入ってから「第四維」というペンネームでネット文学サイト「榕樹下」で小説を書き続けた。2001年に18歳となった郭敬明は「假如明天没有太阳(もし明日に太陽がなければ)」で第3回「新概念作文大賽」の一等賞を受賞した。その翌年の2002年に「我们最后的校园民谣(われわれ最後のキャンパスの歌)」で連続して同コンテストの一等賞を受賞した。同年、郭敬明は文芸誌『萌芽』に投稿した中編ファンタジー小説『幻城』によって爆発的な人気を獲得し、翌年の2003年2月には同作品は長編に書き直され、同名小説として春風文芸出版社から刊行された。刊行後二か月のうちに売上はうなぎ上りに20万部に達し、最終的な正規版の売上累計部数は150万部に達したという。そのおかげで当時倒産の危機に瀕していた春風文芸出版社は息を吹き返し、まだ19歳の大学生だった郭敬明は一躍全国の注目を浴びて鮮烈なデビューを遂げた。⁶⁹

『幻城』の大成功に乗じ、郭は同年さらにもう一冊のリアリズム青春小説『夢里花落知多少』（春風文芸出版社、2003年。以下『夢』と略記する）を刊行した。この作品は初版30万部を発行し、『幻城』と並んで大人気を博した。しかし『夢』の刊行後、女性作家庄羽の『圈里圈外』に対する盗作疑惑が発生し、前作『幻城』出版の際に発生した日本の女性漫画家団体CLAMPの『聖伝』に対する剽窃疑惑と共に、大騒動となった。だが郭敬明自身がこのスキャンダルにより打撃を受けた様子はほとんどなく、むしろそれを逆手に取って知名度を上げながら、作品を刊行し続けている。2014年5月までに郭敬明個人による作品数は既に17点に登り、そのなかのヒット作である『小時代』シリーズは郭敬明自ら監督となり映画化されたことから大きな話題となった。現在郭敬明は上海

歳の若手エリート団員からなっている青年組織のことである。

⁶⁹ 諸子『穿越郭敬明独一代的想像的森林』上海人民出版社、2004年、5～7頁、または福嶋亮大「チャイニーズ・イノセンスー郭敬明現象が語るもの」青土社『ユリイカ』2008年3月臨時増刊号、218頁を参考にした。

最世文化発展株式会社の社長兼マネージャーとして、文学創作活動と並行して、文芸誌・コミック誌の編集、書籍の出版、新人作家の発掘・育成、更に映画監督まで、文化事業を幅広く精力的に展開しており、非常に個性豊かな村上チルドレン作家である。

郭敬明の作品群は、「ACG」⁷⁰風ファンタジー小説のほかは、殆んどが学生向けの学園青春物語である。一見したところ、郭には村上春樹からの明確な影響は見出せないが、郭による最初のエッセー集『愛と痛的辺縁』（以下『愛』と略記する）では村上春樹作品からの引用と思われる一節がある。

①「破裂したギターの手が私を森の中で道を見失ったような感覚を抱かせる—村上春樹」⁷¹

②「忘却は我々の変えられない宿命である。最後に村上春樹の言葉を引用する：それはまるでずれてしまったトレーシング・ペーパーのように、何もかもが、とり返しのつかぬ過去と、少しずつ食い違っていた。」⁷²

藤井省三『村上…中国』で言及される、現在確認可能な『森』と『風』の中国語訳本（海賊版も含む）に照会してみると、この二つの文章は、いずれの日本語の原作とも中国語の訳文とも食い違っていることが分かる。⁷³つまり、『愛』における郭の村上からの「引用」は、原文そのまま

⁷⁰ アニメ、コミック、ゲームの略称。

⁷¹ 原文「破碎的吉他声让我感觉像是在森林里迷了路—村上春樹。」郭敬明『愛と痛的辺縁』東方出版中心、2008年8月第4版、2011年6月第8刷、13頁。

⁷² 原文「遗忘是我们不可更改的宿命。最后引用一段村上春树的话：这些简直就像没对准的绘图纸一样，一切的一切都跟回不去的过去，一点一点地错开了。」郭敬明『愛と痛的辺縁』216頁。

⁷³ （ここでは中国簡体字版の林少華訳を参考する）①「一听这曲子，我就时常悲哀得不行。也不知道为什么，我总是觉得似乎自己在茂密的森林中迷了路」（《挪威的森林（全訳版）》上海訳文出版社、2001年2月第1版、2001年7月第6刷、131頁）。②「这一切宛如挪动过的复写纸，无不同原有位置有着少许然而却是无可挽回的差异。」（《且听风吟》上海譯文出版社、2009年、

の復唱ではなく、自らの想像および解釈を加えた再編集が施されたものと考えられる。その原因は後述するが、これは前二節で取り上げた衛慧と慶山の初期作品における村上受容には見えなかった、郭敬明による独特の受容スタイルであると言えよう。

郭の初期作品には、上述のような村上文学からの「準引用」以外に、物語の設定上での受容も見られる。前述した2003年刊行の郭敬明のヒット作『夢』は、大学を出たばかりの若者たちの交友、恋愛をめぐる陰謀や復讐、そして喪失を描いた青春物語である。小説の最後で、語り手の女性主人公林嵐は、波瀾万丈の体験を経てようやく人生が落ち着き、北京から深圳へ旅立つために空港に向かう車内で、過ぎ去った恋人や友人たちに思いを馳せるが、そこで無限の喪失感に襲われ、小説のタイトルでもある『夢里花落知多少』という古い歌を思い出しながら物語が終わる。この結末は『森』の冒頭、ハンブルク空港に到着したワタナベが機内でビートルズの名曲「ノルウェイの森」を耳にして過去を思い出す、という設定を連想させる。しかし、両作の類似点はこれ以外には殆んど見出だせない。郭敬明は「ACG ファンタジー」や、「学園物語」を中心とする創作において、衛慧と慶山と比べれば、やはりそれほど積極的には村上文学の受容を行っていなかったのだろうか。

そのいっぽうで、「ACG ファンタジー」「学園物語」のほかに、「感傷」も郭の作品によく見られるテーマである。後述するように、郭が描く「感傷」が村上春樹の作品から影響を受けている点については、多くの研究者から指摘がなされている。

たとえば、中国の日本文学研究者、黄忠順は、「とりわけ感傷、孤独、やるせない気持ちについては、『ノルウェイの森』がすでに中国の大半の

127頁)。ちなみに、日本語の原文は①「この曲聴くと私ときどきすごく哀しくなることがあるの。どうしてだかはわからないけど、自分が深い森の中で迷っているような気になるの」(『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』160頁)。②「それはまるでずれてしまったトレーシング・ペーパーのように、何もかもが少しずつ、しかしとり返しのつかぬくらいに昔とは違っていた」(『村上春樹全作品 1979～1989①風の歌を聴け』、107頁)。

青春文学をこのような流行病に感染させていたと言えよう。安妮宝贝から郭敬明（中略）に至るまで、ひたすら悲しんできた」⁷⁴と郭が村上から「感傷」のテーマを受容した点を指摘している。これを裏付けるかのように郭自身も「僕は朴樹（筆者注：歌手名）を聴くと村上春樹を思い出すことがある。おそらく彼らがずっと感傷的にして優美な青春、多感にして孤独な年代を語っているからだろう、ただしいっぽうは音楽を運び手として、いっぽうは文字を経路とするのだが。」⁷⁵と述べ、その影響関係が窺がえる。しかし、以下に説明するように、郭が描く「感傷」は、村上のそれをそのまま受容して自分の作品に取り込んだのではなく、彼独自の「感傷」へと再創造されたものである。

郭による感傷に溢れた青春物語『夢』を『森』と比較すると、まず『森』の静かで淡々とした「感傷」に対して、『夢』には常に暴力的な要素が織り込まれ、それは読者に痛みを感じさせるほど鮮烈なものである。また『森』の場合は、異なる年齢層や社会背景を持つ登場人物たちに託された共通の、あるいは個別の人生経験によって、多様な憂いや喪失感が描き出される。たとえば、恋の悩みが殆どの登場人物にとって共通する経験となっているいっぽうで、レイコの子供虐待、突撃隊の突然の退学、緑の家庭問題、キズキの自殺など、各個人が抱えている個別的な体験も存在する。このように異なる階層に所属する人物たちが抱えている多様な「感傷」が、多くの人々の共感を呼び、幅広い読者層を獲得したのである。いっぽう、『夢』では、大学生の主人公林嵐および彼女のまわりの同年代の友人たちは皆同じグループに属し、共通の経験を通じて、限定された「感傷」を表出しているために、主に作中人物たちと同年代、あるいは類似する経験を有する読者たちの共感を得たのであろう。

⁷⁴ 原文「尤其是忧伤，孤独，无奈的情绪，可以说《挪威的森林》已经使中国的大半青春文学染上了这种时尚病。从安妮宝贝到郭敬明（中略），一路忧伤过来。黄忠顺「中国时尚文学与杜拉斯、村上春樹、日本動漫」、194頁。

⁷⁵ 原文「我听朴树的时候会想起村上春树。也许是因为他们都一直在讲述伤感而优美的青春，多情而孤独的年代吧，只不过一个以音乐为载体，一个以文字为路径。」郭敬明『愛与痛的边缘』21頁。

限定された感傷のほか、成長へとはつながらない感傷も郭作品の特徴の一つである。前述したとおり、『森』は「回顧」の形式を取ることによって、主人公の成長を示すと同時に、人生の喪失感や孤独などの感傷を昇華させ、読者たちに自己の人生に対する思考を静かに促している。これに対して、多くの郭作品では衛慧の『ベイベー』のように、現在進行形によって物語が展開していく。そのため読者たちは、次から次へと出現するプロットの山場に沿って、主人公と共に喜怒哀楽を覚えながら結末へ向かっていくことを迫られ、振り返って反省したり、立ち止まって感情を整理したりする余裕は殆んど与えられないのである。その結果、読者が作品を通じて感受した感傷は、必ずしも彼らに「成長」を促すわけではなく、読者の心の中で感傷のまま積み重なっていくと考えられる。この点について、中国の日本文学研究者、趙薇は「郭敬明は感傷的になることだけを記憶し、村上の青春に対する思考を忘れている」⁷⁶と批評しているが、これは郭による成長を伴わぬ感傷を異なる角度から指摘するものと言えよう。ちなみに、このような限定された成長なしの感傷は、郭の以降の長編作品『悲しみは逆流して河になる(原題:悲傷逆流成河)』⁷⁷と『小時代』(長江文芸出版社、2008年)シリーズをも貫いている。

諸子著『穿越郭敬明独一无二的想像森林』は、このような郭が描く感傷を「子どもっぽい」と評価している。そして『森』に言及しつつ郭敬明の流行と関連づけて以下のように述べている。

「『森』は決して村上春樹の最高の作品ではないが、『森』の成功によって、郭敬明の奇跡のような成功をある程度解釈できる(中略)『森』のような骨にしみ入る感傷は、日本の若者の共感を呼んだ。安妮寶貝の憂鬱

⁷⁶ 原文「郭敬明只记住了忧伤而忘记了村上对青春的思想。」趙薇「夢里花落及挪威森林里的憂傷—中日兩部青春文学之比較」『學術交流』、2008年6月第171期、170頁。

⁷⁷ 郭敬明《悲傷逆流成河》長江文芸出版社、2007年。邦題『悲しみは逆流して河になる』泉京鹿訳、講談社、2011年。

は、より大人のものだ。では誰の憂鬱が「子どももの」と言えるのか。そこで郭敬明がこの期に応じて誕生した。おそらく郭敬明の流行は、郭敬明個人の成功ではなく、この時代の子どもたちが、自分の心の声の代弁者を必要としており、そこへ郭敬明がやって来たのだ⁷⁸。

郭敬明が描く感傷のテーマを最も代表するのが前掲の『夢』と『悲しみは逆流して河になる』であろう。この両作の刊行年はそれぞれ、郭敬明が19歳だった2003年と23歳だった2007年である。当時まだ大学生だった郭が作品に託した感傷は、正に彼自身の日常生活から感受した、その年頃の若者たちと共有できるものであるが、それがある程度の社会経験を蓄積した大人にとっては未成熟に見えるのも、また無理からぬことだと言えよう。

このようにして、郭敬明は村上春樹から受容した「感傷」を、「限定された成長へとはつながらない」未成熟の感傷へと変化させることで、自らの作風を確立したと理解できよう。これを、郭敬明の初期作品に現れた、村上文学からの「準引用」と合わせ考えてみると、郭による村上受容は、衛慧と慶山のようにしっかりと模倣的創造の段階を踏んではおらず、そこには最初から村上ファッションが色濃く表れていると言えよう。

2013年6月に、郭敬明自身が監督した映画版『小時代・折紙時代』の第一部が中国で上映され、賛否両論渦巻く中で、4.83億元（約93億円）の興行成績を収めた。その後、第二部の『青木時代』（2013年）、第三部の『刺金時代』（2014年）に続き、2015年の7月には第四部の『靈魂尽头』が中国で上映された。このように映画監督としても活躍し始めた、

⁷⁸ 原文「《挪威的森林》绝对不是村上春树最好的一部作品，但《挪威的森林》的胜利在某种程度上解释了郭敬明奇迹般的成功（中略）《森》那种深入脊髓的忧伤使得日本青年感同身受。安妮宝贝的忧郁更多是成人式的。那么有谁的忧郁可以是“孩子式”的呢？于是郭敬明应运而生了。也许郭敬明的走红并非是郭敬明个人的成功，而是这个时代的孩子需要一个自己心声的代言人，于是郭敬明来了。」諸子『穿越郭敬明独一代的想像森林』上海人民出版社、2004年、16頁。

多才な「80 後」村上チルドレンである郭敬明は、今後も引き続き目覚ましい発展を遂げていくことだろう。

< 小結 >

2004 年 10 月に来日した衛慧は、藤井省三との対談の中で、『森』を読んだのは 1999 年と認めるいっぽうで、自分の創作に対する村上春樹の影響については、「(村上春樹) に対する接点みたいなものが、何か欠けている」と直接の影響関係を留保している。⁷⁹慶山も村上文学からの影響を積極的には肯定しておらず、2006 年 12 月に藤井省三が聞き手となったインタビューで、上海への転居後に短編小説集『象の消滅』を読んでおもしろいと思ったが、『ノルウェイの森』などほかの村上文学は読んでいない、と婉曲に村上からの影響を否定している。⁸⁰また、郭敬明は村上春樹に対する敬意を表したことはあるが、自分が村上作品から影響を受けているとする明確な発言は行っていない。三人とも有力な村上チルドレンとされながら、自分が村上春樹から受けた影響については限定的なものであるとする態度を取っている。

本章での分析から理解できるように、彼らは村上作品からインプットされた影響をそのまま自作品に反映させるのではなく、細かく分解し、自分のものとしてきちんと消化した後に、改めて自らの物語を創出しており、これが彼ら〔1 組〕の村上チルドレン作家たちが村上春樹を受容する方式の特徴と言えよう。つまり、「序章」で説明したように、彼らは本論で設定されたいわゆる模倣的創造の村上チルドレン作家なのである。こうした 1 組の村上チルドレンは、作家としてデビューしてからのこの 10 年間に、すでに人気作品を二点以上刊行して独自の作風を確立し、固定した読者群を有している。彼らの作品は外国で翻訳・紹介されつつあ

⁷⁹ 衛慧、藤井省三「対談、新上海の“感性”を描く—『衛慧みたいにクレイジー』をめぐって」東方書店『東方』2005 年 1 月号、8 頁。

⁸⁰ 藤井省三「人気作家・安妮の素顔」『北海道新聞』2007 年 2 月 27 日夕刊。

るが、今後世界各地でも幅広く読まれていくに違いない。

ちなみに、2006年の慶山に対するインタビューの内容から見ると、慶山の村上作品との接触は少ないように見えるが、実はそうではない。周知のように、1996年から97年にかけて中国で刊行された村上短編集『象の消滅（原題：象的失踪）』は、漓江出版社が『中国行き…』や『TVピープル』、『回転木馬のデッド・ヒート』などの短編集から代表的な短編をピックアップし、更に『風』、『1973年のピンボール』など初期の長編も加えて編集した、もともと日本での原作にあたる作品が存在しない選集である。この短編集を読んだと言う慶山は、実際は自分の創作の初期に村上作品と多くの接触を持っていたと言えよう。但し少なくとも2006年の時点では、『森』は慶山の村上読書リストに載っておらず、これはいささか不思議なことに思われる。

この点を考察するにあたっては、藤井省三による「生産・流通・消費・再生産」の理論⁸¹が助けとなりそうである。

慶山を含む〔1組〕の作家がデビューした時期は、ちょうど第2次村上ブームの只中にあたり、村上文学は既に広く中国文藝界に浸透していた。たとえば中国知識資源総庫（CNKI）で村上春樹と『森』をキーワードにして検索すると、『森』の翻訳本が初めて中国に登場した1989年から慶山が『蓮花』を執筆した2005年までの間にヒットする文章は356篇ある。そのうち『森』がベストセラーになった1998年から2005年の間の文章は329篇である。⁸²これは、中国における『森』を起点として始まった本格的な村上ブームが実は二度目の1998年に端を発していたことを示している。と同時に、〔1組〕の作家たちが自分では『森』を読んだことはなくても、当時中国に溢れていた『森』に関する紹介や評論、また知人や友人からの『森』に対する個人的感想といった大量の情報に接していた可能性をも示唆している。ほかにも、再生産された村上をめぐ

⁸¹藤井省三『20世紀の中国文学』放送大学教育振興会2005年3月、14頁。

⁸²藤井省三による2010年10月7日の検索結果。藤井省三著・張明敏訳「中国的《挪威的森林》」56頁。

る文学言説がネット上など様々なメディアに流通して消費され、チャットから批評に至るまでの各種の文化的場で繰り広げられることによって彼らが無意識のうちに影響を受けて模倣的創造へと導かれ、文学作品の再生産および「村上チルドレン」としての作家的成長に至ったのではあるまいか。

いっぽう、前述したように、慶山は 21 世紀の中国文壇において、すでに村上春樹と比肩するほどの知名度と人気を具えた流行作家となっている。この慶山が創作において目指しているのは、村上春樹を含む他の作家を模倣することではなく、独自の文学世界を構築することであろう。この点については、衛慧や郭敬明も同様である。慶山を含む彼ら既成作家グループに属する村上チルドレン作家たちは、曾て村上作品から習得したものをそれぞれ個性的な方法で消化すると同時に、自らの人生や社会への考えを深めることによって、ついには「脱村上チルドレン化」を目指しているのである。村上作品を読むことなしに、その雰囲気や自由自在に操れる広義的な「村上ファッション」へと、彼らは突入し始めているのではあるまいか。

第 3 章 成長中の村上チルドレン作家群—忘却

魚鱗・孔亜雷・李修文の村上受容を中心に

「豆瓣網」にある「最も青春的な村上春樹（原題：最青春的村上春樹）」という題名の書評のなかには、下記のような記述が見られる。

「国内にはたくさんの村下村左村右がいる。李修文君は「大陸版村上」の旗を立てて、相次いで三部作を刊行し、（中略）孔亜雷君は『不失者』を世に送り出し、様式・精神・趣は相当上手に真似できたが、訳文のボスと林先生はどうしても「コピー品」を好まず、不失者を不知者にしてしまった。だから正真正銘の青春版村上春樹になれたのは、作者の魚鱗がおそらく 80 後では 1 人目だろう。」¹

「村下村左村右」とは勝手に村上春樹との関連性を作り出しアピールする人のことを揶揄する言葉であろう。これは「80 後」若手作家の忘却魚鱗の作品『關於彼岸的一切』（以下『彼岸』と略記する）について書かれたものである。興味深いことに、これを書き込んだ linen は忘却魚鱗を中国の「最も青春的な村上春樹」と称して応援するいっぽうで、対照的に孔亜雷と李修文をも揶揄するように取り上げており、ちょうど本章の研究対象である三人の村上チルドレン全員に言及している。

中国広東省出身の忘却魚鱗は、本名を林偉奇といい、文学活動のかた

¹原文「国内就有很多村下村左村右。李修文同学打着“大陆版村上”的旗号，先后推出三部曲（中略）孔亚雷同学推出了《不失者》，虽然形神魂都相当到位，不过译文老板和林老师宁直不弯不待见山寨二奶，把不失者做成了不知者。所以真正做到青春版村上春树，作者鱼鳞大概是 80 后第一人」「豆瓣網」書評『最青春の村上春樹』2009 年 12 月 26 日、linen
<http://book.douban.com/review/2890450/>（2016 年 6 月 17 日に最終閲覧）

わら、音楽、映画、デザインなど幅広い分野で活躍している「80後」である。『彼岸』は彼のデビュー作であると同時に、現時点で刊行されている唯一の長編作品でもある。

『彼岸』は「火星大接近」の2003年を物語の背景として、主人公SAMを中心に、彼の恋人、弟、親友たちをめぐる様々な葛藤や、愛、宿命、孤独、喪失などを描いた青春小説である。『彼岸』はそのテーマばかりでなく、物語の内容や構成、更に言葉の運用に至るまで村上春樹の『森』と『風』を彷彿とさせるところが非常に多い。たとえば、『森』の冒頭は37歳のワタナベが飛行機内で過去を振り返って反省し、更に直子による「井戸」の話を思い出して茫然となるという設定になっているが、これと同様に『彼岸』の冒頭でも、主人公が回顧を通じて昔の青春時代を反省し感嘆した後、激しい山火事に取り巻かれた山小屋の中の神秘的な人物を思い出して頭が混乱する、という描写から物語が始まっていく。

登場人物の設定は以下のようなものである。「1日24時間のうち、だいたい10時間は寝ていて、8時間は屋外にいて、4時間は仕事していて、その他の時間は屋上か地下で過ごして」²おり、「たまに眠れない時があり、深夜ボロボロの冷蔵庫をいじくって食べ物を探す。ベランダのソファで何度もごろごろ寝返りを打って、タバコを吸いながら黎明を迎える。十数年前のガンズ・アンド・ローゼズ(Guns N' Roses)の古い曲を聴き、寂しい時間を費やす」³という、当時大学二年生の男性主人公SAMは、『森』のワタナベを連想させる。SAMには『森』と『風』にそれぞれ登場する永沢と鼠の存在にも似た友だちの朝毅がいる。二人はしばしば酒を飲み、テレビで見たヤギの求愛番組をめぐる議論や、女権社会についての想像など、抽象的な話題で盛りあがるが、これは『風』のなかで「僕」と鼠

²原文「一天中24小时，大概有10个小时在睡觉，8个小时在户外，4个小时在工作，其他时间则不是在顶楼就是在地底下。」忘却魚鱗『關於彼岸的一切』湖南人民出版社、2010年、4頁。

³原文：「偶尔有失眠的时候，深夜鼓捣着破旧的冰箱寻找食物，在阳台的沙发上翻来覆去，抽着香烟仰望慢慢泛白的天空。反复听十几年前Guns N' Roses的过时歌曲，以此消磨寂寞的时光。」忘却魚鱗『關於彼岸的一切』4頁。

が「金持ちなんて・みんな・糞くらえさ」⁴や「生きている作家の本は読まない」⁵などの話題をめぐって話し合う場面を連想させるものである。たった一度、バーで酒に酔った朝毅が自分の死生観について真面目に SAM に語るところは永沢を連想させ、その後バーの廊下から階下でダンスしている人々めがけて飛び込む二人のクレイジーな行動は、『風』で知り合ったばかりの「僕」と鼠が飲酒運転で事故を起こす場面に類似している。

親友のほかに、一度も登場せず、SAM とずっと手紙で（最後の一回は電話で）連絡を取り合う元恋人の SKY と、活発な性格の持ち主で神出鬼没な現在のガールフレンドである陳も登場する。SKY は「自分および回りのすべてに対して困惑」を感じ、一人で「地球で一番遠いところへ出かけて、時間の果てが見えるまで」⁶旅をし続けようと決め、中途退学した後姿を消す。人生に対する迷いへの答えを頑なまでに自力で見つけ出そうとし、また自分の近況や心境を手紙に綴って SAM と交流する SKY は『森』の直子に酷似している。それに対して陳のほうは、性格といい話し方といい、更に SAM にとっての存在のあり方までもが『森』の緑のようである。たとえば『彼岸』の中には陳と SAM の間に次のような会話が交わされる。

「SAM、知ってる？私は人と真面目に抱き合うのは久しぶりなの。」

「うん、さっきそんなに真面目だったのかい？」僕はわざと冷静に装って聞き返した。

「そうよ」彼女は静かに言った。「こんな真面目な抱擁はもうなかなかできないのよ。」

（中略）

彼女は続いて聞いた。「SAMには好きな女の子がいるの？」

⁴ 『村上春樹全作品 1979～1989① 風の歌を聴け』12 頁。

⁵ 『村上春樹全作品 1979～1989① 風の歌を聴け』18 頁。

⁶ 原文「对自己以及周围一切都感到迷惑」、「一直到走到地球最远的地方，看到时间的尽头为止」忘却魚鱗『關於彼岸的一切』15 頁。

「いるよ。」

「でもあなたはいつも暇そうなのね。それに、一度もあなたから聞いたことないわ。」

「それは…話すとちょっと複雑なんだ。」僕は言った。

「なら簡単に話してくれてもいいわ。」

「うん、簡単に言えば、僕の彼女は、僕のそばにいないんだ。僕たちはもうずっと長い間会ってないのさ。」と僕は簡潔に答えた。彼女はそれ以上何も言わなかった。この時僕は心の中で、つい先ほどまでの深夜のあの引きずりこまれるような魔力が、消え去ったようであることを知っていた。⁷

この会話は、『森』の中でワタナベが初めて緑の家を訪ねた時の緑との会話と酷似している。

「あなたには好きな女の子いるの？」

「いるよ」

「でも日曜日はいつも暇なのね？」

「とても複雑なんだ」と僕は言った。

そして僕は初秋の午後の束の間の魔力がもうどこかに消え去っていることを知った。⁸

両作にある男女主人公の会話を比較してみると、『森』のシーンおよび

⁷原文「“SAM, 你知道吗? 我有很久没有认真地和一个人拥抱过了。”“嗯, 刚刚很认真么?” 我故作平静地反问她。“是的”她轻轻地说, “这么认真的拥抱已经很难找了。”…她接着又问: “SAM 有没有喜欢的女孩子呢?” “有的。”“但是你好像总是有空。而且, 从来没有听你说过。”“那是因为…说起来有点复杂。”我说。“那你可以简单地说。”“嗯, 简单地说, 就是我的女朋友, 不在我身边。我们已经很久没有见过面了”我简短地回答, 她再没有说什么。这个时候我心里知道, 刚刚深夜里那份令人沉沦的魔力, 似乎消失不见了。」忘却魚鱗『關於彼岸的一切』64-65頁。

⁸『村上春樹全作品 1979~1989⑥ノルウェイの森』117-118頁。

ワタナベ、直子、緑の三人の関係が、『彼岸』ではほぼそのまま再現されていると言えよう。

更に、『彼岸』にはその後一時連絡がとれなくなっていた陳がSAMと再会し、実はこの間に元恋人と別れ、中絶手術を受けていたのだと告白する場面があるが、その時の二人の会話は下記のとおりである。

「私とセックスしたい？」陳が聞いた。

「うん。でもだめだろう。」僕は言った。

「そうね。手術したばかりなの。」

「うん。」

「ごめんなさい。」しばらくして彼女は言った。

「大丈夫。」僕は彼女を抱きながら、「こういう感じも悪くない。」僕は小声で言った。⁹

このような設定および会話も、『風』の中で一度姿を消した「小指のない女の子」が「僕」と再会した場面を連想させるものである。

「私とセックスしたい？」

「うん。」

「御免なさい。今日は駄目なの。」

僕は彼女を抱いたまま黙って肯いた。

「手術したばかりなのよ。」

「子供？」

「そう。」

(中略)

「相手の男のことよ。すっかり忘れちゃったわ。顔も思い出せないの

⁹原文「“想和我做爱吗？”陈问。“想。但是不行吧。”我说。“是呀。刚刚手术过。”“嗯。”“对不起。”过一会她说。“没关系。”我抱着她，“这样感觉也好。”我低声说到。」忘却魚鱗『關於彼岸的一切』220頁。

よ。」

(中略)

僕たちはそれ以上は何もしゃべらずに抱き合った。¹⁰

と照会してみると、驚くほど合致している。

ほかにも、『彼岸』に対しては「火星」というテーマの使用や、「まるで…太陽系の惑星がすべて大気圏に包まれるような気持ちよさ」¹¹という『森』の「春の熊くらいすきだよ」¹²の一句に類似した言い回しなど、村上風表現を指摘できる。

これまで言及してきた村上チルドレン作家の多くは、専ら『森』からの影響を特に深く受けているが、『彼岸』のように、ともに村上作品である『森』と『風』の両方に対して総合的かつ大規模な模倣を行った例は、〔2組〕に属する「成長中の村上チルドレン作家」に至って初めて見られる傾向である。

次に紹介する孔亜雷の『不失者』も、村上の『世界の終わり…』、『羊』などに対する模倣の代表的な実践例である。

孔亜雷は1975年、中国安徽省に生まれ、上海対外貿易学院を卒業後、銀行職員や新聞記者等の職を経て、現在は専業作家および翻訳家として活動しており、彼の短編小説は『収穫』、『人民文学』などの著名な文芸誌に散見され、また翻訳書にはポール・オースター (Paul Auster、1947～) の『幻影書 (邦題：幻影の書)』(2007年) や北島との共訳であるレナード・コーエン (Leonard Cohen、1934年～) の『渴望之书 (原題：Book of Longing)』(2011)、そして林少華との共訳である村上春樹選訳集『生日故事集 (原題：バースデイ・ストーリーズ)』(2012年) などがある。自作としては、2013年刊行の短編集『火山旅館』(浙江文芸出版

¹⁰ 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』109-111頁。

¹¹ 原文「好像…太阳系中的星球全部都包在大气层中那样舒服。」忘却魚鱗『關於彼岸的一切』220頁。

¹² 『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』334頁。

社)と長編デビュー作『不失者』(上海訳文出版社、2008)がある。

興味深いことに、この孔亜雷にとってデビュー作となった長編小説の帯には「中国の村上春樹(原文:中国的村上春樹)」という一文が本の題名より大きく書かれ、更にその下には林少華による、『羊をめぐる冒険』や『ねじまき鳥クロニクル』と比肩し得る不思議な小説。…『世界の終わりとハードボイルドワンダーランド』など、より村上春樹文学の本質を具えた作品を連想させる。¹³という非常に読者の興味を引くようなコメントも載っている。

『不失者』はある秘密組織に意識をコントロールされ、いろいろと悪用されてきたことに29歳までまったく気づかず生活してきた「僕」が、ある日「混血ガール(原文:混血女郎)」と「未来ガール(原文:未来女孩)」の出現によって真相を知り、組織のコントロールから脱するために未来ガールと共に様々な冒険を経験するが、結局組織の手の平の上で空回りしてしまう。そして最後にはいつも任務完了時にされる通り、脳内のデータをすべて消されてしまい、以前の何を何も記憶しないまま次の任務に突入するという、いわゆる「不失者」として生き続けるという物語である。このようなプロットの設定が、『世界の終わり…』における「ハードボイルド・ワンダーランド」の部分で描かれた、「システム」と「ファクトリー」にかかわるシャフリングができる計算士の「僕」が、「老博士」から聞いた自らに仕掛けられた「装置」の謎を究明するために、老博士の孫娘である「太った娘」と共に「やみくろ」と戦いながら大冒険をするというプロットに類似していることは言うまでもない。さらに「不失者」である「僕」がしばしば夢に見る、「世界の終わり」に相当する「キャロル宇宙(原文:卡羅爾宇宙)」にある神秘的な島や、小説冒頭に登場する羊男役の「赤い兎(原文:紅兎)」との会話、『ねじまき鳥クロニクル』の間宮中尉に相当する「迷宮マニアの老人」から聞いた

¹³原文「中国的村上春樹。一部堪与《寻羊冒险记》和《奇鸟形状录》相媲美的奇妙小说(中略)令人想到《世界尽头与冷酷仙境》等更具村上春樹文学本质的作品」『不失者』上海譯文出版社、2008年。帯。

戦争の記憶、『羊』の「海豚ホテル」に相当する「いるか街道（原文：海豚大道）」にある無名のホテルで起きた事件、そして、マイルドセブン、青い象、火星人など、村上春樹独特の要素や、更に林少華の村上翻訳文体さえもが継承され、それらが作品の中にたっぷりと反映されている。

このように宣伝から中身に至るまで村上作品の大集合といった観を呈している『不失者』に対する読者の反応には、批判的なものも多かった。たとえば、「豆瓣網」では、「この本の言葉、文字から構造また題名に至るまで、ほんの少しでも作者のオリジナルのものはあるか？すべての細部が模倣から来たもので、すべてに原型を見つけることができる。この意味では孔亜雷の創作レベルは中学生と変わらない、他人の真似に慣れてしまって、自分ではそのことに気づかないのだ」¹⁴、「拙劣な模倣、例え村上派が必要だとしても、このような形式的にわざわざ飾り立てた村上派はいらない。施蛰存先生と穆時英先生の日本の新感覚派に対する模倣のように、模倣するのは趣であり、形ではない」¹⁵などの厳しい意見が見られる。

ところで、「豆瓣網」における『不失者』の「読書人数」（算出方法については後述する）および書評数をチェックしてみると、本書が2008年5月に刊行されて以来、2015年12月までの約7年間で、読んだ人数は僅かに715人であり、書評も32篇しかない。前述した〔1組〕に属する同じ村上チルドレン作家の慶山による最新長篇『春宴』は、刊行から3ヵ月にも満たないうちに、「豆瓣網」における「読書人数」は4490人に達

¹⁴原文「这本书 从语言、文字到结构哪怕书名 有哪怕一点点是作者的原创么？所有的细微末节都来自模仿，都能够找出原型。从这个意义上来说孔亚雷写文水平跟初中生无异，习惯于抄袭而不自知」「豆瓣網」書評「順從、無異於自我泯滅」に対するコメント、2008年7月11日御堂柴、<http://book.douban.com/review/1434599/>（2016年6月17日に最終閲覧）

¹⁵原文「拙劣的模仿，如果需要村上派，也不需要这样从形式上刻意雕琢的村上派。就如同施蛰存先生和穆时英先生对日本新感觉派的模仿，模是模神，而不是形」同上書評コメント 2009年3月25日、涼。（2016年6月17日に最終閲覧）

し、書評は 274 篇¹⁶を数える。この二作品の注目度を比べれば、『不失者』が読書界ではそれほど成功した村上の模倣作品と評価されてはいないと言えよう。

ちなみに、孔垂雷は 2008 年 6 月の『杭州日報』によるインタビューで自らの村上初読書体験について下記のように答えている。

「(1998 年に) 僕が読んだ最初の村上春樹作品は『ダンス・ダンス・ダンス』で、それは僕の人生観を変えた。つまりこの社会で生きていくうえで、如何に人を傷つけず、人に傷つけられもせず、自分で満足して生きて行くかということだ。村上春樹のような生活スタイルや価値観は、現代の都市青年たちの虚弱な自我を守ることができる。彼は大きな組織の中で仕事をし、金を稼がなければならないけれども、好きな本を読むことも好きな音楽を聴くこともできるし、友達すらいなくてもいい。村上春樹は我々に、どうやってこのような孤独、つまり本質的で紛らわすことのできない孤独に耐えるかを教えてくれた」¹⁷

更に、村上春樹は自分にとって文学における「父親」であると告白している。このような、自分の創作における村上春樹からの影響について明確に述べると言う態度は、前述の〔1 組〕とはかなり異なっている。

林少華の推薦を受けたもう一人の村上チルドレン作家李修文の長編処女作『滴涙痣』(中国青年出版社、2002 年)の舞台は東京で、十数年前

¹⁶ 2011 年 10 月 26 日零時までのデータ。

¹⁷ 原文「我看的第一本村上春树的书是《舞舞舞》，它改变了我的的人生观，就是如何在这个社会上生存下去，不伤害别人，也不让别人来伤害自己，自得其乐地生活下去。村上春树的那种生活方式，价值观，能保护当代都市年轻人脆弱的自我。他必须要在大机构里上班，赚钱，但他可以看自己喜欢看的书，听喜欢听的音乐，甚至可以没有朋友。村上春树教会了我们怎么忍受这种孤独，可以说从本质上无法排遣的孤独。」「杭州作家推出新作被出版社称作“中国的村上春樹”」『杭州日報デジタル版』、2008 年 6 月 23 日、http://hzdaily.hangzhou.com.cn/dskb/html/2008-06/23/content_440921.htm。(2016 年 6 月 17 日に最終閲覧)

に日本で消息を絶った母を探すために、サーカスと共に東京にやってきたヒロイン「藍扣子」は、やっとのことで母の住所を見つけるが、その時には母はすでに再婚してほかの国に行ってしまった。在留期限が切れてしまった彼女は東京で不法滞在者となり、生活のために様々な困難を体験するうちに、日本に留学している「僕」と知り合い、二人は様々な愛や葛藤、危険を経験しつつ、最後には死別するという悲恋物語である。作者自身日本に留学した経験があり、『滴涙痣』の創作動機について、「それは空がとても青く、日差しがとても暖かい昼のことだった。僕は突然思った、もし今一人の18歳の少年が日差しの下に立っていたとしたら、何を考えるだろう？僕は僕の青春、僕の日本への旅を思い、何かを書きたくなった、それはこの経験に対する記念にもなるだろう」¹⁸と述べた。更に林少華による同書の序文では、「たとえば扣子にはかすかに『ノルウェイの森』の直子の投影が見えるように（中略）僕が翻訳した『森』とどこことなく生き写しのところがなくもない」¹⁹と評価された。内容を見ると、扣子はまるで緑の性格と直子の運命の集合体のようであり、更に、死者がたくさん登場する場面や、「僕」と扣子との紆余曲折したいきさつなどの設定にも『森』の影響が色濃い。『滴涙痣』は、あたかも中国人バージョンのワタナベ、直子、および緑が日本を舞台に演じる中国版の『森』であり、これがおそらく本書の特徴であろう。2009年に同書は『東京生死恋』という題名のドラマに改編され、人気タレントの黄聖依と郭家銘が主人公扣子と「僕」を好演した。

¹⁸原文「那是一个天很蓝、阳光很温暖的上午，我突然想到，如果此时一个18岁的少年站在阳光下，会想什么？我想到了我的青春，我的日本之行，我想写点什么，也算是对这段经历的纪念吧。」

<http://baike.baidu.com/view/679402.htm>（2016年6月17日に最終閲覧）

¹⁹原文「如扣子身上可以隐约窥见《挪威的森林》里直子的投影（中略）同我翻译的《挪威的森林》不无恍惚神似之处」李修文『滴涙痣』序文、中国青年出版社、2002年4月、3頁。

< 小結 >

前述の〔1組〕よりも約10年遅れて中国文壇に登場してきたこの3人の村上チルドレン作家は、〔1組〕とは異なり、発表した作品数が少なく、また何らかの形で村上春樹に頼りながら活動するタイプである。彼らは村上春樹から受容した様々な創作手法や文学要素などを、まだ十分に自分のものとして消化しきれないまま、文学創作に利用してしまい、そのために読者に新味を与えられず、人気を博するには至らなかったと考えられる。本論では、このようなデビューしてまもない、まだ独自の作風を模索中である見習い作家たちを、〔2組〕の「成長中の村上チルドレン作家」と設定した。

ちなみに、〔2組〕にはもう一つの、村上模倣の創作手法がある。それは村上作品の続編を創作することである。その代表例は『森』の続編として書かれた偽訳作品『ノルウェイに森はない（原題：挪威没有森林）』（遠方出版社、2004年。以下は『森はない』と略記する）である。この作品では架空の作者と訳者が設定されたり、甚だしくは出版社側が村上春樹の「神秘的愛人」や村上に対する「ラブレター」といったきわどい言葉を使って過剰な宣伝をしたりしたが、それは置いておくことにして『森はない』の内容にのみ注目すると、まさに藤井省三と比較文学研究者張競による分析のとおり、『森』の人物をそのまま登場させてはいるが、新しい人物の登場や内容の新展開も設けられ、物語の最後にレイコは再びピアノの教え子と同性愛事件を起こして精神病院に入院し、緑は自殺するなど独創的な部分もかなりあり、決して森の内容を単純に剽窃しているわけではない。このような作品を〔2組〕に入れる理由は、本章で紹介したほかの三人の作家と同じく、自作品の村上春樹との関係性を強調することによって読者を獲得しようとしている点に、共通性が認められるからである。彼らの中からは、いつか村上春樹に対する模倣、ある

いは村上の影響から脱し、自分の作風を確立して再創造をなし遂げ、
〔1組〕へとレベルアップする作家が現れることであろう。

第4章 書き込みサイトの読者による村上受容―

「豆瓣網」の調査を中心に

本章では、「豆瓣網」ユーザーのうち、特に本論で設定した〔3組〕を対象として実施したネットインタビューの結果について考察したい。前述したようにインタビュー実施期間中の2011年9月5日0時～2011年10月5日24時（31日間）に回収することのできた、比較的完成度の高い100人分の回答を、「回答者の基本状況」および「村上読書初体験」の二つの部分に分けて、〔3組〕の村上読書歴および村上文学の受容状況について考察する。また第1章と第2章で取り上げた〔1組〕と〔2組〕との間の影響関係性をも検証する。更に、「豆瓣網」上に公開された各種のデータを活用して「書き込みサイト「豆瓣網」における村上文学の読書人数グラフ」を作成することによって、「豆瓣網」読者ユーザーに代表される中国人読者たちの、村上の現在の受容傾向を可視化する。そしてユーザーたちの書評やコメント¹を利用して、グラフの成因に対する分析を試みたい。

4-1 「豆瓣網」ユーザーとしての村上チルドレン愛読

者の村上受容

本題に入る前に、まず「豆瓣網」について簡単に紹介したい。現在中

¹ 「豆瓣網」ではユーザーたちの著作権を保護するために、オリジナル批評文を引用する際に著者の使用許可をもらう必要があると規定されている。ただし、批評（本論では主に「豆瓣読書」の書評を使用する）に対するコメントの引用について現時点ではまだ自由なので、本論では「書評」と「コメント」の言葉を使い分けしたい。

国で非常に人気を集めている書き込みサイト「豆瓣網」の前身は、2004年10月に楊勃（よう・ぼつ）が立ち上げた、「驢宗」という主に旅行情報を提供するサイトであった。2005年11月に会社本部が上海から北京の朝陽門外にある豆瓣胡同へ引っ越したことをきっかけに、会社所在地の地名を使った「豆瓣網」に改名している。会社の運営内容も、以前のような旅行情報の提供を中心とするWebから、書籍・映画・音楽に対する批評や個人ブログなどの書き込み機能を充実させ、文学・生活・エンターテインメントなど様々な分野での交流ができるプラットフォームをユーザーに提供するWeb2.0²サイトにアップグレードした。現在では、各大手ネット書店との提携により書籍の売り上げを分け合うこと、また広告から収益を得ることを経済的な支えとしており、中国の若い世代、特に「70後」「80後」に広く知られた人気文化交流ネットとなっている。³

4-1-1 豆瓣網ユーザーとしての村上チルドレン 愛読者に対する村上読書歴のアンケート調査

本節で紹介するネットユーザー読者に対するアンケート調査は、前述した〔3組〕の中から、村上作品を5冊（中国語の繁体字版・英訳本も含む）以上読んだことがあり⁴、且つ村上作品に対する書評1篇以上を公表したことのある240名の読者ユーザーをランダムで抽出し、インターネットを通じて行ったものである。締切日の2011年10月5日24時まで回収できた106通の回答の中から、より完成度の高い回答100通を選

² 従来Web上で提供されてきたサービスやユーザー体験とは一線を画する、新しい発想によって捉えられた、技術、サービス、デザインパターン、ビジネスモデル、Webのあり方などの総称である。Webとのもっとも大きなちがいの一つは、ユーザーによって自由に書き込んだり、ページをアレンジしたりすることができることである。

³ 「豆瓣，一个“乌托邦”怎么赚钱」『南方週末』2013年11月21日

⁴ 「豆瓣網」における各ユーザーのスペースに入ると、本人が読書した書籍や鑑賞した映画等の記録をチェックすることができる。本論では、以上の基準に従い、調査対象を選出することにした。

出し、その 100 名の回答者を〔3 組〕の代表者として、「「豆瓣網」ユーザーとしての村上チルドレン愛読者」の村上文学の受容状況を考察した。代表者グループ 100 人による回答データを、回答者の基本情報および村上読書初体験の二つの観点から整理した結果、以下のような状況を把握することができた。なお、序章で述べているように、このようなインターネットを通じて行ったインタビュー調査の調査回答の保管に関しては、全てについてフルスクリーンカットを行い、画像として保存している。調査の回答内容については、【付録 1-回答者の基本情報】および【付録 2-回答者の村上春樹読書初体験】に分けて詳しく記録している。

調査結果について、まず回答者の基本情報を見ると、回答者の男女比率は 47 : 53、2011 年 5 月に中国の専門アンケート調査サイト「問巻星」で行った「豆瓣網」ユーザーの男女比率が 19 : 81 であること⁵と比較すれば、「豆瓣網」における村上チルドレンの男女比率はほぼバランスが取れていると判断できよう。ユーザーの年齢層は 20 代～30 代に集中し（回答者の 97%を占めている）、出身地は、中国で通用されるとおり秦嶺山脈と淮河を結ぶ「秦嶺・淮河線」を南北の境界基準に定めると、北部の出身者が 35 人であるのに対して、南部の出身者はその約二倍の 65 人であった。その内訳は【表 4-1-1（ア）】の「出身地」欄のとおりである。

職業に関して、最も多いのは学生（29 人。大学院生および海外にいる留学生も含む）であり、その数は回答者全体の 3 割弱を占めている。その次は会社員（18 人）であるほか、IT 関係者、メディア関係者、編集者等、下記【表 4-1-1（イ）】の表示のように並んでいる。彼らの回答当時の所在地の多くは北京・上海・広州・香港のような大都市、あるいはそれらの衛星都市（たとえば杭州、蘇州、深圳など）や海外の先進国であり、まさに村上作品の中に描かれているような都市生活が展開されていきそうな場所である。

⁵ 「問巻星」における調査アンケート〈豆瓣用户对豆瓣网使用情况调查〉
<http://www.sojump.com/jq/730003.aspx>

【表 4-1-1 (ア)】 回答者出身地/回答時点の所在地/村上読書の初体験地の内訳一覧表 出典：2011年10月5日24時までの回答データをもとに作成

	都市名	出身地 (人)	所在地 (人)	初体験地 (人)		都市名	出身地 (人)	所在地 (人)	初体験地 (人)
北部	北京	7	20	13	南部	上海	13	17	16
	遼寧省	7	3	7		湖北省	6	2	7
	吉林省	2	0	2		湖南省	3	1	1
	山東省	6	2	5		江蘇省	6	3	5
	内モンゴル	0	1	0		広東省	4	9	9
	河北省	2	0	2		広西省	1	0	1
	河南省	3	2	2		浙江省	7	7	5
	天津	2	0	1		江西省	5	1	1
	陝西省	2	2	2		福建省	2	1	1
	黒竜江省	2	1	2		四川省	4	2	4
	甘肅省	1	0	1		重慶省	0	2	0
	チベット自治区	1	0	0		安徽省	6	2	5
						雲南省	1	0	1
						海南省	2	1	2
				貴州省	1	0	1		
				香港	4	4	3		

北 合 計				南 合 計				
	35	31	37		65	52	62	
					アメリカ	0	4	1
	中国	0	4	0	イギリス	0	2	0
					ドイツ	0	1	0
					フランス	0	3	0
	無回答	0	1	0	ニュージー ーランド	0	1	0
					日本	0	1	0

【表 4-1-1 (イ)】回答者の職業一覧表

職業	人数(人)	職業	人数(人)
学生	29	公務員	3
会社員	18	無職	3
IT関係	8	翻訳関係	2
メディア関係	9	教育関係	2
出版関係	6	フリーター	1
ファッション関係 (デザイナー等)	4	医療関係	1
金融関係	3	無回答	11
合計	100		

後述するように、実際には、彼らの村上読書の初体験地は必ずしも現在生活しているような大都市ではない。たとえば、調査当時北京で編集者として働いていたユーザー名「李普曼」⁶（27歳、男性）の回答によれ

⁶ 「李普曼」の基本情報および彼による回答内容の詳細を【付録1-回答者の基本情報】と【付録2-回答者の村上春樹読書初体験】の「調査番号：110915-34」を参照されたい。

ば、彼の村上読書初体験は、高校2年生（2000年）の時、河北省安国市で読んだ『森』であった。ちなみに、15,848 km²の土地面積および1016万3788人⁷の人口を有する河北省の省都石家荘市と比べて、安国市の人口は石家荘市の4%（40万人）に満たず、土地面積は486 km²にすぎない。更に安国市市政府のホームページで公開されている情報によれば、同市は1991年に県から市に昇格し、1996年に目標より1年早く「小康」⁸の生活水準に達した⁹とあり、このような状況を鑑みて、李普曼はこの小規模な発展途上地域で、2000年当時、つまり小康の生活レベルに達した4年後に『森』を読んだのであり、当時の李普曼はワタナベと同世代ではあったものの、同作に描かれている恋愛や、生活スタイルは、李自身の体験とは大きく異なっていたことだろう。実際李普曼は今までに読んだ中国で刊行された全ての村上作品の中で、『森』を最愛の一冊として挙げており、その理由として作者による個人主義についての描写のほか、ワタナベの雰囲気（話し方や物事に対する態度）に傾倒しているため¹⁰と答えている。

李普曼は「豆瓣網」スペース（※個人HPの一種）に『森』の書評を書いて、次のような感想を述べている。

「僕は7年前にこの小説を読み、当時これは青春小説として僕の視野に入ったが、ホルモンに関する要素を除いて、僕はすぐこの小説を好き

⁷ 中国河北省石家荘市の公式HPによる数字である。

<http://www.sjz.gov.cn/>

⁸ 「小康」とは人間が最小限必要とする衣食住、教育、保健等を満たした上で、ある程度の文化と余暇水準を保てるような生活水準、いわゆるややゆとりのある生活状態を言う。2001年に江沢民総書記は、小康の初期段階が中国ではすでに達成されたとし、2010年までに「全面的な小康社会」を建設するという目標を掲げた。（「お役たち辞書」を参考にした。

<http://www.enjoy-1.com/K/SJ/00126.html>

⁹ 中国河北省安国市の政府公式HPに掲載されている「安国市概況」を参考にした。<http://www.anguo.gov.cn/>

¹⁰ 李普曼による回答の原文は「其对个人主义的刻画（中略）喜欢文中的那种调调，说话也好，做事也好。」

になった。その時の僕は高校二年生になったばかりで、大学に関するさまざまな夢を見始めていたが、中でもワタナベトオルの大学生活は僕の憧れるうちのひとつだった。そのほかに、当時の僕を惹きつけたのは何よりも村上春樹の文体だった。当時『老人と海（邦題：老人と海）』や『欧也妮・葛朗台（邦題：ウージェニー・グランデ）』などのように決まりきった文体で書かれた小説を読み慣れていた僕は、すぐに村上春樹の文体のとりこになった。あの淡淡として、どうしてもよさそうな、ほとんど声の抑揚や抑揚の変化がない口ぶりは、当時の僕にとって模倣の对象となった。（※傍点は筆者による。）（中略）僕はこの小説を読むたびに、いつも声に出して読んでみたのは、自分がワタナベ、あるいは村上春樹であるとしたら、自分はどうやってこの会話を演出すべきだろうかと考えていたからだ」¹¹

以上の記述を見る限り、『森』は当時の李普曼に大きな衝撃を与えたと言えよう。前述のように、李普曼はインタビューを受けた時に北京で勤務していた。本人がふるさとの河北省安国市から北京に転居した理由は語られていないが、曾て『森』から受けた感動を忘れられず、憧れていたワタナベのような生活を送ってみようと思っ、北京にやってきたというのが北京転居の理由の一つである可能性も考えられるだろう。ちなみに、2011年10月1日までのデータによると、「豆瓣網」のユーザー保

¹¹ 原文「我是在七年前看到这本小说的，当时它是以青春期读物的类别进入我的视野的，但是剔除掉荷尔蒙的因素后，我迅速的喜欢上了这本小说。那时候我刚刚上高二，开始做各种各样的大学梦，其中渡边彻的大学生活成为我想像中的一种。除此之外，那时候吸引我的只有村上春树的语言。那时候看惯了《老人与海》、《欧耶尼·葛朗台》等这样中规中矩说话的小说之后，我迅速的被村上春树的语言所俘虏。那种淡淡的、无所谓的、几乎没有抑扬顿挫的口吻成为我那时候模仿的对象（中略）我在每次阅读这本书的时候，总是会尝试着读出声音来，我假设我是渡边彻或者我是村上春树，我该怎么演绎这段对话呢？」「豆瓣網」書評『挪威的森林七年祭：我比渡边彻早了十年回憶直子』、2007年11月12日、李普曼 <http://book.douban.com/review/1238301/>（2016年6月17日に最終閲覧）

有人数はすでに 5386 万人¹²を超えていた。このような膨大なユーザーの中で、李普曼は本論の調査対象者として偶然に選ばれた一人にすぎない。しかし中国で彼のように、高校時代の村上読書体験から得た感動や憧れを持ち続けながら、ふるさとを離れて大都市で暮らし、村上読者の一員として夢を綴り続けている人は、おそらく少数ではないだろう。

続いて、回答者の村上読書初体験についての調査結果を見てみたい。この部分では、筆者が調査対象の村上読書初体験に対して、年齢、場所、作品名およびその作品を選んだきっかけという 4 つの質問を設け、そのうち年齢に関しては、6 歳で小学校入学という中国の現行学制に則って、6:3:3:4 という一般的なパターンに基づき五段階に分けて統計を取った。その結果、無回答の 1 人を除いて、「6 歳～11 歳」（小学校に相当する）が 0 人、「12 歳～14 歳」（中学校に相当する）が 19 人、「15 歳～17 歳」（高校に相当する）が 26 人、「18 歳～21 歳」（大学学部に対応する）が 43 人、そして「22 歳～」(大学学部卒業以上に相当する)が 11 人であった。18 歳～21 歳の間に初めて村上作品に接触した人が回答者の半数近くを占めることがわかったのである。ところで、彼らの村上初読書年齢と現在の年齢からそれぞれの村上初読書年を算出してみると、回答した 99 人のうち、A「1989 年前後」が 3 人、B「1996 年～2000 年」が 28 人、C「2001 年～2005 年」が 44 人、D「2006 年～2010 年」が 24 人という結果になった。ここで、第 1 章で述べた前 3 回の村上ブームが起きた年を想起したい。第 1 回目の 1989 年を除き、1998 年と 2007 年をそれぞれ軸として、その前後 2 年と合わせて 5 年間を一まとまりと考えると、最も人数が集中している C 段階は、興味深いことに、ちょうど 2 回目と 3 回目の村上ブームに挟まれた時期である。

実はこの「01 年～05 年」の C 段階は、ちょうど、1-1 で紹介したように出版側の版元変更に伴って、新しく著作権を取得した訳文刊行の『村上春樹文集』『同系列エッセー』によって、村上作品が全面的に中国の村上

¹² 「豆瓣網」の公式 HP (<http://www.douban.com/>) による数字である。

読者に紹介された時期なのである。よって、計 4 回の村上ブームをそれぞれ含む A, B 段階が中国の村上読者にとって『森』を中心とする「『森』の読書時代」であったとすれば、C 段階に至って「全作品読書対象化の時代」に入ったと言えるだろう。その後、D 段階になると、C の「全面」読書を継承しつつ、『1Q84』の刊行に伴い、『森』とともに、再び読者の注目は「点」に集中することとなった。このように、中国の村上読者の村上作品に対する注目の方式は、曾ての『森』ばかり読んでいた「点」から、ほかの作品も全面的に受け入れようとする「面」、更に「面」における複数の「点」へと発展したと理解できよう。

次に村上読書初体験の場所についてであるが、【表 4-1-1 (ア)】の「初体験地」欄で表示されているように、上海 (16 人)、北京 (13 人)、広東 (9 人)、遼寧・湖北 (それぞれ 7 名)、および山東・浙江・江蘇・安徽 (それぞれ 5 名) がトップ 5 となっている。そのうちトップ 3 である上海、北京、広東を除外し、残りの 6 省について市・県レベルまでの内訳¹³をみると、湖北省咸寧市嘉魚県¹⁴と山東省沾化県¹⁵を別として、9 割以上が人口 100 万人を超える地域だとわかった。全体的に見て、南部と回答した人数 (62 人) はやはり北部 (37 人) の約二倍となっている (アメリカの 1 名を除く)。なお、村上読書初体験地域について、上海対北京の 16:13、および両都市出身者数の 13:7 というデータからは、藤井省三による「台湾→香港→上海→北京」という中国語圏における村上春樹受容の「時計回りの法則」¹⁶が想起される。

¹³ 遼寧省 7 名のうち瀋陽 (3) 大連 (2) 本溪 (1) 鉄嶺 (1)。湖北省 7 名のうち武漢 (5) 麻城 (1) 咸寧市嘉魚県 (1)。山東省 5 名のうち青島 (2) 高密 (1) 沾化 (1) 無回答 (1)。江蘇省 5 名のうち淮安 (2) 南京 (1) 蘇州 (1) 無錫 (1)。浙江省 5 名のうち杭州 (2) 舟山 (1) 寧波 (2)。安徽省 5 名のうち合肥 (2) 宣城 (2) 淮南 (1)。

¹⁴ 湖北省東南部に位置し、総面積は 1017 km²、人口 36 万の地域。嘉魚県政府 HP: <http://www.jiayu.gov.cn/>

¹⁵ 山東省東北部に位置し、総面積は 2215 km²、人口約 40 万の地域。沾化県政府 HP: <http://www.zhanhua.gov.cn/>

¹⁶ 藤井省三『村上…中国』、77 頁。

初めて読んだ村上春樹作品は、『森』（65人）、『海』（7人）、『風』（6人）、『世界の終わり…』（4人）、『象』（4人）、『羊』（3人）、『国境の南、太陽の西』（3人）、『スプートニクの恋人』（3人）のほか、『ダンス』・『ピンボール』・『東京奇譚集』・『100%の女の子』・『1Q84』Book1がそれぞれ1人という結果になっている。『森』と答えた回答者が圧倒的に多いのは言うまでもないが、それに次いで『海』を選んだ回答者が多い理由は、後述するように、中国の村上読者のなかで『森』の次に人気のある作品がこの『海』だからである。その人気度は『森』には遠く及ばないものの、「豆瓣網」における『海』の読書人数の多さ、および前述のC段階に『海』の刊行年が含まれているという点からは、中国の村上読者の中には『海』から村上春樹を受容し始めた読者も少なからず存在することが理解できよう。なお、最後の質問である初村上読書のきっかけについては、6割強の回答者が「メディアによる宣伝」および「友だちの紹介」と答えている。

このように〔3組〕の村上チルドレンの中には、村上文学を受容する過程で、自分も村上作品を手本として小説を書こうという意を表した人が何人か現れており、それを実際に実践した人もいる。

4-1-2 豆瓣網ユーザーとしての村上チルドレンによる『ノルウェイの森』続編の創作—楊小湜の『ノルウェイの森2』

「豆瓣網」上の『森』に関する書評の中に、「村上春樹へのオマージュ！長年が過ぎたが、私は依然としてノルウェイの森で彷徨っている（原題：向村上春樹致敬！許多年過去了、我依旧迷失在挪威的森林中！）」¹⁷という1篇がある。作者の楊小湜は書評の冒頭で、自身が1年をかけて創作

¹⁷「豆瓣網」書評「向村上春樹致敬！許多年過去了、我依旧迷失在挪威的森林中！」、2010年4月1日、楊小湜
<https://book.douban.com/review/3134511/>（2016年6月17日に最終閲覧）

した『森』の続編である『ノルウェイの森 2』（以下『森 2』と略記する）へのリンクを公表した。¹⁸このリンクをクリックして「騰迅読書網」¹⁹上のオリジナル小説創作サイトに移動すると、表紙の写真と「村上春樹最經典作品続：挪威的森林 2」というキャッチフレーズが真っ先に目に入る。その様子は一見して市販の出版物とほとんど変わらないが、実はこのサイトで発表されたすべてのオリジナルネット小説は、このようなホームページ作りによって刊行物風に演出されている。これは作者にも読者にも自分がまるで本物の書籍を扱っているかのような満足感を与えるためであろう。

『森 2』は全 6 章、31 節の、約 7.5 万字からなる小説であり、原作の登場人物を引き継いで、ワタナベ、緑、レイコ、永沢、そして緑の姉の小林秋子、姉の恋人の田中太郎および緑の元恋人の赤木田光も登場する。この三人は原作の中で主人公たちの会話を通してその存在を示されたが、独立した登場人物として現れることはなかった。『森 2』では、彼らにフルネームが与えられ、ワタナベとの会話シーンも設定された。

物語のあらすじを簡単に整理してみると、緑との再会→緑を失望させる→緑からの手紙を発見、二人はいったん連絡を断つ→レイコに手紙を出す→永沢に会い、悩みを打ち明けた後には楽な気分になる→レイコから返事が来る→バーの女の子とセックスする→旭川へレイコに会いに行くという順序になっている。

ただ『森 2』の最後ではワタナベとレイコが旭川の療養所で散歩するところで物語が突然途切れてしまうのだが、それは作者が読者に想像の余地を残すための工夫なのか、あるいは実は物語は未完成であるのかという点については不明である。ただここまでの展開を見る限り、『森 2』

¹⁸ 楊小渥『ノルウェイの森 2』

http://bookapp.book.qq.com/origin/workintro/117/work_2172021.shtml

¹⁹ 1998 年 11 月に深圳で創立された中国大手インターネットサービス会社「騰迅網」が提供している、書籍情報の交換や、オリジナル小説の発表の場として活用されているサイトである。<http://book.qq.com/>。

は同じく『森』に対する続編である前掲の『森はない』と非常に類似している。

『森はない』はまえがきとあとがきを除いて全 11 章からなり、『森 2』の二倍近くのおよそ 15 万字に及んでいる。『森はない』の第四章でワタナベが旭川へレイコを訪ねて行くまでのあらすじをまとめると、緑との再会→緑を失望させる→緑から置き手紙を残されて、いったん連絡を断つ→レイコに手紙を出す→永沢に会い、心のトラウマを打ち明けられる→永沢と売春婦を買う→レイコから手紙が来る→旭川へレイコに会いに行くという順になっている。『森 2』の流れと比べれば、永沢と会った時にどちらが悩みを打ち明けたかということ、また「レイコからの手紙」と「売春婦を買う」との順番が相違していること以外は、ほぼ瓜ふたつと言ってもよいほど類似している。

楊小湜が 2010 年 4 月に発表したブログの文章「一年近くかけて書いた小説がついに完成しようとしている」²⁰から推測すれば、『森 2』の創作年は 2009 年である可能性が高い。つまり 2004 年 5 月に遠方出版社が出版した『森はない』より 5 年近く遅いのである。更に楊小湜は今回の続編の創作について自分のブログで下記のように述べている。

「ずっと『森』を読み返しているが、この小説を書いているときも、実は意識的に村上先生をまねしていた。なぜなら僕は確かに彼のこの小説が非常に好きだからで、最低 30 回以上は読んでいる。今でも毎晩時々手にとって、適当にページをめくることにしている。読むたびに、感想は違うのだ」²¹

²⁰ 原文「写了将近一年的小说终究要尘埃落定了」
<http://yangxiaonie.qzone.qq.com/#!>

²¹ 原文「一直在反复的看挪威的森林，在写这篇小说的时候，其实也是有意的模仿村上先生的。因为我确实非常喜欢他的这篇小说，看过绝对不少 30 篇。现在每天晚上还会经常拿来，随手翻上几页。每次看，感觉都会不同。」
<http://review.book.qq.com/tie/69937840.html?ch=tie.xg.bottom> (2015 年 12 月 12 日に最終閲覧)

この告白のような記述からは、彼が相当な『森』愛読者であることが読み取れる。楊小湜の豆瓣スペースには彼が『森はない』を読んだという記載はないが、これほど熱烈なファンである以上、当時話題になった、いわゆる村上春樹の「神秘的愛人」による作品に目を通した可能性は非常に高いと考えられる。そうであるとすれば、『森2』の誕生は、動機的には楊小湜本人の告白通り村上春樹に対するオマージュ的な模倣であるが、手法的には〔2組〕の村上チルドレン作家であると言える実在しない福原愛姫に対する模倣と言ってもよいだろう。すなわち二重の模倣が行われているのである。

ちなみに、2015年9月にまで楊小湜は中編小説2編、および個人コラム文10篇を「豆瓣閲読」で発表し、現在「豆瓣網」の専属ネットライター、いわゆる「豆瓣閲読作者」²²として創作活動を精力的に展開している。

4-2 「豆瓣網」に見る中国における村上文学の受容

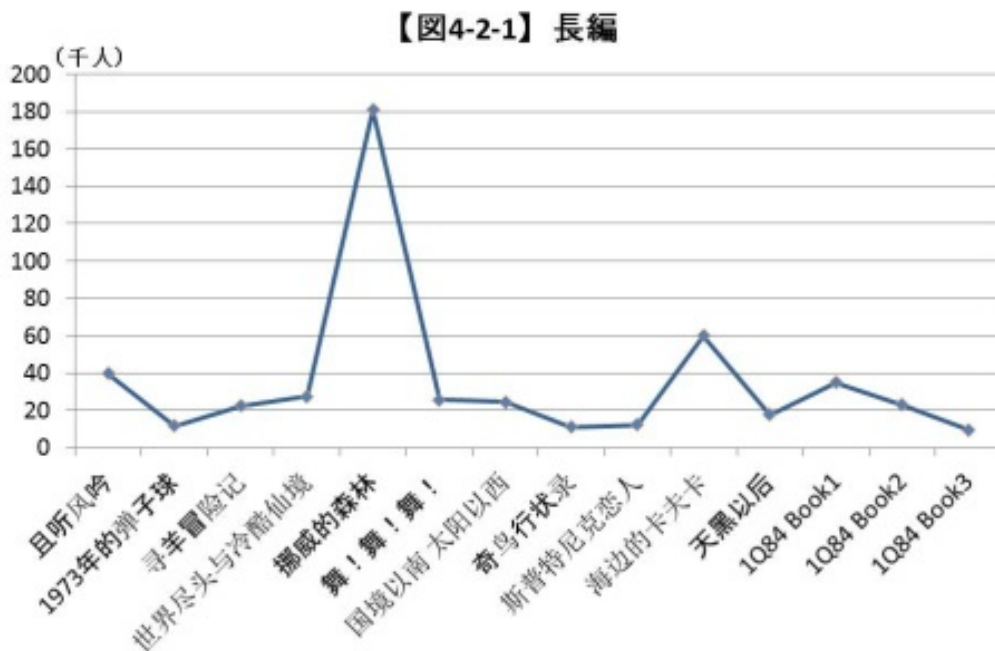
実際に「豆瓣網」で書籍を検索してみると、ユーザーによる批評以外に、当該書籍の読書人数や読者レビューなどのデータを検索することもできる。たとえば2001年上海訳文出版社刊行の『森』（全訳本）を例にとれば、2011年10月1日までのデータを見ると、当書を「読んだ」と答えた読書人数は16万6557人であり、レビュー10点満点のうち7.9点と評価されているのである。

そこで筆者は「豆瓣網」公表の各種データを活用しつつ、中国で刊行された村上翻訳作品を「長編」、「短編集・超短編集」および「エッセー・その他」の三つのジャンルに分類して、3回の調査に渡って収集できたデータに基づき、「豆瓣網」における村上文学の読書人数グラフ群を作成

²² 豆瓣網に専属するネットライターのことである。

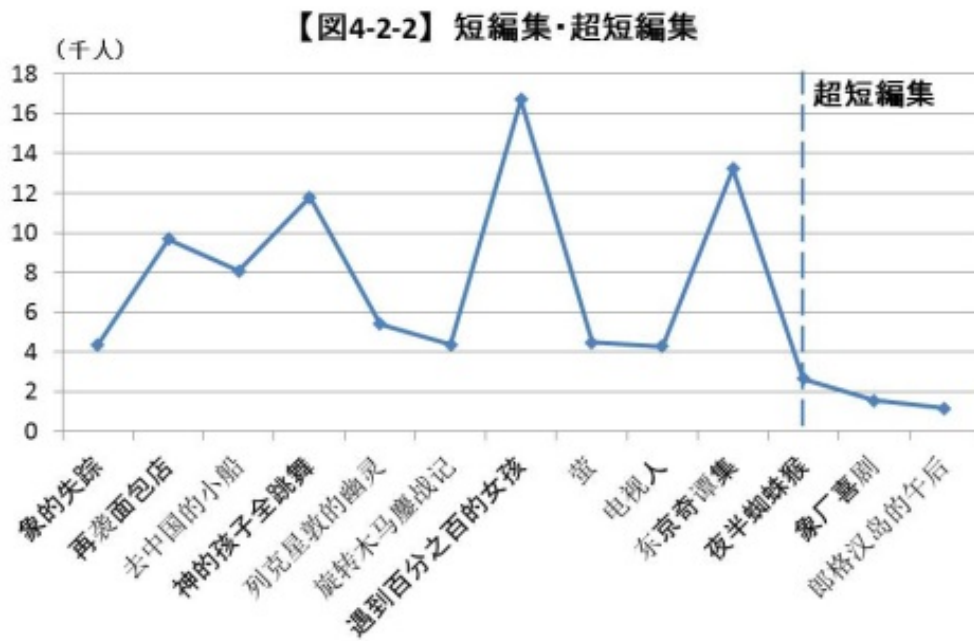
した。²³

下記の【図 4-2-1】～【図 4-2-3】は、中国最初の村上作品が刊行された 1989 年から、本調査の一回目が終了した 2011 年 5 月 1 日までの計 38 点の村上翻訳作品を対象とする「豆瓣網」ユーザーによる村上読書状況を示されているものである。(※各グラフの内訳は論文最後の【付録 3【図 4-2-1】～【図 4-2-3】の読書人数内訳対照表】を参照されたい)

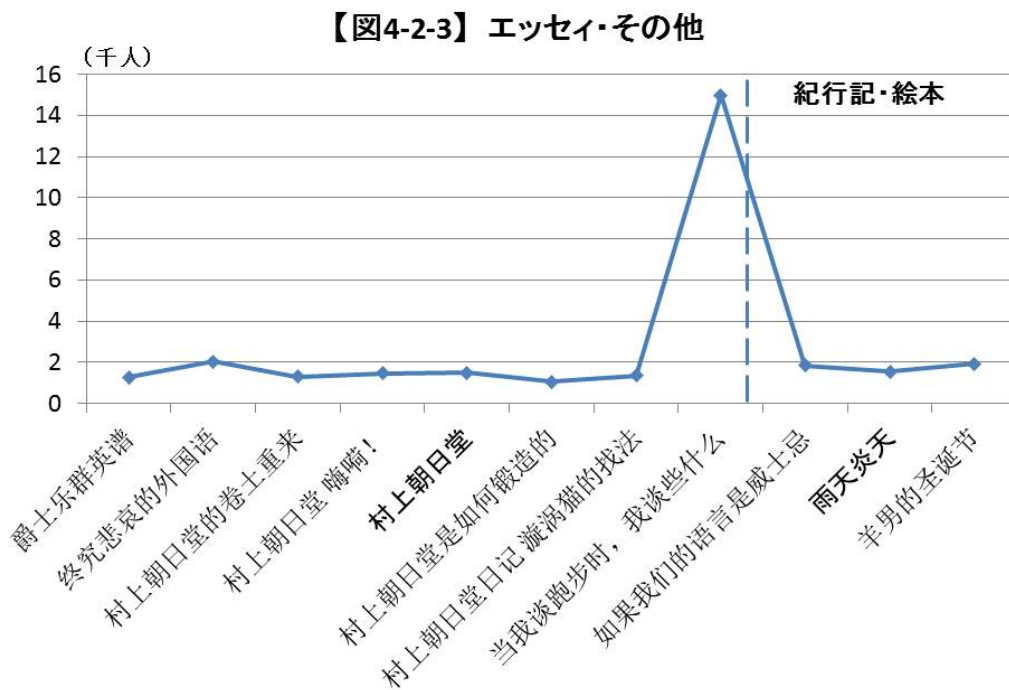


出典：2011 年 5 月 1 日までの「豆瓣網」データをもとに作成

²³ このグラフ群は「豆瓣網」に公開された各種データをもとに作成したものである。横軸は中国で刊行された村上文学の中国語訳の作品名からなり、縦軸の数値は作品の版本ごとの読書人数が足し合わされたトータル値である。また、『森』を読んだ人数のトータル値はほかの作品とは桁違いに大きいため、ジャンルごとにグラフを三つに分けることにした。



出典：2011年5月1日までの「豆瓣網」データをもとに作成



出典：2011年5月1日までの「豆瓣網」データをもとに作成

グラフ群全体を観察してみると、長編 12 点中、2011 年 1 月に刊行されたばかりの『1Q84』Book3²⁴を除く 11 点の読書人数がすべて 1 万人を超えているのに対して、短編集・超短編集の 13 点およびエッセー・その他の 12 点の中では、1 万人以上に読まれた作品はそれぞれ 3 点と 1 点にすぎない。この状況からは、中国人読者たちが村上作品の長編をとりわけ重視していることが見て取れる。しかも長編の中でもっとも読まれているのは『森』であり、読書人数はなんと 18 万 820 人と、ほかの作品とは桁違いの大人気ぶりが示されている。これは前述の 4 回に渡る村上ブームおよび藤井省三による東アジアでの「森高羊低」²⁵法則を想起させるものでもある。

続いて三つのグラフを個別に見ていくと、まず「長編」において、『森』を含む最も読まれている作品のトップ 10 は下記の【表 4-2-1】のとおりである。

【表 4-2-1】2011 年 5 月 1 日までの村上長編の読書人数 TOP10

出典：【図 4-2-1】のデータをもとに作成

1. 『ノルウェイの森』 180,820 人	6. 『ダンス』 25,699 人
2. 『海辺のカフカ』 59,920 人	7. 『国境…』 24,341 人
3. 『風の歌を聴け』 39,455 人	8. 『1Q84』Book2 22,988 人
4. 『1Q84』Book1 34,797 人	9. 『羊』 22,179 人
5. 『世界の終わり…』 27,382 人	10. 『アフターダーク』 17,396 人

²⁴ 調査終了時の 9,544 人に対して、2011 年 10 月 2 日 24 時にすでに 1 万人を超え、13,845 人となった。

²⁵ 藤井省三は、中国のほか、台湾、香港、韓国など村上文学が広く読まれている国や地域で最も人気があるのは『森』であるのに対し、『森』より 5 年早く刊行された『羊』は東アジア地域での翻訳が遅れ、『森』よりも人気度が低いという現象を「森高羊低」法則と名付けた。藤井省三『村上…中国』77 頁を参考にした。

第2位から第10位はどれも読書人数が1万人を超えているが、20万人近くの読者を有する『森』とは比べるべくもない。その原因を探るために、ユーザーたちの書評やコメントを見てみると、「『森』を読んで村上を好きになったが、彼のほかの作品を読んだら、ほんとにわからなくなってしまった」²⁶とのコメントがあるいっぽう、逆に、「昔（村上春樹）の『ノルウェイの森』を読んだ時には僅か13歳だったが、（中略）春樹はこのような作風の作家なのだと思った、その後彼のほかのいくつかの文章、特にこの『羊をめぐる冒険』を読んでからは彼を大好きになって、確かに5回は読んでおり、毎回物語に入り込んでしまう」²⁷のような発言もある。このような読者からのコメントを見ると、『森』はすでに中国の村上読者たちの村上作品受容における境界線になっていることが伺える。1989年漓江出版社から刊行された最初の村上作品である『森』は、中国人読者が初めて村上春樹という日本人の作家を知ったきっかけであり、更にその後起きた3回の村上ブームの主役でもあるため、「村上といえど『森』だ！」という先入観はすでに中国人読者の意識の中に固定されている。しかし、『森』は村上自身が全集の付録として付けられた「自作を語る」で述べているように、「（自作）の系譜上にあってはかなり例外的な、ある意味では「外伝」的な作品」である。²⁸従って、それに気づいた読者たちの間には、『森』に止まった人と『森』から出発する人という差別化が生じるであろう。いずれにせよ、ほとんどの読者の村上春樹に対する出発点は『森』であったために、【図4-2-1】のような折り線が出

²⁶ 原文「看了《挪》喜欢上村上，可是再去看他别的作品时，却真的看不懂了」（「豆瓣網」書評「別贸然喜欢村上」に対するコメント、夏梨。）

<http://book.douban.com/review/1006044/>

（2016年6月17日に最終閲覧）

²⁷ 原文「以前看他写的《挪威的森林》只有13岁，……以为春树是走这个路线的作家，后来读了他其他的几篇文章，特别是这个《寻羊冒险记》便开始大爱他，我确实读了五遍，每次都沉浸在故事中」（「豆瓣網」書評「我把这个故事读了五遍」、++++地下丝绒。）<http://book.douban.com/review/5066465/>

（2016年6月17日に最終閲覧）

²⁸ 村上春樹「自作を語る」Ⅶ頁

来上がっていると考えられる。

次に、「短編集・超短編集」の大きく波立つ形状のグラフにおいて、最大の波頭となっているのは『遇到百分之百的女孩（原題：カンガルー日和）』である。これは『カンガルー日和』の訳書に当たり、収録された短編「100%の女の子」の題名の一部を抽出して中国語版の題名としたのである。中国で刊行された村上作品を全体的に見れば、作品名は基本的に原作に忠実に翻訳されてきたのだが、『100%の女の子』がその唯一の例外であることは興味深い。最初に同書の題名が変更されたのは、1992年台湾時報版の『遇見 100%的女孩』においてであった。約10年後に同書は中国でも翻訳され、やはりこの訳題が踏襲されたのだが、それは訳文が台湾版を参照にしたものか、あるいはもうひとつ考えられる可能性として、漓江時代に出版された短編集『象』との題名上の類似を避けるためであったのかもしれない。

周知のように、『象』は漓江出版社が『中国行き…』や『TVピープル』、『回転木馬のデッド・ヒート』などの短編集から代表的な短編をピックアップし、更に『ピンボール』など初期の長編も入れて編集した、日本語版原作の存在しない傑作集のような短編集である。桂林漓江時代に二種類の版本が刊行されたが、それほど人気を得られなかったため、上海訳文社時代に入ってから再版されなかった。その代わりに、上海訳文社は原作に忠実に短編集を一点ずつ翻訳・刊行したのだが、『カンガルー日和』については、昔の『象』と同じ動物に関する作品名はやめて、もっと読者に新味を与えられそうな、ロマンチックな雰囲気漂う『100%の女の子』にしたと考えられる。このような工夫により、『100%の女の子』は結果として村上短編集の中で最も読まれているヒット作に押し上げられた。それと同時に、中国の人気歌手老狼の「百分之百的女孩（百パーセントの女の子）」という題名を持つ名曲が生まれるほどに、大きな影響を与えている。

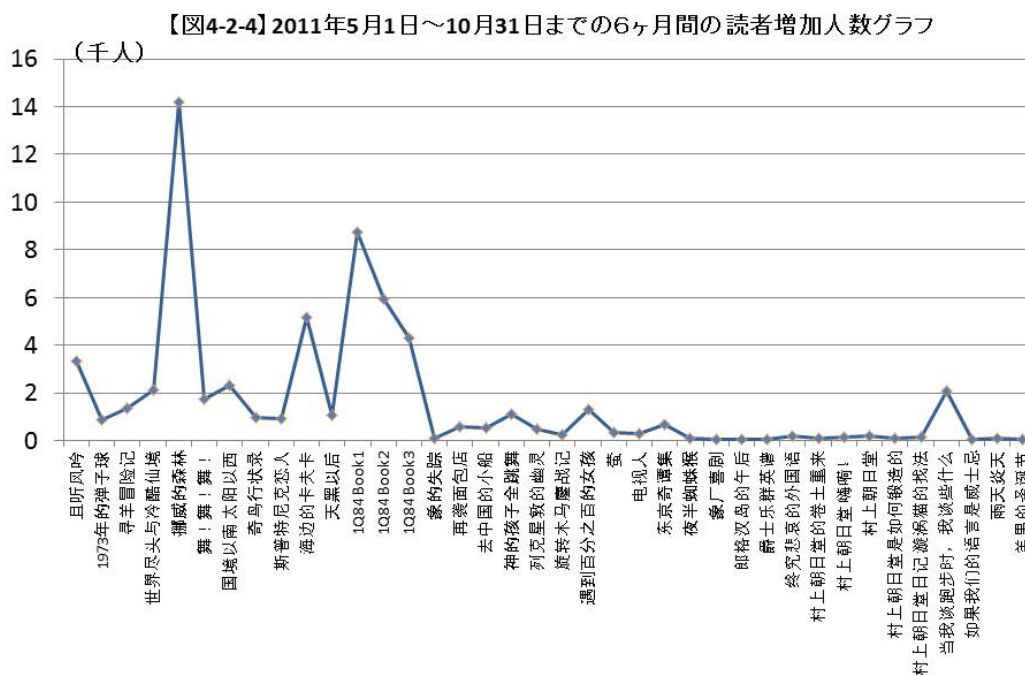
村上春樹のエッセーおよび紀行記などの作品は、一般に長編や短編集

ほどには人気はないが、『走る…』はその例外である。【図 4-2-3】を見ればわかるように、平均読書人数が 2000 人前後である「エッセー・その他」の中で、『走る…』は非常に目立っている。同作は 2006 年刊行の『東京奇譚集』以来 3 年ぶりの村上新作であったため、「村上ハンガー」と言うべきの村上文学に対する飢餓感を抱く中国の村上読者たちがいっせいに購読したために生じた現象と考えられる。また新たな村上訳者である施小煒の登場も、村上ファンたちの注目を集めたのだろう。更に「豆瓣網」による読者の批評を見ると、『走る…』を応援する読者の中には、従来の村上ファンに限らず、村上春樹と同じくマラソンを愛好する人々もかなりいることが分かった。

一回目の調査から約半年後の 2011 年 10 月 31 日に筆者は再び「豆瓣網」を利用して一回目で調査対象とした 38 点の村上作品について、読者の増加人数を調べた。その結果は下記【図 4-2-4】の折れ線グラフに示したとおりである。各作品の具体的な増加人数については、論文末尾の【付録 4 【図 4-2-4】の増加人数内訳対照表（6 カ月間）】に詳しく記録しているが、そのなかの上位 10 位は【表 4-2-4】のとおりである。

不動の人気を誇る『森』は依然として 1 万 4192 人増で増加人数の第 1 位を占めている。2010 年 5 月、6 月、そして 2011 年 1 月に順次刊行された話題作『1Q84』シリーズは、3 部とも増加人数の上位 10 位にランクインしており、ここからは中国人読者の村上新作長編に対する関心がうかがえる。第 4 位と第 6 位はそれぞれ長編人気ランキング第 2 位の『海』と村上のデビュー作『風』である。そして第 8 位の『走る…』は唯一のエッセーとしてランクインされている。「4-1-1 [3 組] に対する村上読書歴の調査」の節で分析したように、中国人読者の村上受容は『森』から始まる人と『海』から始まる人とは大きく分かれている。このような受容状況のもと、『海』は村上長編の中で『森』に次いで読まれている作品であり、増加人数ランキングの上位にも入っている。『森』と『海』は中国人読者にとって村上世界に入るための二つの大きな入口であり、

そこから更に村上ワールドで「冒険」したいと思った読者たちが次に選ぶのが、村上春樹のデビュー作『風』なのであろう。



【表 4-2-4】2011年 5 月 1 日～10 月 31 日までの 6 カ月間の読者増加人数 TOP10

出典：【図 4-2-4】のデータをもとに作成

1. 『ノルウェイの森』 ↑ 14,192 人	6. 『風の歌を聴け』 ↑ 3,362 人
2. 『1Q84』 Book1 ↑ 8,743 人	7. 『国境…』 ↑ 2,324 人
3. 『1Q84』 Book2 ↑ 5,942 人	8. 『走る…』 ↑ 2,094 人
4. 『海辺のカフカ』 ↑ 5,196 人	9. 『ダンス』 ↑ 1,768 人
5. 『1Q84』 Book3 ↑ 4,310 人	10. 『羊』 ↑ 1,361 人

ところが、それから更に4年後の2015年11月15日に実施した3回目の調査結果を、上記の結果と比較してみたところ、些かの変化が起きていることが分かった。（※グラフの内訳は【付録5 【図 4-2-5】の増加

人数内訳対照表（4年間）】を参照されたい）

下記の【図 4-2-5】で示されているように、4年前の増加人数グラフと比べて折れ線の形には大きな変化は見られないが、増加人数の数値は大幅に上昇しており、特に『森』の場合は他の作品とは桁違いの11万人近くにまで増加していることが分かった。次に【表 4-2-5】の増加人数上位10位の作品を見ると、1位の『森』、2位の『1Q84』BOOK1、そして6位の『風』については順位が変わっていないのに対し、『1Q84』BOOK2は4年前の第3位から2つ順位を下げて第5位となり、BOOK3は第7位となった。その代わりにエッセーの『走る…』が3万2388人増で一気に第4位となっているという興味深い現象が観察できる。

先に分析したように、2011年5月1日に実施した一回目の調査において、『走る…』はすでに平均読書人数が2000人前後という、「エッセー・その他」の中で非常に目立つ存在であった。その原因はこの作品が一般の村上読者のほかに、大勢のスポーツ愛好者からの支持をも得ているところにある。当時のこのような受容傾向はその後も変わらず、『走る…』受容の特徴として既に定着しているようであることが2015年11月15日に実施した3回目の調査であらためて確認できた。この点についてはまた、下記に引用する「豆瓣網」中の近年の書評からも事情を窺うことができる。

From 豆瓣書評「『走ることについて語るときに僕の語ること』を読んだ感想、別名“私は如何に5ヶ月で10キロ痩せたかについて”」
2013年8月2日（作者：fond）

「小雨先生からこの本を勧められた、「運動を続けている人として、とても共感できるはず」と。そこで空手をやっている同僚のところから借りてきた。数えてみれば3月に運動を兼ねたダイエットを始めてから、既に5ヶ月も続けている。(中略)この間いろいろと心に得ることがあり、

その一部は偶然に村上の本と一致している」²⁹

From 豆瓣書評「村上の走るフォークブルース」2015年11月20日（作者：晓明）

「この本を読んだ理由は二つで、一つは作者であり、もう一つは走るというテーマである。村上さんの『ノルウェイの森』は学生時代にすでに読んだことがあり、今はその内容をもうよく覚えていない。最近よく目にするのは、様々な走ったり、トレーニングしたりすることに関するツイートがこの本の内容を引用しているもので、そのため読み始めることにした。読んだ後の最も大きな感想は、村上さんは最も走るのが上手な小説家、あるいは最も遠く、長く走っている小説家であるということだ。読む前にはなんとなく、小説家として身体を鍛えるために、簡単な運動をしているだけであろう、あるいは走るというテーマを借りて何かを語るのだろうと思っていた。しかし、読書している間に私の眼前に現れたのは本物のランナーの像であった」³⁰

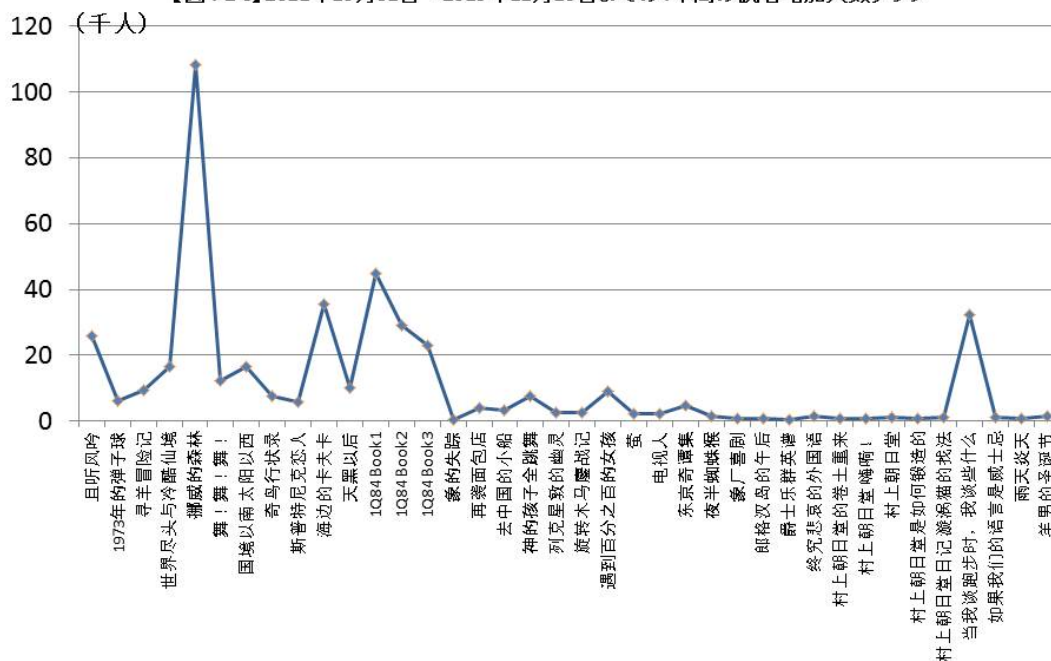
以上のような結果を通して、改めて中国における『森』ブームの息の長さを実感するいっぽうで、『走る…』の潜在的な力量の測りがたさにも気づいた次第である。

²⁹ 原文「小雨老师推荐我看看这本书：“作为一个坚持锻炼的人，应该很有共鸣。”于是从一位习练空手道的同事那里借来。算来我从3月份开始结合锻炼的减重计划，已经持续5个月了。（中略）这其中累积了一些感悟，有些恰巧和村上书里写的不谋而合」「豆瓣網」書評《读《当我谈跑步时我谈些什么》有感，又名“论我如何用五个月减掉20斤”》2013年8月2日、fond。

<http://book.douban.com/review/6194449/>（2016年6月17日に最終閲覧）

³⁰ 原文：「读这本书因为两个原因一个是作者，一个是跑步这个主题。村上君的《挪威的森林》在上学时候就读过，现在已经记不清里面的内容了。最近经常出现在眼前的是各种跑步、健身的微博、微信引用的这本书的内容，所以就开始了。读完最大的感受就是，村上君是最会跑步的小说家，或者说是跑的最远、最长的小说家。读书之前，自然流露的想法是一个小说家可能为了锻炼身体，简单的做些运动而已吧，或者借助跑步这个主题谈些事情。可是通过阅读，展现在我面前的是一个真正的跑者形象。」「豆瓣網」書評《村上君的跑者蓝调》2015年11月20日、晓明。<http://book.douban.com/review/7664818/>（2016年6月17日に最終閲覧）

【图4-2-5】2011年10月31日～2015年11月15日までの4年間の読者増加人数グラフ



【表 4-2-5】2011年10月31日～2015年11月15日まで4年間の読者増加人数 TOP10

出典：【図 4-2-5】のデータをもとに作成

1. 『ノルウェイの森』	↑ 108,150 人	6. 『風の歌を聴け』	↑ 25,850 人
2. 『1Q84』Book1	↑ 44,985 人	7. 『1Q84』Book3	↑ 23,202 人
3. 『海辺のカフカ』	↑ 35,598 人	8. 『国境…』	↑ 16,739 人
4. 『走る…』	↑ 32,388 人	9. 『世界の終わり…』	↑ 16,717 人
5. 『1Q84』Book2	↑ 29,251 人	10. 『ダンス』	↑ 12,115 人

第 5 章 中国における映画『ノルウェイの森』の

受容

本論の第 2 章から第 4 章では、小説『森』を始め、村上作品の中国における受容およびその過程から生まれた中国の村上チルドレンについて考察した。周知のように、香港・台湾を含む中国語圏における村上の受容は文学のみに留まらず、映画、更に社会現象にまで広がっている。藤井省三は『村上…中国』のなかで「香港映画界の村上チルドレン」という一節で、香港における村上作品を原作とする映画の上映に言及しながらスタンリー・クワン（関錦鵬）、ジョー・マー（馬偉豪）、ウォン・カーウァイ（王家衛）など香港映画界の村上チルドレン監督の村上受容を詳しく論じた。本章ではその後の 2010 年に大きな話題を呼んだ『森』の映画化および中国における映画『森』の受容を考察する。

小説『森』は 1987 年 9 月に講談社より刊行された、村上春樹の 5 作目の長編小説である。前述したように刊行当初、赤色と緑色に装丁された上下巻は、クリスマス・カラーを連想させるものであったが、それも手伝って、刊行後わずか一年間で、二巻の合計累計販売部数は 435 万部に達し、日本の小説発行部数の記録を塗り替えるような大ベストセラーとなった。¹また近年、『1Q84』ブームの影響で『森』の人气が再燃し、現在の累計はすでに 1000 万部を突破し、さらに 36 か国・33 言語に翻訳されてもおり、世界中で広く愛読されている。

28 年間に渡りロングセラーであり続けているこの作品は、2010 年に『青いパイヤの香り』（1993 年）や『シクロ』（1995 年）などの作品が

¹『村上春樹全小説ガイドブック』洋泉社、2010 年、4 頁。

国際映画祭で受賞したことにより名を知られている、ベトナム系フランス人の映画監督トラン・アン・ユン（1962年～）によって映画化され、2010年12月11日に日本で劇場公開された。また、同作は翌年の2011年9月には、中国の村上愛読者たちが大きな期待を寄せる中、中国でも劇場公開されている。しかし、中国の劇場公開版は、日本で上映されたオリジナル版から約38分の内容がカットされていたのである。

本章では、小説『森』が文学テキストから映画へと改編される過程において、如何なる変容が生じたかをめぐり、その変容に対する観客の反応も幅広く視野に入れながら検証する。また、本来の映画化作品から30%近くもカットされるという二重の改編を受けた中国劇場版『森』が、30年近く続く中国の『森』読書史において、どのような意味を持つのかという問題をも考察したい。

5-1. 『ノルウェイの森』の映画への改編

5-1-1 奇跡の映画化

2007年までに村上作品から改編された映画は管見の限りでは6本ある。²そのうち、『風の歌を聴け』（1981年）以外はすべて短編作品を原作としたものである。周知のように、村上春樹は自作の長編、とりわけ『森』の映像化には非常に消極的であった。原田真人監督によれば、『森』がベストセラーとなった当初、映画化希望の手紙を作者に出したところ、村上春樹から、たとえキューブリックが申し出たとしてもお断りしたいと、

² ①大森一樹監督『風の歌を聴け』1981年。②山川直人監督『パン屋襲撃』1982年。③山川直人監督『100%の女の子』（原作『四月のある晴れた朝に100パーセントの女の子に出会うことについて』）1983年。④野村恵一監督『森の向う側』（原作『土の中の彼女の小さな犬』）1988年。⑤市川準監督『トニー滝谷』2004年。⑥ロバート・ログバル（Robert Logevall）監督『All God's Children Can Dance（神の子どもたちはみな踊る）』2007年。（制作年順）

断られたという。それ以来、『森』の映画化は長らく突破できない難関だとされてきた。

そのような頑な姿勢を取ってきた村上春樹が、2005年に『森』の映画化をベトナム系フランス人のトラン・アン・ユン監督に委ねたことは、多くの人々に不思議な思いを抱かせたことであろう。『森』の映画化について、村上自身が2008年10月、中国語簡体字版の翻訳者である林少華との面会の際に、下記のように言及したという。

「短編小説のばあい、もし映画化の申し入れがあったら、だいたい相手と相談するが、長編ははじめてであり、なぜならこれ（長編の映画化。※筆者注）はとても難しいからだ。ただしそれでも『森』が比較的容易であり、それはつまるところ『森』がリアリズム小説であるからだ。」³

またトラン監督に対する『森』映画化の許諾について、村上は林少華に「監督の作品を見て、好きだったのでとりあえず会って話を聴こう」⁴というところから始まり、「以前『森』映画化の申し入れがあったが、全部断わっていた。トラン監督とアメリカで一回、東京で二回会って、この日本人でもアメリカ人でもない監督に任せてもいけないことはないと思った」と語ったという。⁵

文芸批評家の四方田犬彦によれば、村上春樹が気に入ったのは、国境を超える特殊な身分を持つトラン監督がつねに外部からの眼差しという

³ 原文：就短篇小说来说，如果有人提出拍电影，一般都会同对方协商，但长篇是第一次，因为这很难。不过《挪》还是相对容易的，毕竟《挪》是现实主义小说。村上春樹著、林少華訳《挪威的森林（電影特別版）》上海譯文出版社、2011年、2頁。

⁴ 小川真司プロデューサーインタビュー、『CINEMA SQUARE』Vol.34、2010年12月、116頁。

⁵ 原文「他说关于《挪》此前也有人提出拍电影的事，他都没有同意。而这次他同陈英雄在美国见了一次，在东京见了两次，觉得由这位既非日本人又不是美国人的导演拍成电影也未尝不可。」《挪威的森林（電影特別版）》、2頁。

ものに基づいて、映画を製作しているからであるという。⁶

こうして、長らく不可能とされてきた『森』の映画化は、2010年にトラン・アン・ユン監督により、半年以上という日本映画では異例の長い撮影期間を経て完成された。

映画『森』は、2010年9月に世界三大映画祭の一つとされるヴェネツィア国際映画祭で第67回ワールドプレミアとして上映された後、12月11日から日本全国312のスクリーンで正式に公開された。本作は40代前後の世代を中心に幅広い世代の観客から支持を受け、上映前の宣伝および原作の人気も手伝って、公開初日2日間で観客動員数は13万2,220人、興収は1億8,371万4,500円という好成績を収め、一気に上映回数ランキングと興行収入ランキング⁷のトップ3に入った。⁸しかし、2010年度の最終成績を邦画興行成績ランキングで見ると、邦画46本の内、興収14億円の39位であった。⁹それは、公開当初の観客動員数や原作の爆発的な人気の高さと比べれば、決して優れた成績とは言えない。そもそも観客の低評価コメントが多く、それは役者のミスキャスト、原作の肝腎な部分の消去、登場人物の不十分な再現、そして本来深刻そうなテーマの淡薄化などの点に集中している。しかしそのいっぽうで、「映像は非常に綺麗、写真集をめくっているかのような美しい景色ばかりでした。」¹⁰や、「20年ぐらい前、赤と緑の原作本を読んだ時に感じた雰囲気映画を見た時を感じる事ができました」¹¹というような肯定的なコメントも散

⁶ 四方田犬彦「韓流ノルウェイのできるまで」『総特集☆村上春樹—『1Q84』へ至るまで、そしてこれから』『ユリイカ1月臨時増刊号』、青土社、2010年12月号、156頁

⁷ 興行通信社2010年12月11日と12日のデータによる

⁸ 『『ハリポタ』首位奪還！『ノルウェイの森』は初登場3位にランクイン!!』シネマトゥデイ 2010年12月15日。

<http://www.cinematoday.jp/page/N0029029> (2016年6月17日に最終閲覧)

⁹ 「映画ランキングドットコム」

<http://www.eiga-ranking.com/boxoffice/japan/yearly/total/2010.html> (2016年6月17日に最終閲覧)

¹⁰ 【Yahoo映画】suz***** (匿名)、2015年1月22日8時43分発表。

¹¹ 投稿：tutti「雰囲気がよみがえる」(投稿日：2011/8/7)

見される。

5-1-2 小説から映画への変容

小説『森』は 60 年代末、学園紛争の時代を背景に、男性主人公のワタナベと彼の恋人で精神的に不安定でデリケートな恋人直子、そして活気溢れる魅力的な同級生緑を中心に、思春期の葛藤や、恋愛、喪失感を巧みに描いた、「恋愛より成長の方に近い」¹²小説である。

映画『森』のストーリーは基本的に原作に対して忠実であると言えよう。しかし、単行本で上下二巻計 525 頁の長編を 133 分の映画に改編する際に、多くの変容が生じている。本節では、小説から映像化への過程における作品の構造、登場人物の再現、テーマおよび内容の変容について、主に以下の 3 点に注目したい。

● 構造上の変化—イントロダクションの消去

本論の第 2 章で、慶山の『蓮花』と『森』を比較した際に詳しく分析したが、『森』の冒頭で 37 歳のワタナベはドイツ・ハンブルグ空港到着の飛行機の中でビートルズの名曲「ノルウェイの森」を耳にして突然精神的混乱に襲われ、18 年前に付き合っていた恋人直子のことを思い出す。このように物語が始まるという設定は、小説の構造上重要な役割を果たしていると同時に、『森』を成長小説としての完成に導く重要な鍵でもある。

これに対して、映画『森』では、小説冒頭の回想シーンが再現されず、いきなり高校生のワタナベ（松山ケンイチ）、直子（菊地凜子）、キズキ（高良健吾）の三人が校庭らしき庭で仲良く遊ぶシーンから始まる。監督はこのような処理について、下記のように説明した。

<http://movie.walkerplus.com/mv45130/review/>（2016 年 6 月 17 日に最終閲覧）

¹² 村上春樹「自作を語る」IX 頁。

「映画でそのプロローグ部分（ワタナベの回想。※筆者注）を描かなかったのは、ノスタルジックな視点の作品にしたくなかったからです。あくまでも若い人たちの、現在の物語として語りたかったんです。」¹³

つまり、映画『森』は、原作の構造をリードする重要な回想シーンを意図的に消去することによって、小説とは異なる物語構造を観客に対し冒頭で明示しているのである。

● 登場人物の不十分な再現

小説『森』では、主人公のワタナベ、直子、緑のほかに、エリート官僚予備軍の永沢先輩、彼の優雅で完璧なガールフレンドのハツミ、波乱万丈な過去を持つレイコ、高校時代に自殺した親友のキズキ、そして、ワタナベの学生寮における風変りなルームメートの突撃隊などの登場人物も設定されており、いずれもはっきりした個性を持った存在で、読者に主人公たちと比肩できるほどの強い印象を与えている。その中でも特にレイコはワタナベと直子にとって非常に特別な存在である。

レイコは直子が入院した精神療養所の阿美寮でのルームメートであり、曾てピアニストを目指していたが突然指が動かなくなって、精神的に大きな打撃を受けたことがある。その後結婚と出産を経てピアノの家庭教師となり、徐々に回復していくが、邪悪な13歳の美少女の生徒とかかわったことで、病気が再発し、以降は夫と離婚して阿美寮で暮らしていた。

小説では、レイコが自分の過去、特に美少女との出会いという強烈な体験をワタナベに語ることによって、レイコの人間性の奥行きが示されていると同時に、その後の彼女とワタナベとの親密な関係の伏線にもなっている。¹⁴また、小説の最後では、レイコが直子の遺品の服を着たまま

¹³ 『CINEMA SQUARE』Vol. 34、108 頁。

¹⁴ 内田樹「映画「ノルウェイの森」を見ました」、ブログ【内田研究室】2010

東京を訪れ、ワタナベの前でギターの 50 曲を演奏して直子のために「淋しくない」葬式をし、その後二人は心を許しあい自然に求め合う。特にその夜のセックスの回数が 4 回であったことについては、ワタナベが直子の服を着たレイコ＝レイコン（直子の霊魂）と「4 回」＝「四回」＝「死界」のセックスを行うことによって、直子を弔うための「死の世界のセックス」が完成されたことを意味する、と日本の文藝評論家の小山鉄郎は解釈する。¹⁵

このように小説では、自分の過去に苦しみなながらも直子を大切にし、更に死と生を越えて、ワタナベと直子との間で重要な役割を果たすレイコが、映画では、まるで別人のように再現されているのである。

映画『森』においては、その過去にまつわる物語が全く語られないままで、レイコ（霧島れいか）が、ごく普通の阿美寮入院患者の一人として登場する。また、ワタナベのアパートを訪れる最後のシーンでは、直子の服、ワタナベと一緒にいった直子のための「淋しくない」音楽葬、そして「4 回」と強調されるセックスという各場面が完全にカットされた上に、原作にはないレイコのシャワーシーンが付け加えられている。このように何の前置きもなくレイコのセクシーなシーンが挿入されることによって、レイコのワタナベに対するセックスの誘いが、非常に唐突な言動となり、観客に「原作のレイコに失礼」、「単なる色情狂」¹⁶といったような悪いイメージを与えている。

レイコの他に、永沢さん（玉山鉄二）や突撃隊（柄本時生）も、原作と比べてセリフや内容が大幅に削減されたことによって、存在感が希薄になっている。

年 10 月 28 日。 http://blog.tatsuru.com/2010/10/28_1451.php （2016 年 6 月 17 日に最終閲覧）

¹⁵ 小山鉄郎『空想読解 なるほど、村上春樹』共同通信社、2012 年、76—78 頁。

¹⁶ 「映画『ノルウェイの森』感想」2010 年 12 月 12 日、ブログ【琥珀色の戯言】、<http://d.hatena.ne.jp/fujipon/20101212> （2016 年 6 月 17 日に最終閲覧）

● 深められてない「生」と「死」のテーマ

親友のキズキを失った悲しみから絞り出されるワタナベの言葉「死は生の対極としてではなく、その一部として存在している」は、小説『森』中の名句として広く知られている。この言葉はまた、『森』における第一号の死者であるキズキの死と共に、その後のワタナベが経験するすべての「生」と「死」に共通し、やがて小説全体を貫く重要なテーマとなる。『森』にはたくさんの死者が出てくる。それは生者に無限の喪失感を与えると同時に、生者に死者と共に生きて行くことを覚悟させる。この点について、『森』では「生」の世界が「死」という異界と非常に近いのだと小山鉄郎は指摘する。¹⁷この指摘は、前述した小山によるレイコとワタナベのセックスに関する分析にも通じている。

映画『森』には、小説と同様にたくさんの死者が登場する。特に、原作では略述されたキズキの自殺過程が細かくリアルに再現されており、この点からは、原作の「死」を意識的に強調する演出が見て取れる。しかし、キズキの自殺後には、前述の小説『森』の「生」と「死」に関する格言は登場せず、いきなりワタナベが東京の大学のキャンパスを歩くシーンへとつながる。この一句の消去により、映画では小説のように「生」と「死」のテーマが深められないまま、次のステップに跳躍するイメージを観客に与えてしまう。

文学評論家の川村湊によれば、『森』は「まず<僕>（ワタナベ）とキズキと直子という、高校時代の男二人、女一人の“三角”を形作り、それは次に緑と<僕>と直子、そしてさらにレイコさん—<僕>—直子という三角関係として変奏される（中略）一言でいってしまえば<僕>をめぐるさまざまな三角の形の「愛」の葛藤を描いたもの」¹⁸である。この観点を受け止めながら振りかえってみれば、映画『森』はほぼ小説を忠実に再現していると言えよう。しかし、川村による分析の続きを見れば

¹⁷ 小山鉄郎『村上春樹を読みつくす』講談社、2010年、14頁。

¹⁸ 川村湊『村上春樹をどう読むか』作品社、2006年、184頁。

わかるように、たとえ『森』には前述したメインの三角関係以外にも、ワタナベと永沢さんとハツミさん、緑とその恋人とワタナベのような副次的な三角関係が無数に存在しているにしても、『森』を100%の恋愛物語としてストレートに読むのは難しい。なぜなら、その三角関係は恋人同士の男女三人の関係よりも、「危うく倒れそうな木を、その両側の二本の木が支える」¹⁹のような心を病む人々同士が助け合う三角者関係という人間社会における更に本質的なものなのである。また、それぞれの三角関係の中には、生者の死者に対する回想や彼らの「死」によって深まった「生」と「死」のテーマも小説において終始重要な働きをしているのである。²⁰つまり、一見通俗的な三角関係構造の恋愛物語には更に深層的なテーマが託されており、これらのテーマが読者に人生、青春、そして生と死などを深く考えさせるのである。いっぽう、映画ではリアリズムの手法によって物語の進行を再現することに偏り、骨組みだけを取って、肉を削ったような改編をした結果、観衆を失望させて、原作の人気度との間にギャップが生じたものと考えられる。

本節では、小説『森』の映画化の経緯およびその過程で生じた主要な変容を考察した。香港中文大学教授の李欧梵は自著『文学改編電影』のなかでカフカ小説の映画化について「一人有一個卡夫卡（人には人それぞれのカフカがいる）」、「カフカの小説のように、既に一流の文学作品となった以上、一流の映画作品に改編することは不可能だ」²¹と述べている。映像に頼る映画と文字に頼る小説は元来表現方法を異にするものである。振りかえってみれば、高い評価を得た改編映画は、原作の枠を破り映像表現によって新たな物語を誕生させるものが殆どである。映画『森』の日本における不評はトラン監督が恐らく原作にこだわり過ぎたところにあるのかもしれない。いっぽう同映画が中国で上映された際には、更な

¹⁹川村湊『村上春樹をどう読むか』、185頁。

²⁰川村湊『村上春樹をどう読むか』、185～189頁を参考にした。

²¹原文：像卡夫卡的小説，既是第一流的文學作品，根本不可能改編為第一流的影片了。李欧梵『文學改編電影』三聯書店，2010年、177頁。

る改編が施されたのである。次の節では、中国で上映された映画『森』における再度の変容および観客の反応から映画『森』の中国における受容を考察してみたい。

5-2 中国上映版映画『ノルウェイの森』の再度の変容

映画『森』が日本公開の翌年、中国における劇場公開が決定された。それを受けて、まず2011年6月に開催された上海国際映画祭でプレミア上映が行われ、その後9月から中国全土53都市、2000館前後で上映されることになった。映画の上映に合わせて、上海訳文出版社が『挪威的森林（電影特別版）』（2011）を刊行し、プレミア上映の当日には、「用意された約1000席の上映チケットは即時完売」、「100社を超えるマスコミが殺到」²²などの報道がなされており、ここからも中国でも映画『森』に対し熱いまなざしが注がれていたことがうかがえよう。

『森』の映画化自体が奇跡的なものであったが、中国での上映もそれに近いものがあった。周知のように、外国映画の中国本土での劇場公開はいまだ完全には自由化されておらず、年間の配給本数は50本程度という狭き門である。しかも、そのなかの約8割はハリウッド映画に占められ、日本映画の配給は、アニメーションを除けば年間1～3本程度しかないのが現実である。²³このような状況のなかで、映画『森』に上映許可を

²² 「加熱する松山ケンイチ人気！『ノルウェイの森』上海国際映画祭でプレミア上映」MovieWalker、2011年6月21日。
<http://news.walkerplus.com/article/22794/>
(2016年6月17日に最終閲覧)

²³ 「中国の映画市場」
http://j-pitch.jp/production/china/topics2008_02.html。「「ノルウェイの森」快挙！中国本土で公開&上海国際映画祭で上映！松ケンがプレゼンターに」2011年6月14日
http://www.excite.co.jp/News/cinema/20110613/Hollywoodch_20110613_1

下ろすという中国側の快挙は、小説『森』が1989年に『挪威的森林』という訳題で中国語に翻訳され、現在でも中国人読者に熱心に読み継がれていることと密接な関係があるだろう。

第1章で述べたように、村上作品のうち、最初に本格的な単行本として中国人読者の視野に入ったのは、1989年に桂林・漓江出版社から刊行された林少華訳の『挪威的森林』であった。その刊行時期は折しも北京で起こった「天安門事件」と重なっており、民主化運動に挫折した中国の若者たちは『森』に癒しを求めたため、やがて中国では小規模な第1次村上ブームが発生した。その後、1992年以降絶好調が続いた中国経済の成長率がやや鈍くなった1998年に第2次ブームを、そして中国語版『森』が出版20周年を迎えた2007年に第3次ブームを迎え、「村上春樹現象」が起き、村上チルドレンが誕生するほど、『森』は中国の文学・文化・社会に大きな影響を与えているのである。

したがって、『森』翻訳版出版で大成功を収めていた出版社も今回の映画上映の実現に大きく貢献した。『新華書目報』2011年6月20日の記事によると、『森』映画化の決定が日本で発表された後、2001年以降から『森』の版權を所有している上海訳文出版社は直ちに映画配給会社の上海華宇と接触し、映画の輸入を積極的に促進した。このように、出版社と映画配給会社が連携して外国映画を輸入したのは、中国では前例のない試みでもあった。²⁴曾て小説『森』で引き起こされたブームを、今度は映画で再び実現させようという、出版社側の熱烈な期待もここからは窺えよう。

しかし、劇場公開が待望された中国版『森』は、日本オリジナル版の133分より38分ほどの内容がカットされ、わずか95分のバージョンになっていたのである。カットされた内容は、「性」を連想させるラブシーンのほぼすべてと、主人公の会話のシーンで、たとえば、ワタナベと直

401.html (2016年6月17日に最終閲覧)

²⁴ 「上译社参与《挪威的森林》电影引进」、『新華書目報』、2011年6月20日。

子の阿美寮でのラブシーンや、直子が手でワタナベの性欲を解決する内容を暗示するシーン、また緑とワタナベのマスタベーションに関する会話のシーンのほか、キズキが自殺の準備をするシーンや、緑が自宅でワタナベに自分の父親のことを語るシーン、父親が死んだ後に緑とワタナベが電話で話すシーン、更に永沢・ハツミ・ワタナベ三人の晚餐シーンと直子が自殺した後のレイコとワタナベのベッドシーンなどが挙げられる。

中国側は『森』にある「性」に対して、もともと厳しい姿勢を取っている。前述したように、1989年小説『森』の出版当初に、1600字ほどの性に関する描写を削除させ、2001年再版の上海訳文出版社刊行の『森』全訳本でようやく削除部分を復活させたことから見れば、映画において「性」と関わるシーンがほとんどカットされたのも、さほど意外なことではないだろう。

確かに、小説『森』ははっきりした性描写の多い作品であり、それらの内容を全て演じることは役者にとっても大きな挑戦と言えよう。しかし、実際のところ、トラン監督のオリジナル映画において、セックスに関する部分はすでにかなり控えめな表現へと修整されている。これについて、トラン監督は下記のように述べている。

「セックスに関する描写が非常に多い作品で、際どいセリフもたくさん出てきますが、映画ではそこをあえて強調せず、裸もほとんど出しませんでした。僕は、この映画でいちばん重要なのは、顔の表情だと思ったからです。この物語では、セックスシーンはすべて登場人物の心の中で変化が起きる大切なシーンになっています。そこで裸の体を見せると、観客の視線がそちらに集まってしまって、いちばん見せたい表情から視線が逸れてしまう、と考えました。登場人物が内面に持つ不安定感を、その表情から捉えたかったのです。」²⁵

²⁵ 『CINEMA SQUARE』Vol. 34、108 頁。

つまり、映画『森』はラブシーンにおいて、官能的な映像よりも主人公たちの表情の微妙な変化を重視し、これによって原作にある登場人物たちの細かい心境の変化を表わそうとした、というのである。このように小説の内容を補完する重要な改編が、中国で上映された際にはほとんどカットされてしまい、唯一残されたのは、直子の誕生日の夜に起きたワタナベと直子の最初のラブシーンのみであった。それはおそらく、この物語の発展および主人公たちの葛藤の原点となる直子の処女性を明らかにする内容が、物語全体の流れにとって非常に重要な存在であり、仮に削除してしまったら、映画のプロットに対する理解に致命的な影響を及ぼす恐れがあるからであろう。ただし、保留といっても、ワタナベの挿入および直子の痛みを暗示する部分はやはりカットされ、二人のキスシーンから直接、ワタナベが直子にどうしてキズキと寝なかったのかと訊くシーンにつながる。こうして、中国劇場版『森』においては、主人公たちの心の変化の一部がラブシーンのカットと共に読み取れなくなっており、小説のクライマックスの一つである直子の処女性の明示も主人公のセリフのみで表出されることとなった。

キズキの自殺準備のシーンは前述したように、オリジナル映画で新しく付け加えられた部分である。中国劇場版におけるこのシーンのカットは、ストーリーの進行自体に大きな影響を及ぼしてはいないが、オリジナル映画の独創的部分を消してしまったという点で、中国における映画『森』を評価する際にプラスの働きをしないだろう。また、緑が性に関して大胆な発言をするシーンや、ワタナベに対して自分の家庭状況を告白するシーンなどのカットが、原作にあった、寂しい人生を活発で大胆な性格により前向きに生きている緑の陰陽のギャップのある魅力を抹殺してしまい、オリジナル映画でもともと賛否両論だった緑（水原希子）を一層平凡なキャラクターに貶めている。そして中国劇場版『森』では、ワタナベ、永沢とハツミの三人の晚餐シーンの完全カットによって、永沢がワタナベに対して自分が外務省に合格したと告げた後、突然ワタナ

べとハツミがタクシーで会話をするシーンへと飛躍してしまう。このような編集は観客にとって、あまりに唐突な転換であり、ハツミの苦しみや、ワタナベ、永沢とハツミの三人の関係も理解しがたいものとなってしまっただろう。

このような、オリジナル映画に対する中国劇場版『森』の再編集のなかで、変化が最も大きいのがレイコの部分である。

前述したように、小説『森』の主人公たちにとって非常に重要な役割を果たしていたレイコは、オリジナル映画において、自身の物語や、ワタナベと一緒にいった直子の音楽葬、そして4回と強調されたワタナベとのセックスといった内容の消去によって、すでに本来の面影を失い、観客の不満を招いている。このようなレイコだが、中国劇場版『森』では一層の変容を強いられて、実に影の薄い存在となっている。

中国劇場版『森』では、レイコとワタナベとの最後のラブシーンは言うまでもなく、直子自殺後のレイコとワタナベに関するすべての描写が消されてしまった。このような中国側の編集に対して、中国の観客たちからは「『森』映画の中でレイコとワタナベの内容が全部削除されてしまった！ どうしてセックスなしのシーンを残さないの？」²⁶と不満を訴える声も上がっている。

実は小説『森』の時点で、レイコという人物は中国の一部の読者たちにとって、受け入れがたい存在だった。その理由の大部分は、大きな年の差であるレイコとワタナベによるセックスに起因している。たとえば、比較文学研究者の韋晴川の論文「現代与伝統的《挪威的森林》」は、レイコとワタナベのセックスについて「ワタナベと彼より19歳上のレイコとが性関係を持つのはやはり乱倫という違和感を与える。前後の文章をつなげてみれば、このプロットは人に不調和な虚構感を与える」²⁷と批判し

²⁶ 原文「【挪威的森林】电影中玲子和渡边的情节完全被删了!为什么不保留非性场面?」<http://tieba.baidu.com/p/1221250159>

²⁷ 原文：渡边与比他大十九岁的玲子发生关系仍给人以乱伦的恶感。联系前后文，这个情节给人以不协调的虚拟感。韋晴川「現代与伝統的《挪威的森林》」

ている。また読者のなかには、「ここでは自分より 19 歳年下の BOY と性的関係を持つ（レイコ）が好きな人はいないはず」²⁸、「いまだに正視できない。毎回ギターを弾きながら直子を吊うところまで読んだら飛ばす。反感を抱く。」²⁹、「中国人と日本人との文化伝統は違っていて、もちろん性に対する態度も違う」³⁰などの意見がみられる。この意味では、今回の中国側によるレイコに対するオーバーカットとは、このような反感に応じて、映画『森』を「レイコ不在」の物語に変身させたための改編であった可能性もあるだろう。

オリジナル版映画『森』の 30 パーセント近くも内容をカットしたことによって、中国劇場版『森』は観客からのコメントを借用すれば、「こうなると、キズキとハツミの自殺はただの若者の神経過敏のため？レイコはワタナベにとって、療養施設の気の合うお姉さん？直子とワタナベは最初から最後まで一回しかセックスしなかった？緑は単なる話す時でも人を無視する高慢な女子クラスメート？」³¹というものになってしまったのである。

上映前の熱烈な期待とは異なり、映画『森』の中国における上映後の成績は良いものではなかった。上海電影（集団）有限会社に配属してい

『広西広播電視大学学報』63 頁。

²⁸ 原文「这里应该没人会去喜欢（中略）和比小自己 19 岁的 BOY 发生关系的（玲子）。百度村上春樹バー、「《挪威的森林》中，你最喜欢或者讨厌哪个角色？」ユーザー名：GALATIANS、<http://tieba.baidu.com/p/2257554548>（2015 年 4 月 10 日に最終閲覧）

²⁹ 原文「至今不敢正视。每次看看到弹吉他纪念直子后就跳过。反感。」百度村上春樹バー、「大家对玲子和渡边的做爱有什么看法」ユーザー名：lss622111、<http://tieba.baidu.com/p/459802432?pn=1>（2016 年 6 月 17 日に最終閲覧）

³⁰ 原文「中国人和日本人的文化传统是不同的，当然对待性的态度也是不同的。」百度村上春樹バー、「大家对玲子和渡边的做爱有什么看法」ユーザー名：Vermouth 的微笑、<http://tieba.baidu.com/p/459802432?pn=1>（2016 年 6 月 17 日に最終閲覧）

³¹ 原文「这样一来：木月和初美的自杀只是年轻人的神经过敏？玲子对于渡边来说，是疗养院的知心大姐姐？直子和渡边从头至尾只做了一次爱？绿子只是个说话不看人的高傲女同学？」（「豆瓣網」影評「被删段落汇总」、室内滂沱、2011 年 9 月 18 日）<http://movie.douban.com/review/5100960/>（2016 年 6 月 17 日に最終閲覧）

る上海最大の映画会社である上海聯合電影院線の統計によると、『森』公開後の最初の週末の興業収入はわずか300万元前後（約5千700万円）であり、同年2月に上映された中国のロマンス映画《将愛情進行到底》の同時期の興業収入である3500万元（約6億7千万）と比べれば、雲泥の差であった。

いっぽう、「豆瓣電影」でこれまでの村上文学から改編された映画作品の受容状況を整理してみると、下記のとおりになる。

【表5-2-1】村上文学から改編された映画の映画鑑賞人数および豆瓣網得点の対照表

出典：2016年3月30日24時までの「豆瓣電影」データをもとに作成
（製作年代順）

作品名	観賞人数 (人)	豆瓣 得点
大森一樹監督『風の歌を聴け』（1981）	671	7.2
山川直人監督『パン屋襲撃』（1982）	517	6.6
山川直人監督『100%の女の子』（1983）	1,707	7.7
市川準監督『トニー滝谷』（2004）	3,202	6.4
Robert Logevall 監督『All God's Children Can Dance』（2007）	879	6.4
トラン・アン・ユン監督『ノルウェイの森』（2010）	118,267	5.9

観客数は他の作品とは桁が違ふほど多い点から、映画『森』の中国における高い注目度が窺がえるいっぽう、得点は最低であるのは興味深い。また、この結果を、小説『森』について同時点で収集した評価データ、すなわち読書人数28万6899人、および得点8.0点の四つ星と比べれば、映画と小説の受容における温度差は一目瞭然である。

第4章で紹介した、2011年10月に「豆瓣網」を中心に筆者が実施した『森』の読書調査の結果によれば、20代から30代を中心とする回

答者は「作品に漂う孤独感や喪失感が非常に共感を呼ぶ」、「細部まで描かれているワタナベのライフスタイルに憧れる」などを『森』愛読の理由として挙げている。中国における『森』読者の多くは、ワタナベの恋愛自体に感銘を受けたのではなく、その恋愛の過程から生まれる人生の無常観や喪失感に共感しているのであり、同時に癒しを得てもいるのである。更に、経済発展途上地域の出身者にとっては、『森』は自らの大都市生活に対する想像の糧の一つであり、希望を与えてくれるバイブル的な存在でもあるだろう。小説とは対照的に、映画化の過程においては、物語のストーリー性が重視されたためか、小説の奥行が十分には再現されなかったいっぽう、原作を超越した映画としての鮮明な性格も出せなかった。これは日本と中国双方の観客を失望させた最も大きな原因として考えられる。そして、中国劇場版では、オリジナル映画版よりも 30% 近くもカットされており、このような二重の改編により、映画『森』は更に空疎なものとなり、中国の多くの観客が心に抱いていたであろう小説『森』の世界からは遠く離れてしまったのである。

2010 年、長らく不可能とされてきた『森』の映画化がフランス国籍のベトナム人映画監督トラン・アン・ユンによって実現された。単行本上下二冊の長編小説を 133 分の映像に凝縮させるのはやはり至難のわざであるうえ、ワタナベ・直子・緑という三人の主人公を軸とする恋愛物語のストーリー性を重視した結果、この映画版では他の登場人物たちの存在感が希薄となり、小説本来の奥行も十分に再現できなかった。そのため、上映開始前の熱烈な話題性と比べれば、上映後の成績はとても成功と称せるものではなかった。ただし、この映画は村上長編作品を原作とする初の本格的な映画化の試みであり、画期的作品と言っても過言ではない。

同作は日本公開の翌年の 2011 年 9 月、中国でも劇場公開されたが、性に関わるシーンや主人公の個性を表す内容などを含む 38 分ほどの内容がカットされてしまった。このような二重の改編を受けた中国劇場版映

画『森』は、すでにオリジナル版で生じていた欠陥を更に拡大させ、原作小説の重要なキャラクターであるレイコが存在をほとんど抹殺した「レイコ不在」の物語となっている。

藤井省三の考察によると、小説『森』は最初に中国で翻訳・刊行された1989年から、この作品はまず民主化運動で挫折した人々にとっての癒しあるいはポルノ小説として、次には経済発展に伴い、中国の若者たちにとって都市ライフスタイル・ガイドブックとして読まれてきた。二重の改編により成立した中国劇場版『森』は、中国における四半世紀を越す『森』受容史において、結果的にワタナベ・直子・緑の三人をめぐるほぼ「100%」の純粋な三角関係恋愛小説という新たな読みを創り出したとも言えよう。いっぽう、前掲の観客による中国劇場版に対する批判的コメントからは、中国の村上読者が『森』に対して求めていたのはそのような純粋だが単純な愛のあり方ではなく、精神性に加えて、社会性も含有した成熟した恋愛であったことが窺えるのである。

終章 中国における「村上チルドレン」および「村上春樹ファッション」

村上春樹が最初に日本文学研究誌『日本文学』によって中国に紹介された1986年から、すでに30年近くが経過した。そこから始まる中国の村上受容史の中には、これまで述べてきたように、1989年と1998年の二回に渡る村上ブーム、中国語簡体字版の『森』出版から20周年を迎えた2007年に起きた第3期ブーム、そして『1Q84』三部作の刊行による第4期ブームが出現し、村上文学は一貫して中国の読者たちに愛読され続けてきたことが分かる。中国で2015年までに刊行された村上作品の作品数は約56点、版本数はおよそ百種類以上に達している。このような4半世紀を超える村上受容史のなかで、『森』を代表とする村上文学は刊行当時（1989年）に民主化運動で挫折した人々にとっての癒しとして受け入れられ、その後出版側の意図的な宣伝の影響を受けてポルノ小説のような装いを強いられ、改革開放以降の中国都市部を中心とする経済の発展に伴い、都会的なライフスタイルのガイドブックとして若者たちに読まれるようになった。言い換えれば、村上文学は鄧小平時代の改革開放政策の波に乗って中国に紹介され、初めのうちは受容をめぐって様々な試行錯誤を繰り返しながらも、時代と共に変化する日本社会を中国の読者たちに紹介し、特に1998年に始まった第2期村上ブームの中では、豊かな物質生活を追求するポスト鄧小平時代以降の中国の若者たちの道標となり、現代中国文学・文化の担い手である青年層に深い影響を与えてきたのである。

こうした青年層におけるリーダー的存在と言えるのは、2002年11月にアメリカ週刊誌『タイム』の記事中で「村上チルドレン（Murakami's

children)」として紹介されたグループで、彼らは世代的には主に中国の70年代生まれ、あるいは80年代生まれのいわゆる「70後」・「80後」に集中している。中国における村上春樹の受容を考察するにあたって、この「村上チルドレン」という語は非常に重要なキーワードであると筆者は考える。なぜなら、彼らは文学や流行文化等の領域において、村上文学から伝わるメッセージを貪欲に吸収し、村上文学から学んだ語りの方や人物イメージから人生観に至るまでの体験を新しい中国式文化ムーブメントの原動力として、再び多くの文化的領域において新たな成果を得ているからである。つまり、日本発の村上文学を母体として誕生したこの「村上チルドレン」は、若者を主体とする中国現代文学・文化の形成において大きな役割を果たしていると考えられるのである。

本論はこれまで既に言及されてきた、作家や映画監督としての「村上チルドレン」のほか、読者から作家が生まれるという文化的流通・再生産の流れに着目し、村上文学の愛読者たちをも視野に入れて、中国に広く厚く存在している「村上チルドレン」をそれぞれの受容の特徴により3つのグループに分類した。その第一グループ、すなわち「模倣的創造の村上チルドレン流行作家」の代表としては衛慧、慶山、そして郭敬明を取り上げ、村上作品を受容するにあたって、彼らが、その創作の初期においては村上作品を模倣する傾向が強かったものの、徐々に自らの作風を確立し、村上チルドレンとしての新しい世界を切り開いていく過程を検証した。

前述したように、鄧小平時代以降に生まれ、改革開放の進む時代の中で成長してきた中国の「村上チルドレン」作家は、物質的に豊かになっていく消費社会の中で自らが体験した、大都市における刺激の多い生活を、それぞれの視点から文学作品に反映させている。彼らがデビューした当時は、ちょうど『森』を中心とする第2期ブームの最中であったため、彼らの初期作品に『森』からの影響が多く見出されるのは無理からぬことであろう。その後、作家自身の成長に伴い作風が確立されていく

過程で、彼らは村上文学により喚起された物語のテーマや構造などを十分に消化し、それらに多様なアレンジを施し、模倣的創造の手法を通して、あらためて独自性の高い物語を創造するようになる。これは中国の「村上チルドレン」作家の村上受容の共通した特徴であるが、特に〔1組〕作家群において顕著である。そのいっぽうで、本論第2章で分析したように、模倣的創造としての村上受容の更なる展開の中で、〔1組〕の作家はそれぞれ、幾度も作風転換を試みたものの、『狗爸爸』に至るまで村上チルドレン作家の枠内で模索し続ける衛慧、村上チルドレンと村上ファッションの間を行き来する慶山、そして模倣的創造の過程をほぼ経過することのないまま、いきなり村上ファッションへ突入した郭敬明と、村上受容において個性的展開を呈してもいる。

続いて本論第3章で取り上げたのは、忘却魚鱗、孔亜雷、李修文など〔1組〕と同じ「70後」「80後」に属していながら、〔1組〕よりも約10年遅れて中国文壇に登場してきた第2グループ、すなわちいわば「成長中の村上チルドレン作家」と呼ぶべき存在である。彼らは〔1組〕の作家群と同様に熱心に村上文学を受容し、自分の創作活動に励んでいるが、そのいっぽうで、忘却魚鱗の『關於彼岸的一切』や孔亜雷の『不失者』に見られる村上受容は、〔1組〕の作家よりも未熟であると言えよう。というのも、彼らは村上文学の要素を十分に消化しないまま、これを文学創作に用いているために、独自性に欠けるところがあって、読者に新鮮な印象を与えられず、また読者の深く広い共感を得られず、人気を博するに至らなかったのである。また、発表した作品数がまだ少なく、自らの作風を確立していないうちから、たとえば孔亜雷が自ら「中国の村上春樹」と称したように、村上春樹の影響に頼った売り込み活動をしてしまう傾向も見られる。このような〔2組〕による村上受容の表象は〔1組〕とは大きく異なっていると指摘できよう。

最後の部分では、村上文学の影響をめぐる研究で従来なされてきたテキスト分析という方法以外の独自の手法を取り入れた。すなわち、中国

の人気書き込み
 サイト「豆瓣網」
 を利用して、村上
 春樹の愛読者に
 対し、村上作品に
 まつわる読書歴
 についてネット
 インタビュー調
 査を実施し、また
 「豆瓣網」で公開
 された各種デー
 タに基づいて分
 析を行いグラフ

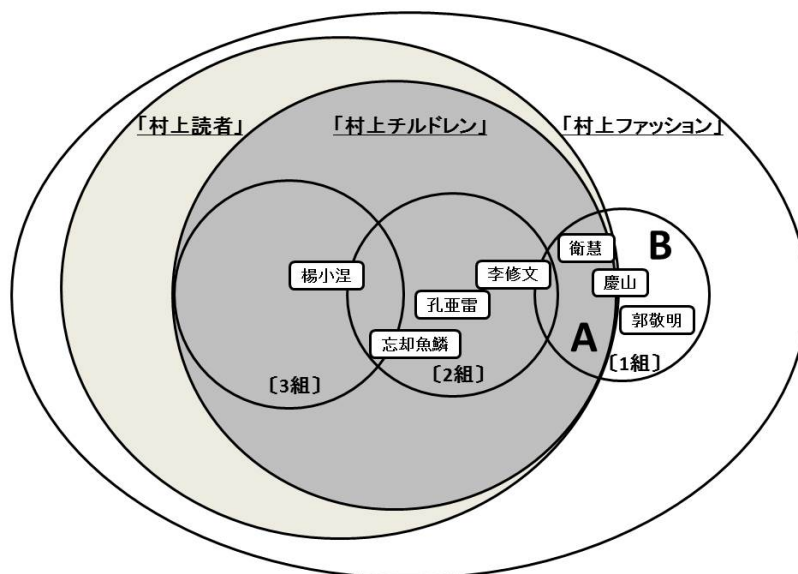


図 6-1 「中国における村上チルドレン・村上ファッション
 相関図」筆者作成

化し、読者層レベルにおける村上受容を考察したのである。そのなかで、たとえば「李普曼」というユーザー名を持つ読者は、河北省の人口 37 万の小都市安国市の出身だが、同市で偶然出会った『森』に感動し、自分の将来の大学生活を想像するような読書体験を持ったと語っている。この話から、『森』の受容は北京・上海のような大都市に限らず、小規模の発展途上地域でも行われ、若者に対して影響力を発揮していることを初めて実際に確認することができた。また、豆瓣網専属ネットライターの楊小湜は『森』へのオマージュとして自ら『森』の続編を創作しており、こうした愛読者の出現は、筆者が最初に想定した「読者から作家が生まれる過程」をたどって村上チルドレンが誕生するという新たな可能性を証明している。

ところで、興味深いことに、「豆瓣網」において村上読者に対する調査を行った際、読者のコメントの中には、「あの村上春樹と言う名前のパン屋、私の人生の最も寂しいときにあそこの店員になるところだった」¹、

¹ 原文「那个叫村上春树的蛋糕店,我最落寞的时候差点做了那里的店员」(「豆

「曹格の「海边的卡夫卡」を聞くと、またこの本を思い出す」²といった村上文学の周縁的事象への言及がしばしば見られた。実際、前述したように中国では、単に商品の商業的なブランドイメージを高めるために、村上文学と直接的関係がないにもかかわらず村上春樹の名前や村上作品のイメージを借りて命名する例が少なくない。こうした例としては、前掲のもの以外にも、南京にある「挪威的森林」と名付けられた高層住宅団地や、歌手の朴樹の「且聽風吟」、範逸臣（Van Fan）の「国境之南」、ロックバンド五月天の「神的孩子都在跳舞」などの曲を挙げるができる。このような現象から考えると、中国における村上春樹に対するイメージはすでに文学の領域を越えており、一種のファッションとして社会で広く認識されていると言えよう。

以上の分析に従って、筆者は中国における村上チルドレン間の関係を【図 6-1 中国における村上チルドレン・村上ファッション相関図】のように整理した。最も外側にある円は「村上ファッション」の範囲を示しており、このグループには「村上読者」や「村上チルドレン」作家のほか、村上作品を読んだことはないが、雑誌や新聞から間接的に作家としての村上春樹あるいは彼の作品に関する情報を得て、本章で例として挙げたような村上イメージを操作する存在となった、文化の再生産者たちも含まれている。次に大きな、薄く網掛けされた円は、広範囲に存在する「村上読者」であり、その中でも特に村上文学に注目している読者たち、すなわち「村上チルドレン」を、濃い網掛けの円で示した。さらに、第2章から第4章で論じてきた〔1組〕・〔2組〕・〔3組〕を示す円を、それぞれ「村上チルドレン」グループと一部重複させながら配置した。一

瓣網」書評「放的快上灰塵了」迷途北極的魚、2010年6月24日。）
<http://book.douban.com/review/3355496/>

（2016年6月6日に最終閲覧）

² 原文「听了曹格《海边的卡夫卡》这首歌，让我又想起这本书」（「豆瓣網」書評「聽了曹格「海边的卡夫卡」這首歌、讓我又想起這本書」叫我多啦、2010年10月3日。）<http://book.douban.com/review/3803609/>（2016年6月17日に最終閲覧）

見互いに独立している〔1組〕～〔3組〕は、実際には図に示したとおり重なり合う部分を持っている。すなわち、たとえば〔1組〕はAゾーンとBゾーンに分かれており、村上チルドレンと村上ファッションのどちらか whichever、またはその両方に属すると想定されるということである。つまり、この〔1組〕では、前述したようなめいめい異なる村上受容の特徴に応じて、衛慧のようにほぼ村上チルドレンの枠と重なるAゾーンにのみ属する者、あるいは慶山のように村上チルドレンのAゾーンと村上ファッションのBゾーンとの双方に属する者、そして郭敬明のように完全に村上チルドレンから離脱して、村上ファッションのBゾーンにのみ属する者というように、同じグループの中でもさまざまに分化した展開がみられるのである。

このほか、〔3組〕に属する楊小湜が村上文学の一愛読者から『森2』の創作を通して現在豆瓣網の専属ネットライターとして成長してきたことから、将来〔3組〕の村上読者が〔2組〕の「成長中の村上チルドレン作家」へと移行する可能性も十分考えられる。また〔2組〕の李修文が『滴涙痣』に続き『梱綁上天堂』（2003年）、『不恰當的關係』（2003年）、『浮草伝』（2012年）などの作品を刊行してドラマ化までされたように、〔2組〕の作家がいずれは自分の作風を確立して〔1組〕のような人気作家に成長するであろう。

いっぽう、村上春樹に影響を受けたという面では〔2組〕と同じ出発点を持つ〔1組〕は、曾て村上春樹から習得したものをきちんと消化し、更に自ら人生や社会に対する考えを深めることによって、徐々に独自の作風を確立するようになる。換言すれば〔1組〕が曾て村上作品から受けた影響はすでに彼らの血肉と化し、村上作品を読まなくても、その雰囲気や思想を掴めるようになったのである。〔1組〕はこうして、たとえば「脱村上チルドレン化」を成し遂げた郭敬明のように、更に広義的な「村上ファッション」に突入し始めているのではないかと筆者は考えるに至っている。

第1章で言及したように、出生年代によって境界線を引かれた「70後」「80後」というグループは、もともと安定した一つの文学共同体ではなかった。彼らは常に変化しながら、文学の領域を越えて、流行文化・芸術・ITなど更に広い分野で多様な影響力を発揮している。このような「70後」「80後」はまるでもろ刃の剣のようで、細分化による多様な展開を繰り広げているため、それを論じる際には複雑な手続きも必要になる。インターネットの普及と共に成長してきた「70後」「80後」作家たちは、純文学誌、あるいは作家協会によるエリート育成という従来の道筋を必ずしも通らなくても、デビューを果たして多数の読者を獲得することができた。同じ「70後」作家の阿乙（1976年～）の言葉を借りれば「（「70後」「80後」は）分類するのが困難で、花畑のように百花が咲きそろう、それぞれ独自の境地を持つ。彼らには二つの共通点がある。すなわち「皆が入り交じって成長しており、自然に発生し自然に成長する能力を持っている」ことと、「凝り固まったルールがないかわりに、自分の美的感覚に対するこだわりがある」³ことである」。言い換えれば、「70後」「80後」作家たちは固定の文学ジャンルに囚われず、文学に対する各自の認識によってジャンル間を自由に行き来することができるのである。従って、本論で論じた「70後」「80後」を中心とする「村上チルドレン」の系譜も、必ずしも恒久不変とは限らない。主に田舎町に暮らす人々の生活を、犯罪をとおして描いた作品で知られる「70後」作家の阿乙や、皮肉なユーモアがたっぷり含まれた社会批判で大人気を博した「80後」代表格の韓寒といった、「村上チルドレン」とは無縁そうな作家たちが、いつか作風転換のきっかけで「村上チルドレン」の系譜に入るという可能性も十分考えられるだろう。

³ 原文「很难归类，像花园，百花齐放，各有独到之处。他们有两个共同点：“都是杂生的，自生自养的能力不错”，“没有过于固定的套路和死板的路线，但都有着自己的审美坚持” 吴越「文坛“70后”：低潮的逆袭？」『文汇报』2013年4月12日。

<http://shwomen.eastday.com/renda/node5661/node5663/node17931/ulai1823354.html>（2016年6月17日に閲覧）

このような「70 後」「80 後」の状況全体から見れば、本論で取り上げた 6 作家は膨大な「70 後」「80 後」作家群の中のほんの一部を代表しているにすぎない。しかも、彼らは同じ「70 後」「80 後」作家に数えられるはするが、それぞれ独自の特徴を持ち、必ずしも同じジャンルに属しているわけではない。流動性が強い「70 後」「80 後」のなかで、彼らに「村上チルドレン」としての共通性を与えているのは、ひとえに村上文学に対する強い関心である。この点から見れば、「70 後」「80 後」の中にはすでに「村上チルドレン」の系譜が広く深く浸透していると言えよう。1990 年代末に発生した本格的な村上ブームに伴って中国文壇に登場したこの「村上チルドレン」作家たちは、中国現代文学の中で村上チルドレン作家の系譜を形成すると同時に、この系譜の中でも独自の展開を遂げて、「美女作家」、「ネット文学」、そして少年少女向けの「ライトノベル」などの分野で多彩な成果を上げている。

本論は主に「村上チルドレン」を中心として、中国における村上春樹の受容を論じた。周知のように村上春樹は中国語圏だけでなく、英語圏でも広く受容されおり、両者における受容状況の相違について、藤井省三は「羊高森低」という法則の存在を指摘している。筆者はこの課題について更に掘り下げるために、2014 年 2 月～3 月の一か月を使って、北米での調査を行った。現段階ではまだ資料の解読および整理を進めている最中だが、今後の課題として、西側の村上受容大国であるアメリカとの比較を通して、中国・アメリカ両国の村上文学に対する受容およびアメリカにおける日中両国現代文学受容の相違点および共通点を考察し、村上文学および中国の村上チルドレン文学の「東」と「西」における受容比較研究を行いたい。

參考資料

テキスト

(1) 中国語

- 村上春樹『挪威的森林』林少華訳、漓江出版社、1989年
- 村上春樹『村上春樹精品集－挪威的森林』林少華訳、漓江出版社、1996年
- 村上春樹『挪威的森林（全訳本）』林少華訳、上海訳文出版社、2001年
- 村上春樹『挪威的森林』林少華訳、上海訳文出版社、2007年
- 村上春樹『挪威的森林（電影特別版）』林少華訳、上海訳文出版社、2011年
- 村上春樹『挪威的森林』林少華訳、上海訳文出版社、2014年
- 村上春樹『村上春樹精品集－象の失踪』林少華訳、漓江出版社、1996年
- 村上春樹『村上春樹精品集－象の失踪』林少華訳、漓江出版社、1997年
- 村上春樹『1 Q 8 4 Book1』施小煒訳、南海出版公司、2010年5月
- 村上春樹『1 Q 8 4 Book2』施小煒訳、南海出版公司、2010年6月
- 村上春樹『1 Q 8 4 Book3』施小煒訳、南海出版公司、2011年1月
- 衛慧『上海宝贝』春風文芸出版社、1999年
- 衛慧『水中的处女』花山文芸出版社、2000年
- 衛慧『我的禅』上海文芸出版社、2004年
- 衛慧『狗爸爸』作家出版社、2007年
- 安妮宝贝『告别薇安』中国社会科学出版社、2008年
- 安妮宝贝『十年修訂典藏文集－告别薇安』中国社会科学出版社、2011年
- 安妮宝贝『清醒紀』北京十月文芸出版社、2008年5月
- 安妮宝贝『十年修訂典藏文集－清醒紀』北京十月文芸出版社、2011年
- 安妮宝贝『蔷薇島口』北京十月文芸出版社、2008年6月
- 安妮宝贝『蓮花』作家出版社、2006年

安妮宝贝『莲花』万卷出版公司、2009年
安妮宝贝『十年修訂典藏文集-蓮花』北京十月文芸出版社、2011年
安妮宝贝『春宴』湖南文芸出版公司、2011年
安妮宝贝編『大方』No.1 北京十月文芸出版社、2011年3月号
郭敬明『夢里花落知多少』春風文芸出版社、2003年
郭敬明『悲傷逆流成河』長江文芸出版社、2007年
郭敬明『愛与痛的辺縁』東方出版中心、2008年
忘却魚鱗『關於彼岸的一切』湖南人民出版社、2010年
孔垂雷『不失者』上海訳文出版社、2008年
李修文『滴涙痣』、中国青年出版社、2002年
福原愛姫『挪威没有森林』遠方出版社、2004年

(2) 日本語

村上春樹『ノルウェイの森（上）』講談社、1987年
村上春樹『ノルウェイの森（下）』講談社、1987年
村上春樹『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』講談社、1991年
村上春樹『村上春樹全作品 1979～1989①風の歌を聴け・1973年のピンボール』講談社、1990年
村上春樹『村上春樹全作品 1979～1989④世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』講談社、1990年
村上春樹『村上春樹全作品 1979～1989⑧短編集Ⅲ』講談社、1991年
村上春樹『村上春樹全作品 1990～2000②国境の南 太陽の西・スプートニクの恋人』講談社、2003年
衛慧『上海ベイビー』桑島道夫訳、文春文庫、2001年
衛慧『ブッダと結婚』泉京鹿訳、講談社、2005年
安妮宝贝『さよなら、ビビアン』泉京鹿訳、小学館、2007年
郭敬明『悲しみは逆流して河になる』泉京鹿訳、講談社、2011年

主な参考文献

(1) 日本語参考文献 (著者五十音順)

安藤宏『日本近代小説史』中央公論新社、2015年

衛慧、藤井省三「対談、新上海の“感性”を描く—『衛慧みたいにクリエイター』をめぐって」東方書店『東方』2005年1月号

尾崎文昭「「改革と開放」政策のもたらしたもの—一九九〇年代の文化とメディアの状況」、尾崎文昭編『「規範」からの離脱—中国同時代作家たちの探求』山川出版社、2006年2月

王海藍「中国における「村上春樹熱」とは何であったのか—2008年・3000人の中国人学生への調査から」『図書館情報メディア研究』2008

王海藍『村上春樹と中国』アーツアンドクラフツ、2012年3月

小川真司プロデューサーインタビュー、『CINEMA SQUARE』Vol.34、2010年12月

加藤典洋『村上春樹 イエローページ1』幻冬舎、2006

加藤典洋『村上春樹 イエローページ2』幻冬舎、2006

川村湊『村上春樹をどう読むか』作品社、2006年

黒古一夫『村上春樹—「喪失」の物語から「転換」の物語へ』勉誠出版、2007

黒古一夫『村上春樹—ザ・ロスト・ワールド』六興出版、2000年

黒古一夫『村上春樹批判』アーツアンドクラフツ、2015年

桑島道夫訳 衛慧インタビュー「中国で発禁『上海ベイビー』私が書いた」『文芸春秋』、2000年8月

桑島道夫「若き天才作家 韓寒の教育批判 (総力特集 中国不信)」『文芸春秋』、2002年8月

桑島道夫「『上海ベイビー』私論 (特集 上海モダン)」『アジア遊学』勉誠出版、2004年4月

桑島道夫「鼎談 「上海モダン」をめぐって (特集 上海モダン)」『アジア遊学』勉誠出版、2004年4月

- 桑島道夫「「新人類」作家の登場―「身体で書く」女性作家、衛慧、棉棉、そして木子美」、尾崎文昭編『「規範」からの離脱』山川出版社、2006年
- 桑島道夫「現代中国文学素描―“先鋒派”から“80後”まで」『文学界』文藝春秋、2007年3月
- 桑島道夫「蘇徳インタビュー「80后世代作家の生き方」」『文学界』文藝春秋、2011年2月
- 桑島道夫「衛慧『ブッダと結婚』に見る国際結婚とセルフ・オリエンタリズム」『翻訳の文化/文化の翻訳』静岡大学人文学部翻訳文化研究会、2011年3月
- 桑島道夫「絶望に始まる希望と小暗い情念―中国における大江文学」早稲田文学 [第10次]早稲田文学会、2011年9月
- 桑島道夫「座談会 現代中国文学のパワー（中国文学の今）」三田文学 [第3期] 三田文学会、2013年
- 小山鉄郎『村上春樹を読みつくす』講談社、2010年10月
- 小山鉄郎『空想読解 なるほど、村上春樹』共同通信社、2012年
- 酒井英行『『ノルウェイの森』の村上春樹』沖積舎、2004年
- 佐藤幹夫『村上春樹の隣には三島由紀夫がいつもいる』PHP新書、2006年3月
- 「上海富裕層の「快樂的生活」」『COURRIER JAPAN』2011年9月第82期
- 施小煒「中国の村上春樹―二〇一〇年度最優秀図書トップ10入り 大人気の『1Q84』（小特集 中国語圏の村上春樹）」『東方』367号、2011年9月
- 篠儀直子「追いかけることの孤独―映画『ノルウェイの森』ノート」『総特集☆村上春樹『1Q84』へ至るまで、そしてこれから・・・』青土社『ユリイカ1月臨時増刊号』第42巻第15号（通巻590号）2010年12月
- 柴田元幸ほか編『世界は村上春樹をどう読むか』文藝春秋、2006年10

月

- 柴田元幸ほか『代表質問—16のインタビュー』新書館、2009年
- ジェイ・ルービン『ハルキ・ムラカミと言葉の音楽』畔柳和代訳、新潮社、2006年
- 徐子怡「中国の村上春樹読者は如何に「村上チルドレン」を読むのか—「豆瓣網」における中国の村上読者に対する安妮寶貝の読書調査」『東京大学中国語中国文学研究室紀要』第16号、2013年
- 菅野昭正編『村上春樹の読みかた』平凡社、2012年
- 孫軍悦「〈誤訳〉のなかの真理—中国における『ノルウェイの森』の翻訳と受容」『日本近代文学』2004年10月
- 孫軍悦「論理・推理・法：1980年代中国大陸における「推理小説」という概念の〈翻訳〉について」Juncture：超域的日本文化研究、2012年3月
- 孫軍悦「世界は、あなたたちのものわたしたちのもの—『ノルウェイの森』から見た中国大陸の文学生産体制の転換—」『日本学研究叢書2』国立台湾大学出版中心、2013年4月
- 孫樹林「論“村上春樹現象”」『外国文学』1998年5月
- 『世界地図帳』昭文社、2013年2版
- 高橋篤史「村上チルドレン“マネーゲーム”の前途」『週刊東洋経済』2006年6月17日号
- 張競『海を越える日本文学』筑摩書房、2010年12月
- 張明敏『村上春樹文学在台湾的翻訳与文化』聯合文学出版社、2009年
- 田建新「中国の村上春樹」『国文学（特集：村上春樹—予知する文学）』第40巻第4号、1995年3月号
- 都甲幸治『偽アメリカ文学の誕生』水生社、2009年
- 福嶋亮大『神話が考える ネットワーク社会の文化論』青土社、2010年3月
- 藤井省三『20世紀の中国文学』放送大学教育振興会 2005年3月
- 福嶋亮大「チャイニーズ・イノセンス—郭敬明現象が語るもの」青土社

- 『ユリイカ』第40巻第3号（通巻548号）2008年3月
- 福嶋亮大「シニシズム、コマーシャリズム、マジック・リアリズム—村上春樹から中国現代文学へ」『総特集☆村上春樹『1Q84』へ至るまで、そしてこれから・・・』青土社『ユリイカ1月臨時増刊号』第42巻第15号（通巻590号）2010年12月
- 藤井省三「人気作家・安妮の素顔」『北海道新聞』2007年2月27日夕刊
- 藤井省三『村上春樹のなかの中国』朝日新聞社、2007年7月
- 藤井省三「中国の村上チルドレンと村上春樹小説の「家族の不在」—衛慧・アニーベイビーにおける「小資」文学の展開をめぐって」青土社『ユリイカ』第40巻第3号（通巻548号）2008年3月
- 藤井省三「東アジアが読む村上春樹」『文学界』2009年1月号
- 藤井省三編『東アジアが読む村上春樹—東京大学文学部中国文学科国際共同研究』若草書房、2009年6月
- 藤井省三『中国語圏文学史』東京大学出版会 2011年
- 藤井省三「中国における村上春樹受容の第二の転換期」『新潮』2011年3月号
- 「『ノルウェイの森』と女たち」（松山ケンイチ×トラン・アン・ユン）『BAZAAR』2010年12月
- 「『ノルウェイの森』とその時代」『ELLESPECIAL』2010年12月号
- 「ノルウェイの森 中国で上映」EX（SANKEI EXPRESS）、2011年9月16日
- 「ハルキ・フィーバー考」『毎日新聞』2013年5月24日
- 松本健一『村上春樹—都市小説から世界文学へ』第三文明社、2010年
- 「松山ケンイチ×トラン・アン・ユン監督『ノルウェイの森』」『Cinema★Cinema』No.28、2010年11月
- 峰なゆか「村上春樹へのラブレター—『ノルウェイの森』に迷い込んで」『総特集☆村上春樹『1Q84』へ至るまで、そしてこれから・・・』青土社『ユリイカ1月臨時増刊号』第42巻第15号（通巻590号）2010

年 12 月

村上春樹「『自作を語る』100パーセント・リアリズムへの挑戦」(『村上春樹全作品 1979～1989⑥ノルウェイの森』講談社、1991年

村上春樹『夢を見るために毎朝僕は目覚めるのです村上春樹インタビュー集 1997～2009』文藝春秋、2010年

『村上春樹 全小説ガイドブック』洋泉社、2010年

湯川豊 小山鉄郎『村上春樹を読む午後』文藝春秋、2014年

『総特集 村上春樹の世界』青土社『ユリイカ臨時増刊号』第21巻第8号(通巻281号)1989年

『総特集＝村上春樹を読む』青土社『ユリイカ3月臨時増刊号』第32巻第4号(通巻429号)2000年

四方田犬彦「韓流ノルウェイのできるまで」『総特集☆村上春樹『1Q84』へ至るまで、そしてこれから・・・』青土社『ユリイカ1月臨時増刊号』第42巻第15号(通巻590号)2010年12月

李徳純「苛立ちと窮迫—村上春樹論の中国的視点」『国文学解釈と鑑賞』2000年11月号

林少華「村上春樹は中国でなぜ読まれるのか」『PEOPLE'S CHINA』2001年10月

(2) 中国語参考文献(漢語ピンイン順)

白燁「“80後”的現状与未来」中国当代文学研究会議事録『当代文学研究資料与信息』2005年3月

北京開卷信息技術有限公司編『从一万到百万：超級暢銷書的秘密』安徽人民出版社、2012年

陳思和・王徳威編「声音・“70後”：“低谷”中的崛起」『文学・2013秋冬卷』上海文芸出版社、2014年

程箐『消費鏡像—20世紀90年代女性都市小説与消費主義文化研究』中国社会科学出版社、2008年

- 程靜「当前青少年婚前性行为现状及影响因素实证研究」『中国青年研究』
2015年5月
- 川本三郎「都市的感受性」賴明珠訳、『日本文学』吉林人民出版社、1986
年2月
- 「村上春樹小説三篇」賴明珠訳、『日本文学』吉林人民出版社、1986年2
月
- 稻草人編『遇見100%的村上春樹』当代世界出版社、2001年
- 丁麗潔「“80後”：終結還是繼續」『文學報』、2006年8月31日
- 丁琪「消費喧嘩中脆弱的“失語者”——从《挪威的森林》中的直子到《上
海寶貝》中的天天——」『內蒙古大學學報人文社會科學版』2004年9
月号
- 「豆瓣，一个“乌托邦”怎么赚钱」『南方週末』2013年11月21日
- 黄平「『80後』写作与中国夢」北岳文芸出版社、2015年
- 黄忠順「中国時尚文学与杜拉斯、村上春樹、日本動漫」『河北學刊』2005
年5月号
- 積木工作室著『写特像郭敬明一樣好』長江文芸出版社、2006年
- 江冰「試論80後文学命名的意義」『文芸評論』2004年6月
- 杰·鲁宾（Jay Rubin）『洗耳傾聽村上春樹的世界』南京大学出版社、2012
年2月
- 雷世文編『相約挪威的森林——村上春樹的世界』華夏出版社、2005年
- 李德純「訳本序 物欲世界的異化」林少華訳『挪威的森林』瀛江出版社、
1989年7月
- 李花蕾「从『蓮花』看安妮寶貝的創作特色」『邵陽學院學報（社會科學版）』
2007年2月
- 李俊国「論“時尚讀本”」『文芸評論』2003年7月
- 李欧梵『文學改編電影』三聯書店，2010年
- 李蘇晋「『挪威的森林』与『紅玫瑰与白玫瑰』兩性模式比較」『洛陽師範
學院學報』2006年第1期

- 李晓娜「村上春樹与美国現代文学」吉林大学博士論文、2013年
- 林磊·朱朝暉「試論邱華棟与村上春樹作品的芸術特色」『韶関学院学報社会科学版』2002年8月号
- 林少華『村上春樹和他的作品』寧夏人民出版社、2005年2月
- 林少華『落花之美』中国工人出版社、2006年9月
- 林少華『為了靈魂的自由-村上春樹的文学世界』中国友誼出版、2010年1月
- 林少華『高牆与鷄蛋—林少華精銳美文集』紅旗出版社、2011年1月
- 岑朗天『村上春樹与後虛無年代』新星出版社、2006年
- 梁青林「当代日本大衆文化管窺—關於“村上春樹現象”的考察」中国社会科学院研究生院修士論文、2000年
- 『日本文学』吉林人民出版、總第16期、1986年2月
- 羅渝川·張進輔「从20世纪的最后10年看我国青年婚恋观的变迁」、『陝西师范大学学报（哲学社会科学版）』2001年12月
- 尚一欧『村上春樹小説芸術研究』商務印書館、2013年1月
- 邵燕君『傾斜的文学場：当代文学生产机制的市场化转型』江苏人民出版社、2003年
- 邵燕君『“美女作家”現象研究—从“70後”到“80後”』廣西師範大学出版社、2005年
- 邵燕君『网络时代的文学引渡』廣西師範大学出版社、2015年
- 邵燕君『新世纪第一个十年小说研究』北京大学出版社、2016年
- 他愛『十美女作家批判書』華齡出版社、2005年
- 「特集 重訪安妮宝贝」『城市画報』2011年8月12日、第15期
- 藤井省三、張明敏訳《中国的《挪威的森林》》《聯合文学》314期、2010年12月号
- 王麗平編『中国民族經濟村庄調查叢書—墨脱村調查』中国经济出版社、2012年3月
- 王濤『代際定位与文学越位—「80後」写作研究』四川出版集团、2009年

- 王向遠「日本後現代主義文學與村上春樹」北京師範大學學報（社會科學版）1994年第5期
- 王向遠『二十世紀中國的日本翻譯文學史』北京師範大學出版社、2001年
- 王瑜「長大成人與失落家園的找回—由新作『狗爸爸』論衛慧創作轉型」『當代文壇』2008年第4期
- 韋晴川「現代與傳統的《挪威的森林》」『廣西廣播電視大學學報』
- 「上譯社參與《挪威的森林》電影引進」、『新華書目報』、2011年6月20日
- 魏心宏『為什麼叫她們“七十年代後”（代後記）』、『七十年代以後小說選—紙戒指』上海文芸出版社、2001
- 楊炳菁『後現代語境中的村上春樹』中央編譯出版社、2009年9月
- 陽姣麗·曹莉「論“小資”文化與安妮寶貝的崛起」『牡丹江大學學報』2007年6月、第16卷第6期
- 陽燕『我讀李修文』武漢大學出版社、2007年
- 楊永良『並非自由的強盜—村上春樹：〈襲擊麵包店〉及其統篇的哲學解讀』山東人民出版社、2010年9月
- 楊照『永遠的少年：村上春樹與《海邊的卡夫卡》』新星出版社、2013年
- 袁岳『誰說80/90不靠譜』中信出版社、2011年
- 張敏生「近三十餘年日本、中國內地村上春樹研究述評」『長江師範學院學報』2011年7月号
- 張敏生「時空匣子—村上春樹小說時空藝術研究」上海外國語大學博士論文、2011年
- 張昕宇「從“日本”的歷史文脈中閱讀村上春樹」上海外國語大學博士論文、2007年
- 趙薇「夢里花落及挪威森林里的憂傷—中日兩部青春文學之比較」『學術交流』、2008年6月第171期
- 周仲謀·王志娟「比較文學視域中的衛慧小說創作」恩施職業技術學院學報（綜合版）2008年第4期

諸子『穿越郭敬明独一代的想像的森林』上海人民出版社、2004年

(3) 英語 (アルファベット順)

Hannah Beech ,The New Radicals,Time,February 2,2004

Matthew Strecher, Dances with Sheep: The Quest for Identity in the
Fiction of Murakami Haruki, U of M Center For Japanese
Studies,2002

Rebecca Suter,The Japanization of Modernity:Murakami Haruki between
Japan and the United States, Harvard University Asia
Center,Cambridge(Massachusetts)and London,2008

Velisarios Kattoulas ,Pop Master,Time,November,25,2002

インターネット文献

(1) 中国語

「新浪新聞中心—美女作家”卫慧上海坠楼摔折脊椎 昏迷25天后想结婚
生子」2007年5月19日。

<http://news.sina.com.cn/o/2007-05-19/102811851513s.shtm>

(2016年6月17日に最終閲覧)

「中国網—卫慧圆满地说再见」2007年8月13日。

http://www.china.com.cn/book/txt/2007-08/13/content_8674883_5.htm

(2016年6月17日に最終閲覧)

「《蓮花》和墨脱」2006年3月4日、安妮宝贝公式ブログ

http://blog.sina.com.cn/s/blog_45456f8001000332.html

(2016年6月17日に最終閲覧)

「鳳凰読書—安妮宝贝永远是我的一部分」2014年6月23日

http://book.ifeng.com/gundong/detail_2014_06/23/36958576_0.shtml

(2016年6月17日に最終閲覧)

「杭州作家推出新作被出版社称作“中国的村上春树”『杭州日报デジタル版』、2008年6月23日、

http://hzdaily.hangzhou.com.cn/dskb/html/2008-06/23/content_4409

21.htm (2016年6月17日に最終閲覧)

「村上春树《1Q84》中文简体字版在京首发」「Sina文化・読書」2010年5月25日

<http://book.sina.com.cn/news/c/2010-05-25/2304269344.shtml>

(2016年6月17日に最終閲覧)

吴越「文坛“70后”：低潮的逆袭？」『文汇报』2013年4月12日。

<http://shwomen.eastday.com/renda/node5661/node5663/node17931>

/ulai1823354.html (2016年6月17日に閲覧)

「豆瓣網」書評「蓮花……高中写的……」2009年7月29日、mar42

<http://book.douban.com/review/2176626/>

(2016年6月17日に最終閲覧)

「豆瓣網」書評「最青春の村上春樹」2009年12月26日、linen

<http://book.douban.com/review/2890450/>

(2016年6月17日に最終閲覧)

「豆瓣網」書評「挪威的森林七年祭：我比渡辺徹早了十年回憶直子」2007

年11月12日、李普曼 <http://book.douban.com/review/1238301/>

(2016年6月17日に最終閲覧)

「豆瓣網」書評「向村上春樹致敬！許多年過去了、我依旧迷失在挪威的森林中！」2010年4月1日、楊小涅

<https://book.douban.com/review/3134511/>

(2016年6月17日に最終閲覧)

「豆瓣網」書評「我把这个故事读了五遍」2011年8月17日、++++地下
丝绒 <http://book.douban.com/review/5066465/>

(2016年6月17日に最終閲覧)

「豆瓣網」書評「读《当我谈跑步时我谈些什么》有感，又名“论我如何用五个月减掉20斤”」2013年8月2日、fond

<http://book.douban.com/review/6194449/>

(2016年6月17日に最終閲覧)

「豆瓣網」書評「村上君的跑者蓝调」2015年11月20日、晓明

<http://book.douban.com/review/7664818/>

(2016年6月17日に最終閲覧)

「豆瓣網」書評「放的快上灰塵了」2010年6月24日、迷途北極的魚

<http://book.douban.com/review/3355496/>

(2016年6月6日に最終閲覧)

「豆瓣網」書評「聽了曹格「海邊的卡夫卡」這首歌、讓我又想起這本書」

2010年10月3日、叫我多啦

<http://book.douban.com/review/3803609/> (2016年6月17日に最終
浏览)

(2) 日本語

J-CAST ニュース「『ノルウェイの森』1000万部 未だ衰えぬ人気の秘密」

2009年7月30日。

<http://www.j-cast.com/2009/07/30046420.html?p=all>

(2016年6月17日に最終閲覧)

「『ハリポタ』首位奪還！『ノルウェイの森』は初登場3位にランクイン!!」

シネマトゥデイ 2010年12月15日。

<http://www.cinematoday.jp/page/N0029029>

(2016年6月17日に最終閲覧)

内田樹「映画「ノルウェイの森」を見ました」、ブログ【内田研究室】2010

年10月28日。 http://blog.tatsuru.com/2010/10/28_1451.php

(2016年6月17日に最終閲覧)

「映画『ノルウェイの森』感想」2010年12月12日、ブログ【琥珀色の戯言】、<http://d.hatena.ne.jp/fujipon/20101212>

(2016年6月17日に最終閲覧)

「加熱する松山ケンイチ人気！『ノルウェイの森』上海国際映画祭でプレミア上映」MovieWalker、2011年6月21日。

<http://news.walkerplus.com/article/22794/>

(2016年6月17日に最終閲覧)

「『ノルウェイの森』快挙！中国本土で公開&上海国際映画祭で上映！

松ケンがプレゼンターに」2011年6月14日

http://www.excite.co.jp/News/cinema/20110613/Hollywoodch_20110613_1401.html

(2016年6月17日に最終閲覧)

映像資料

『ノルウェイの森』 [DVD]

監督：トラン・アン・ユン

出演：松山ケンイチ，菊地凛子，水原希子，高良健吾

販売元：ソニー・ピクチャーズエンタテインメント

2011年

『挪威的森林』（BD25 藍光碟）

導演：陳英雄（Anh Hung Tran）

演員：松山健一（Ken'ichi Matsuyama），菊地凛子（Rinko Kikuchi），高
良健吾（Kengo Kora），等

發行公司：華錄出版傳媒有限公司

2011年

主に使用したインターネットサイト

「豆瓣網」

<https://www.douban.com/>

安妮寶貝公式ブログ「慶山-安妮寶貝的博客」

<http://blog.sina.com.cn/u/1162178432>

安妮寶貝公式 Weibo「慶山-安妮寶貝」

http://weibo.com/annepadma?source=blog&is_hot=1

林少華公式ブログ

<http://blog.sina.com.cn/linshaohua>

林少華公式 Weibo

http://weibo.com/linshaohua?source=blog&is_hot=1

「問卷星」

<http://www.sojump.com/>

付録

【付録 1】 回答者の基本状況

※「M」＝男性；「F」＝女性；「/」＝無回答

（作品の略称について）『森』＝『ノルウェイの森』；『国境』＝『国境の南、太陽の西』；『海』＝『海辺のカフカ』；『世界…』＝『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』；『スプ…恋人』＝『スプートニクの恋人』；『風』＝『風の歌を聴け』；『ピンボール』＝『1973年のピンボール』；『ダンス』＝『ダンス・ダンス・ダンス』；『鳥』＝『ねじまき鳥クロニクル』；『中国行き…』＝『中国行きのスロウ・ボート』；『神の子ども』＝『神の子どもたちはみな踊る』；『100%』中国語訳短編集《遇到百分百的女孩》/日本語版短編集『カンガルー日和』；『象』＝『象の消滅』；『走る…』＝『走ることにして語るときに僕の語ること』

調査番号	ユーザー名	性別	年齢 歳	出身地	調査実施時の 所在地	職業	最も好きな 村上作品
110909 - 1	Banana	M	33	北京	北京	IT 関係	『国境』
110909 - 2	彭小总	M	25	湖北省 麻城県	フランス マルセイユ	学生	『森』
110909 - 3	juansheng	F	24	遼寧省 瀋陽市	中国	デザイナー	『国境』
110909 - 4	拔刀決	M	34	遼寧省 大連市	中国	メディア関係	『国境』
110910 - 5	忆森林	M	35	河北省	広東省 湛江市	教育関係	『森』
110909 - 6	李小磨	F	22	甘肅省 蘭州市	北京	メディア関係	『海』
110910 - 7	214314	F	25	北京	上海	翻訳関係	『国境』
110910 - 8	Karuto	M	19	香港	アメリカ サンフランシスコ	IT 関係	『スプ…恋人』

111004 - 9	昊墨之魂	M	20	浙江省	浙江省 杭州市	学生	『蛭』
110910 - 10	尘	M	22	浙江省 嘉興市	浙江省 舟山市	学生	『風』
110910 - 11	零兮	M	22	海南省	海南省	学生	『海』
110910 - 12	ichthyolite	F	26	山東省 高密市	山東省 高密市	会社員	『風』
110910 - 13	j♥5	F	25	浙江省 杭州市	浙江省 杭州市	会社員	『森』
110910 - 14	newseer	M	27	江蘇省 蘇州市	江蘇省 蘇州市	会社員	『風』
110930 - 15	纽扣儿	F	31	遼寧省	中国	IT 関係	『森』
110910 - 16	狛騏	F	20 代	遼寧省 瀋陽市	北京	メディア関係	『1Q84』
110910 - 17	桃子	F	28	福建省	北京	会社員	『世界…』
110910 - 18	夏希	F	21	江西省	江西省	学生	『世界…』
110910 - 19	夏来	M	22	浙江省 平陽県	上海	学生	『風』
110910 - 20	瞎子	M	40	江西省	アメリカ	会社員	特にない
110911 - 21	点	F	22	四川省 成都市	日本 茨城県	学生	『ダンス』
110914 - 22	拧发条鸟	M	24	上海	上海	メディア関係	『羊』
110911 - 23	Ann	F	30	湖北省 武漢市	湖北省 武漢市	会社員	『鳥』
110912 - 24	珠泪玉烟	F	30	雲南省	中国	医療関係	『森』
110913 - 25	追风筝的人	M	30	上海	北京	メディア関係	『ダンス』
110913 - 26	戴文开	M	27	上海	上海	/	『風』
110929 - 27	JZ	M	25	河南省 鄭州市	河南省 鄭州市	フリーター	『風』

110914 - 28	阿黛拉	F	18	上海	イギリス ロンドン	学生	『風』
110914 - 29	大鯨魚的小伙 伴	F	23	上海	上海	会社員	『森』
111001 - 30	iko	F	31	北京	北京	メディア関係	『羊』
110914 - 31	風景舞会	M	25	山東省 沾化県	フランス パリ	学生	『風』
110914 - 32	查令街 84 号疯 子	F	25	上海	上海	メディア関係	『風』
110915 - 33	邝言	M	35	江蘇省 海門市	上海	教育関係	『森』
110915 - 34	李普曼	M	27	河北省	北京	出版関係	『森』
110915 - 35	鼠	M	21	江西省	広東省 深圳市	金融関係	『森』
110915 - 36	竹子	F	21	江蘇省 揚州市	江蘇省 南京市	学生	『ピンボール』
110915 - 37	安子	M	24	四川省 成都市	四川省 成都市	I T 関係	『森』
110915 - 38	monkeyhuman	M	25	福建省 泉州市	福建省 厦門市	会社員	『スプ…恋人』
110915 - 39	走入有风	M	33	浙江省	浙江省 寧波市	公務員	『ダンス』
110915 - 40	张佳玮	M	28	江蘇省 無錫市	上海	/	『世界…』
110915 - 41	长颈马扬尘	M	25	河南省 洛陽市	河南省 平頂山市	/	『風』
110915 - 42	上官薇薇	F	29	山東省 青島市	山東省 青島市	金融関係	『風』
110917 - 43	三宅一猫	M	25	河南省	北京	学生	『海』

110917 - 44	品雨巫	F	26	四川省 雅安市	四川省 成都市	/	『東京奇譚集』
110917 - 45	南极的草儿	F	22	遼寧省	遼寧省 瀋陽市	翻訳関係	『海』
110917 - 46	m	M	21	安徽省	湖北省 武漢市	学生	『100%』
110918 - 47	半夜哭泣的小 熊	M	38	北京	北京	無職	『世界…』
110918 - 48	移动的苔藓	M	23	陝西省	陝西省 西安市	無職	『森』
110918 - 49	jee	M	25	山東省	上海	I T関係	『ダンス』
110929 - 50	Nagi	F	24	チベット ラサ	北京	デザイナー	『海』
110918 - 51	mrsmsr	M	21	天津	アメリカ	学生	『ダンス』
110919 - 52	sissi	F	24	北京	北京	学生	『羊』
110919 - 53	ys	M	27	上海	上海	金融関係	/
110920 - 54	herzlos	F	31	山東省 青島市	ドイツ ベルリン	デザイナー	『ダンス』
110920 - 55	萤	F	30代	上海	上海	/	『世界…』
110928 - 56	小确幸	F	22	遼寧省	遼寧省 瀋陽市	学生	『世界…』
110920 - 57	水妞在等待~~~	F	23	陝西省 西安市	陝西省 西安市	学生	『ダンス』
110921 - 58	山有林	M	30代	浙江省 杭州市	浙江省 杭州市	公務員	『世界…』
110921 - 59	米曹	F	22	江西省 九江市	広東省 広州市	会社員	『海』
110921 - 60	五里	M	24	湖北省	内モンゴル 包頭市	学生	『世界…』

110921 - 61	白熊圻	M	24	湖北省 武汉市	広東省 深圳市	I T 関係	『100%』
110921 - 62	彼得堡	M	21	安徽省 宣城市	浙江省 舟山市	学生	『風』
110922 - 63	28 年后的寒武 纪	M	29	浙江省 寧波市	浙江省 杭州市	会社員	『森』
110922 - 64	喜北肉豆蔻	F	23	上海	アメリカ ニューヨーク	会社員	『風』
110922 - 65	孜忆	F	21	江西省	北京	学生	『スプ…恋人』
110922 - 66	宇辰私享	F	29	黒竜江省	黒竜江省	/	『世界…』
110922 - 67	F	F	23	上海	上海	会社員	『アフターダーク』
110923 - 68	文艺复兴	M	24	江蘇省 徐州市	江蘇省 南京市	会社員	『風』
110924 - 69	joy_anderson	M	24	安徽省 六安市	上海	学生	『風』
110924 - 70	御堂柴	M	28	上海	上海	会社員	/
110924 - 71	斐君	M	21	山東省 諸城市	北京	学生	『鳥』
110924 - 72	toohead	M	23	吉林省 長春市	安徽省 合肥市	学生	『世界…』
110924 - 73	小鱼	M	30 代	香港	香港	出版関係	『国境』
110924 - 74	nanali	F	28	湖北省 武漢市	上海	学生	『世界…』
110924 - 75	小一	F	29	湖南省	北京	メディア関係	『世界…』
110924 - 76	iason	F	29	上海	上海	会社員	『世界…』
110925 - 77	岬	F	21	広東省 深圳市	広東省 深圳市	学生	『1Q84』
110925 - 78	小叶	F	25	湖北省 嘉魚県	北京	学生	『羊』

110925 - 79	就是	F	31	北京	北京	出版関係	『神の子ども』
110925 - 80	独眼	F	31	北京	北京	出版関係	『ダンス』
110925 - 81	沙丁魚 2	F	29	広東省 汕尾市	広東省 広州市	公務員	『象の消滅』
110925 - 82	unknown	F	20	安徽省 合肥市	重慶省	学生	『スプ…恋人』
110926 - 83	ambyen	F	23	広東省 広州市	フランス ナント	学生	『スプ…恋人』
110926 - 84	何倩彤	F	25	香港	香港	/	『ピンボール』
110926 - 85	韦大宝	M	21	安徽省 蚌埠市	北京	/	『走る…』
110926 - 86	单单	F	30	天津	北京	/	『世界…』
110927 - 87	米亚	F	27	貴州省 貴陽市	広東省 広州市	出版関係	『世界…』
110926 - 88	公園仔	M	39	香港	香港	会社員	『夜のくもざる』
110926 - 89	Seamoon	M	23	遼寧省 大連市	遼寧省 大連市	I T 関係	『ピンボール』
110926 - 90	Eole	F	29	広東省 清遠市	広東省 東莞市	I T 関係	『海』
110926 - 91	瀟小兔 ε ī 3	F	20 代	江蘇省 南京市	北京	学生	『森』
110926 - 92	菠菜	F	33	上海	上海	会社員	『ダンス』
110926 - 93	貓丸 橐	F	20 代	海南省	/	/	『羊』
110926 - 94	本	M	26	広西省 靈山県	広東省 広州市	デザイナー	『森』
110926 - 95	潘格温	M	23	安徽省 淮南市	安徽省 合肥市	/	『世界…』
110927 - 96	MK	F	30 代	湖南省	香港	会社員	『世界…』
110927 - 97	小 M	F	23	黒竜江省	イギリス	学生	『鳥』

				ハルビン市			
110927 - 98	土豆	F	34	吉林省	ニュージーランド	無職	『世界…』
110927 - 99	爱在沙塔拉	F	30	湖南省 常德市	湖南省 長沙市	メディア関係	『森』
110927 - 100	Ivy	F	25	四川省	重慶省	出版関係	『ダンス』

【付録 2】 回答者の村上春樹読書の初体験

※ 「M」 = 男性 ; 「F」 = 女性 ; 「/」 = 無回答

(作品の略称について) 『森』 = 『ノルウェイの森』; 『国境』 = 『国境の南、太陽の西』; 『海』 = 『海辺のカフカ』; 『世界…』 = 『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』; 『スプ…恋人』 = 『スプートニクの恋人』; 『風』 = 『風の歌を聴け』; 『ピンボール』 = 『1973年のピンボール』; 『ダンス』 = 『ダンス・ダンス・ダンス』; 『鳥』 = 『ねじまき鳥クロニクル』; 『象』 = 『象の消滅』; 『神の子ども』 = 『神の子どもたちはみな踊る』; 『100%』 中国語訳短編集《遇到百分百的女孩》/日本語版短編集『カンガルー日和』; 『走る…』 = 『走ることにについて語るときに僕の語ること』

調査番号	ユーザー名	性別	年齢 歳	出身地	村上春樹の初読書			
					作品	年齢 歳	場所	選んだ理由
110909 - 1	Banana	M	33	北京	『森』	18	吉林省 長春市	友人からの推薦
110909 - 2	彭小总	M	25	湖北省 麻城県	『森』	15	湖北省 麻城県	新聞の紹介及び性 描写に対する好奇心
110909 - 3	juansheng	F	24	遼寧省 瀋陽市	『海』	16	遼寧省 瀋陽市	友人からの推薦
110909 - 4	拔刀決	M	34	遼寧省 大連市	『森』	22	遼寧省 大連市	本屋で発見
110910 - 5	忆森林	M	35	河北省	『森』	25	天津から 河北省滄 州市への 列車で	旅のため駅で購読
110909 - 6	李小薺	F	22	甘肅省 蘭州市	『海』	14	広東省 深圳市	口コミで購入
110910 - 7	214314	F	25	北京	『森』	13	北京	本屋で発見

110910 - 8	Karuto	M	19	香港	『スプ …恋人』	11	広東省 広州市	題目が興味深そう
111004 - 9	昊墨之魂	M	20	浙江省	『森』	16	浙江省 寧波市	友人からの推薦
110910 - 10	尘	M	22	浙江省 嘉興市	『風』	20	浙江省 舟山市	本屋で発見
110910 - 11	零兮	M	22	海南省	『森』	14	海南省 海口市	偶然の入手
110910 - 12	ichthyolite	F	26	山東省 高密市	『森』	16	山東省 高密市	他の作家（舒婷）か らの言及
110910 - 13	j♥5	F	25	浙江省 杭州市	『森』	20	浙江省 杭州市	偶然の入手
110910 - 14	newseer	M	27	江蘇省 蘇州市	『森』	16	江蘇省 蘇州市	村上春樹の文体が 好き（林訳からの影 響かもしれない）
110930 - 15	纽扣儿	F	31	遼寧省	『森』	25	北京	偶然の入手
110910 - 16	犴骐	F	20 代	遼寧省 瀋陽市	『森』	15 16	遼寧省 瀋陽市	/
110910 - 17	桃子	F	28	福建省	『森』	20	北京	村上春樹の代表作
110910 - 18	夏希	F	21	江西省	『世界 …』	18	江西省 南昌市	友人からの推薦
110910 - 19	夏来	M	22	浙江省 平陽県	『スプ …恋人』	18	上海	図書館で発見
110910 - 20	瞎子	M	40	江西省	『象』	33	アメリカ	偶然の入手
110911 - 21	点	F	22	四川省 成都市	『森』	12	四川省 成都市	他の作家（慶山）か らの言及
110914 - 22	拧发条鸟	M	24	上海	『森』	16	上海	他の作家からの言 及

110911 - 23	Ann	F	30	湖北省 武漢市	『森』	21	湖北省 武漢市	友人からの推薦
110912 - 24	珠泪玉烟	F	30	雲南省	『森』	24	雲南省 昆明市	唱の影響
110913 - 25	追风筝的人	M	30	上海	『風』	15	上海	図書館で発見
110913 - 26	戴文开	M	27	上海	『風』	18	上海	村上春樹のデビュー作
110929 - 27	JZ	M	25	河南省 鄭州市	『森』	14	河南省 鄭州市	村上ブーム (2000年頃)
110914 - 28	阿黛拉	F	18	上海	『森』	16	上海	題目が興味深そう
110914 - 29	大鯨魚的小伙伴	F	23	上海	『森』	15	上海	村上ブーム (2003年頃)
111001 - 30	iko	F	31	北京	『国境』	27	北京	友人からの推薦
110914 - 31	風景舞会	M	25	山東省 沾化县	『森』	20	山東省 沾化县	小さい町で出会った海賊版に好奇心
110914 - 32	查令街 84 号疯子	F	25	上海	『森』	18	上海	雑誌の紹介
110915 - 33	邝言	M	35	江蘇省 海門市	『森』	大学	上海	ご縁
110915 - 34	李普曼	M	27	河北省	『森』	16	河北省 安国市	友人からの推薦
110915 - 35	鼠	M	21	江西省	『森』	18	広東省 深圳市	偶然の入手
110915 - 36	竹子	F	21	江蘇省 揚州市	『森』	19	江蘇省 南京市	偶然の入手
110915 - 37	安子	M	24	四川省 成都市	『森』	15	四川省 成都市	友人からの推薦及び性描写に対する好奇心
110915 - 38	monkeyhuman	M	25	福建省 泉州市	『ピンボール』	16	福建省 泉州市	偶然の入手

110915 - 39	走入有风	M	33	浙江省	『森』	22 23	浙江省 寧波市	有名だから
110915 - 40	张佳玮	M	28	江蘇省 無錫市	『風』	16	江蘇省 無錫市	本屋で発見
110915 - 41	长颈马扬尘	M	25	河南省 洛陽市	『風』	16	河南省 洛陽市	村上春樹の代表作
110915 - 42	上官薇薇	F	29	山東省 青島市	『森』	19	山東省 青島市	雑誌の紹介
110917 - 43	三宅一猫	M	25	河南省	『海』	25	北京	唱の影響
110917 - 44	品雨巫	F	26	四川省 雅安市	『森』	19	四川省 成都市	有名だから
110917 - 45	南極的草儿	F	22	遼寧省	『森』	18	遼寧省 瀋陽市	友人からの推薦
110917 - 46	m	M	21	安徽省	『1Q 84』	20	安徽省 宣城市	父が購入
110918 - 47	半夜哭泣的小熊	M	38	北京	『森』	16	北京	本屋で発見
110918 - 48	移动的苔藓	M	23	陝西省	『森』	15	陝西省	友人からのプレゼント
110918 - 49	jee	M	25	山東省	『ダンス』	14	山東省	友人からの推薦
110929 - 50	Nagi	F	24	チベット ラサ	『海』	16	甘肅省 蘭州市	カフカの作品が好きだから
110918 - 51	mrsmsr	M	21	天津	『森』	16	天津	偶然の入手
110919 - 52	sissi	F	24	北京	『国境』	19	北京	図書館で発見
110919 - 53	ys	M	27	上海	『象』	14 15	上海	偶然の入手
110920 - 54	herzlos	F	31	山東省	『森』	19	山東省	題目が興味深そう

				青島市			青島市	
110920 - 55	螢	F	30代	上海	『森』	/	上海	友人からの推薦
110928 - 56	小确幸	F	22	遼寧省	『風』	14 15	遼寧省 鉄嶺市	本屋で発見
110920 - 57	水妞在等待~~~~	F	23	陝西省 西安市	『森』	18	陝西省 西安市	題目が興味深そう
110921 - 58	山有林	M	30代	浙江省 杭州市	『羊』	就職 後	浙江省 杭州市	偶然の入手
110921 - 59	米曹	F	22	江西省 九江市	『海』	18	広東省 広州市	図書館で発見
110921 - 60	五里	M	24	湖北省	『世界 …』	18	遼寧省 大連市	本屋で発見
110921 - 61	白熊圻	M	24	湖北省 武漢市	『森』	中学	湖北省 武漢市	友人からの推薦
110921 - 62	彼得堡	M	21	安徽省 宣城市	『風』	18	安徽省 宣城市	親戚からの推薦
110922 - 63	28年后的寒武纪	M	29	浙江省 寧波市	『森』	18	湖北省 武漢市	インターネットの 紹介
110922 - 64	喜北肉豆蔻	F	23	上海	『森』	13	上海	有名だから
110922 - 65	孜忆	F	21	江西省	『森』	18	広東省 汕頭市	友人からの推薦
110922 - 66	宇辰私享	F	29	黒竜江省	『森』	21	黒竜江省	インターネットの 紹介
110922 - 67	F	F	23	上海	『森』	15	上海	友人からの推薦
110923 - 68	文艺复兴	M	24	江蘇省 徐州市	『風』	20	江蘇省 淮安市	青春を記念するた め

110924 - 69	joy_anderson	M	24	安徽省 六安市	『海』	19	江蘇省 淮安市	偶然に入手
110924 - 70	御堂柴	M	28	上海	『森』	15	上海	本屋で発見
110924 - 71	斐君	M	21	山東省 諸城市	『国境』	19	北京	村上春樹が好き
110924 - 72	toohead	M	23	吉林省 長春市	『世界 …』	16	安徽省 合肥市	図書館で発見
110924 - 73	小鱼	M	30 代	香港	『100% 』	19	香港	友人からの推薦
110924 - 74	nanali	F	28	湖北省 武漢市	『森』	大 学	湖北省 武漢市	友人からの推薦
110924 - 75	小一	F	29	湖南省	『森』	18	湖北省 武漢市	本屋で発見
110924 - 76	iason	F	29	上海	『森』	18	上海	友人からの推薦
110925 - 77	岬	F	21	広東省 深圳市	『東京 奇譚集』	18	広東省 深圳市	興味がある
110925 - 78	小叶	F	25	湖北省 嘉魚県	『森』	15	湖北省 嘉魚県	友人からの推薦
110925 - 79	就是	F	31	北京	『森』	18	北京	/
110925 - 80	独眼	F	31	北京	『森』	18	北京	/
110925 - 81	沙丁魚 2	F	29	広東省 汕尾市	『羊』	15	広東省 広州市	本屋で発見
110925 - 82	unknown	F	20	安徽省 合肥市	『森』	19	安徽省 合肥市	友人からの推薦
110926 - 83	ambyen	F	23	広東省 広州市	『象』	18	広東省 広州市	図書館で発見
110926 - 84	何倩彤	F	25	香港	『象』	15	香港	図書館で発見
110926 - 85	韦大宝	M	21	安徽省 蚌埠市	『森』	19	北京	友人からの推薦

110926 - 86	单单	F	30	天津	『世界…』	21	北京	友人からのプレゼント
110927 - 87	米亚	F	27	貴州省 貴陽市	『森』	15	貴州省 興義市	/
110926 - 88	公園仔	M	39	香港	『森』	高校	香港	メディアの紹介
110926 - 89	Seamoon	M	23	遼寧省 大連市	『森』	14	遼寧省 大連市	新聞の紹介
110926 - 90	Eole	F	29	広東省 清遠市	『森』	18	広東省 清遠市	本屋で発見
110926 - 91	瀟小兔 ε ĩ 3	F	20 代	江蘇省 南京市	『森』	20	北京	村上春樹が好き
110926 - 92	菠菜	F	33	上海	『森』	21	上海	メディアの紹介
110926 - 93	貓丸 棗	F	20 代	海南省	『森』	13	海南省	日本文学に興味がある
110926 - 94	本	M	26	広西省 靈山県	『森』	19	広西省 靈山県	/
110926 - 95	潘格温	M	23	安徽省 淮南市	『森』	16	安徽省 淮南市	友人からの推薦
110927 - 96	MK	F	30 代	湖南省	『羊』	18	上海	本屋の推薦
110927 - 97	小M	F	23	黒竜江省 ハルビン市	『海』	15	黒竜江省	本屋で発見
110927 - 98	土豆	F	34	吉林省	『森』	20	吉林省 長春市	本屋で発見
110927 - 99	爱在沙塔拉	F	30	湖南省 常德市	『森』	23	湖南省 長沙市	友人からの推薦
110927 - 100	Ivy	F	25	四川省	『森』	中学	四川省 内江市	有名だから

【付録3】 【図4-2-1】～【図4-2-3】の読書人数内訳対照表

	作品名		読書人数 (人)
	中国語	原題	
長篇	《且听风吟》	風の歌を聴け』	39,455
	《1973年の弾子球》	『1973年のピンボール』	11,566
	《寻羊冒险记》	羊をめぐる冒険』	22,179
	《世界尽头与冷酷仙境》	世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』	27,382
	《挪威的森林》	『ルウェイの森』	180,820
	《舞！舞！舞！》	ダンス・ダンス・ダンス』	25,699
	《国境以南 太阳以西》	国境の南、太陽の西』	24,341
	《奇鸟行状录》	『ねじまき鳥クロニクル』	10,930
	《斯普特尼克恋人》	『スプートニクの恋人』	12,080
	《海边的卡夫卡》	海辺のカフカ』	59,920
	《疾黒以后》	『アフターダーク』	17,396
	《Q84 Book1》	『Q84』Book1	34,797
	《Q84 Book2》	『Q84』Book2	22,988
	《Q84 Book3》	『Q84』Book3	9,544
短篇集 超短編集	《象的失踪》	象の消滅』	4,383
	《再袭面包店》	『パン屋再襲撃』	9,675
	《去中国的小船》	『中国行きのスロウ・ボート』	8,070
	《神的孩子全跳舞》	神の子どもたちはみな踊る』	11,776
	《列克星敦的幽灵》	『レキシントンの幽霊』	5,406
	《旋转木马鏖战记》	『回転木馬のデッド・ヒート』	4,376
	《遇到百分之百的女孩》	『ワンガール・日和』	16,719
	《萤》	『螢 納屋を焼く・その他の短編』	4,472
	《电视人》	『TVピープル』	4,286
	《东京奇谭集》	『東京奇譚集』	13,235
	《夜半蜘蛛猴》	『夜のくもざる』	2,654
	《象厂喜剧》	『象工場のハッピー・エンド』	1,547
	《邮格汉岛的午后》	『フンゲルハンス島の午後』	1,158
	エッセー その他	《爵士乐群英谱》	『ポートレイト・イン・ジャズ』
《终究悲哀的外国语》		『わがてが哀しき外国語』	2,047
《村上朝日堂的卷土重来》		『村上朝日堂の逆襲』	1,302
《村上朝日堂 嗨嗨！》		『村上朝日堂はいほー』	1,451
《村上朝日堂》		『村上朝日堂』	1,493
《村上朝日堂是如何锻造的》		『村上朝日堂はいかにして鍛えられたか』	1,064
《村上朝日堂日记 漩涡猫的找法》		『ねじまき猫のみつけかた—村上朝日堂ジャーナル』	1,352
《当我谈跑步时，我谈些什么》		『走ることについて語るときに僕の語ること』	14,981
《如果我们的语言是威士忌》		『もし僕らのことばがウイスキーであったなら』	1,847
《雨天炎天》		『雨天炎天』	1,532
《羊男的圣诞节》		『羊男のクリスマス』	1,916

【付録 4】 【図 4-2-4】 の増加人数内訳対照表（6 カ月間）

	作品名		増加人数 (人)
	中国語	原題	
長篇	《且听风吟》	『風の歌を聴け』	3,362
	《973年の弾子球》	『973年のピンボール』	888
	《寻羊冒险记》	『羊をめぐる冒険』	1,361
	《世界尽头与冷酷仙境》	『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』	2,117
	《挪威的森林》	『ルウエイの森』	14,192
	《舞！舞！舞！》	『ダンス・ダンス・ダンス』	1,768
	《国境以南 太阳以西》	『国境の南、太陽の西』	2,324
	《奇鸟行状录》	『ねじまき鳥クロニクル』	969
	《斯普特尼克恋人》	『スプートニクの恋人』	923
	《海边的卡夫卡》	『海辺のカフカ』	5,196
	《疾黒以后》	『アフターダーク』	1,082
	《Q 84 Book1》	『1Q84』Book1	8,743
	《Q 84 Book2》	『1Q84』Book2	5,942
	《Q 84 Book3》	『1Q84』Book3	4,310
短篇集 超短編集	《象的失踪》	『象の消滅』	102
	《再袭面包店》	『パン屋再襲撃』	615
	《去中国的小船》	『中国行きのスロウ ボート』	547
	《神的孩子全跳舞》	『神の子どもたちはみな踊る』	1,110
	《刘克斯敦的幽灵》	『レキシントンの幽霊』	483
	《旋转木马鏢战记》	『回転木馬のデッド・ヒート』	263
	《遇到百分之百的女孩》	『ワンガルー日和』	1,305
	《萤》	『螢 納屋を焼く・その他の短編』	353
	《电视人》	『TVピープル』	327
	《东京奇谭集》	『東京奇譚集』	707
	《夜半蜘蛛猴》	『夜のくもざる』	96
	《象厂喜剧》	『象工場のハッピーエンド』	84
	《邮格汉岛的午后》	『フンゲルハンス島の午後』	68
エッセー その他	《爵士乐群英谱》	『ポートレイトイン・ジャズ』	52
	《终究悲哀的外国语》	『わがて哀しき外国語』	208
	《村上朝日堂的卷土重来》	『村上朝日堂の逆襲』	123
	《村上朝日堂 嗨嗨！》	『村上朝日堂はいまー』	150
	《村上朝日堂》	『村上朝日堂』	189
	《村上朝日堂是如何锻造的》	『村上朝日堂はいかにして鍛えられたか』	118
	《村上朝日堂日记 漩涡猫的技法》	『ねじまき猫のみつけかた—村上朝日堂ジャーナル』	141
	《当我谈跑步时，我谈些什么》	『走ることに語るときに僕の語ること』	2,094
	《如果我们的语言是威士忌》	『もし僕らのことばがウイスキーであったなら』	86
	《雨天炎天》	『雨天炎天』	118
	《笨男的圣诞节》	『笨男のクリスマス』	87

【付録 5】 【図 4-2-5】 の増加人数内訳対照表（4 年間）

	作品名		増加人数 (人)
	中国語	原題	
長篇	《且听风吟》	『風の歌を聴け』	25,850
	《1973年の弾子球》	『1973年のピンボール』	6,093
	《寻羊冒险记》	『羊をめぐる冒険』	9,443
	《世界尽头与冷酷仙境》	『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』	16,717
	《挪威的森林》	『ルウエイの森』	108,150
	《舞！舞！舞！》	『ダンス・ダンス・ダンス』	12,115
	《国境以南 太阳以西》	『国境の南、太陽の西』	16,739
	《奇鸟行状录》	『ねじまき鳥クロニクル』	7,618
	《斯普特尼克恋人》	『スプートニクの恋人』	5,990
	《海边的卡夫卡》	『海辺のカフカ』	35,598
	《疾風以后》	『アフターダーク』	10,037
	《Q84 Book1》	『1Q84』Book1	44,985
	《Q84 Book2》	『1Q84』Book2	29,215
	《Q84 Book3》	『1Q84』Book3	23,202
短篇集 超短編集	《象の失踪》	『象の消滅』	546
	《再袭面包店》	『パン屋再襲撃』	4,234
	《去中国的小船》	『中国行きのスロウ・ボート』	3,277
	《神的孩子全跳舞》	『神の子どもたちはみな踊る』	7,524
	《列克星敦的幽灵》	『レキシントンの幽霊』	2,751
	《旋转木马鏖战记》	『回転木馬のデッド・ヒート』	2,585
	《遇到百分之百的女孩》	『ワンガール・日和』	9,121
	《萤》	『螢 納屋を焼く・その他の短編』	2,356
	《电视人》	『TVピープル』	2,243
	《东京奇谭集》	『東京奇譚集』	4,739
	《夜半蜘蛛猴》	『夜のくもざる』	1,408
	《象厂喜剧》	『象工場のハッピー・エンド』	849
	《邮格汉岛的午后》	『フンゲルハンス島の午後』	773
	エッセー 其他	《爵士乐群英谱》	『ポートレイトイン・ジャズ』
《终究悲哀的外国语》		『わがてが哀しき外国語』	1,380
《村上朝日堂的卷土重来》		『村上朝日堂の逆襲』	854
《村上朝日堂 嗨嗨！》		『村上朝日堂はいほー』	908
《村上朝日堂》		『村上朝日堂』	1,126
《村上朝日堂是如何锻造的》		『村上朝日堂はいかにして鍛えられたか』	773
《村上朝日堂日记 漩涡猫的找法》		『ねじまき猫のみつけかた—村上朝日堂ジャーナル』	1,045
《当我谈跑步时，我谈些什么》		『走ることについて語るときに僕の語ること』	32,388
《如果我们的语言是威士忌》		『もし僕らのことばがウイスキーであったなら』	1,182
《雨天炎天》		『雨天炎天』	699
《犏男的圣诞节》		『犏男のクリスマス』	1,393